

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホクシン カザワカクインダク 学校法人 金沢学院大学							
フリガナ大学の名称	カザワカクインダク 金沢学院大学 (Kanazawa Gakuin University)							
大学本部の位置	石川県金沢市末町10の5番地							
大学の目的	金沢学院大学は、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的応用能力及び道徳的教養を豊かにして、建学の精神「愛と理性」の伸長を指標に、人格を陶冶し、創造性と実行力により文化日本の建設に貢献し、進んで世界の平和と人類の福祉に奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。（学則第1条より）							
新設学部等の目的	<p>本大学では、人材の養成に対する社会的ニーズ、受験生の進学ニーズおよび大学を取り巻く環境の変化等を勘案し、これらの社会的要請に応える人材を多く輩出するとともに、本学で学びたいという受験生等のニーズに応じていくため、「芸術学部 芸術学科」の入学定員、及び編入学定員について、近年における学科の志願状況及び入学者数を鑑み、適正な定員を設定することとし、収容定員を変更するための学則変更を行う。</p> <p>本学志願者の需要を踏まえ、確実に学生を確保する方策を確立して教育体制をさらに整備・充実・強化したいと考える。社会の要請に応えた教育改革をさらに推し進めて、地域社会、国家および国際社会において活躍する人材をより多く育成する。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部 文学科	年	人	年次 人	人	学士(文学)	令和3年4月 第1年次	石川県金沢市末町10の5番地
	教育学部 教育学科	4	180	3年次 8	736	学士(教育学)	令和5年4月 第3年次	
	経済学部 経済学科	4	70	3年次 5	290	学士(経済学)	令和4年4月 第1年次	同上
	経営学科	4	110	3年次 5	450	学士(経営学)	令和6年4月 第3年次	同上
	経済情報学部 経済情報学科	4	70	3年次 5	290	学士(経営学)	令和4年4月 第1年次	同上
経済情報学部 経済情報学科	4	70	—	280	学士(経済情報学)	令和6年4月 第3年次	同上	
経済情報学部 経済情報学科	4	70	—	280	学士(経済情報学)	令和2年4月 第1年次	同上	

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
								年	人
芸術学部 芸術学科	4	80 (70)	3年次 7 (2)	334 (284)	学士(芸術学)	令和5年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次	石川県金沢市末町10の 5番地		
スポーツ科学部 スポーツ科学科	4	150	3年次 10	620	学士(スポーツ科学)	令和3年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次	同上		
栄養学部 栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士(栄養学)	令和3年4月 第1年次 令和5年4月 第3年次	同上		
計	4	810 (800)	3年次 45 (40)	3330 (3280)					
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の 変更等)	芸術学部芸術学科 (10) (3年次編入学定員) (5)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	一単位			
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設	文学部文学科	10 (10)	5 (5)	10 (10)	0 (0)	25 (25)	0 (0)	24 (24)
		教育学部教育学科	6 (6)	5 (5)	5 (5)	2 (2)	18 (18)	0 (0)	15 (14)
		経済学部経済学科	7 (7)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	44 (44)
		経済学部経営学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	32 (32)
		経済情報学部経済情報学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	23 (23)
		芸術学部芸術学科	8 (8)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	28 (28)
		スポーツ科学部スポーツ科学科	7 (7)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	16 (16)	3 (3)	19 (19)
		栄養学部栄養学科	8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	4 (4)	25 (25)
	計		56 (56)	25 (25)	28 (28)	7 (7)	116 (116)	7 (7)	— (—)
既設分	基礎教育機構	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	
	計	2 (2)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	— (—)	
合計		58 (58)	27 (27)	30 (30)	7 (7)	122 (122)	7 (7)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		80人 (80)	7人 (7)	87人 (87)					
	技 術 職 員		5 (5)	1 (1)	6 (6)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)					
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	1 (1)	2 (2)					
計		87 (87)	9 (9)	96 (96)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	0 m ²	82,501 m ²	0 m ²	82,501 m ²	◆共用する他の学校 金沢学院短期大学 (必要面積:3,200m ²)				
	運 動 場 用 地	35,590 m ²	10,612 m ²	0 m ²	46,202 m ²	◆運動場用地(専用) 借用面積:1,386m ² 、期 間:25年				
	小 計	35,590 m ²	93,113 m ²	0 m ²	128,703 m ²	◆その他(共用)借用 面積:919 m ² 、借用期 間10年、1,978 m ² 、借 用期間21年(女子学 生寮敷地)				
	そ の 他	31,610 m ²	9,639 m ²	0 m ²	41,249 m ²					
	合 計	67,200 m ²	102,752 m ²	0 m ²	169,952 m ²					
校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	16,288m ² (16,288m ²)	16,984m ² (16,984m ²)	5,107m ² (5,107m ²)	38,379m ² (38,379m ²)	金沢学院短期大学と 併用 (必要面積:3,650m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	50 室	13 室	43 室	13 室 (補助職員 3人)	3 室 (補助職員 2人)	大学全体(一部、金沢 学院短期大学と共用)				
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数						
	大学全体			106 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	235,707[34,047] (226,863[34,007])	1,080[250] (1,064[249])	238[233] (238[233])	5,936 (5,796)	7,725 (7,708)	74 (74)	図書は大学及び短期大 学全体での共用分を含 む。(学部単位での特定 不能なため、大学・短期 大学全体の数)		
	計	235,707[34,047] (226,863[34,007])	1,080[250] (1,064[249])	238[233] (238[233])	5,936 (5,796)	7,725 (7,708)	74 (74)	機械・器具、標本は大学 及び短期大学全体での 共用分を含む。		
図書館	面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	2,755 m ²		335 席		229,914 冊			大学・短大全体		
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	3,391 m ²		屋 内 練 習 場 テ ニ ス コ ー ト							
経 費 の 見 積 り 及 び 持 続 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	—	—	大学全体
		共同研究費等		900千円	900千円	900千円	900千円	—	—	図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費(運 用コストを含む)を 含む。
		図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	—	—	
	設備購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	—	—		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		文学部文学科	1,210千円	990千円	990千円	990千円	—	—	日本文学専攻	
		文学部文学科	1,210千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	—	—	英米文学/心理学専攻	
		文学部文学科	1,210千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	—	—	歴史学専攻	
		教育学部	1,320千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	—	—		
		経済学部	1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—	—		
経済情報学部		1,200千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—	—			
芸術学部		1,480千円	1,280千円	1,280千円	1,280千円	—	—			
スポーツ科学部	1,310千円	1,110千円	1,110千円	1,110千円	—	—				
栄養学部	1,480千円	1,280千円	1,280千円	1,280千円	—	—				

既設大学等の状況	大学の名称	金沢学院大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	文学部 文学科	4	180	3年次 8	736	学士(文学)	1.08 1.16	平成27年度	石川県金沢市末町10の5番地	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年度編入学定員減(3年次△10人:文学科)、令和3年度編入学定員減(3年次△2人:文学科) ◆令和3年度入学定員増(30人:文学科) ◆令和2年度入学定員減(△30人:教育学科) ◆令和2年より学生募集停止(経営情報学科) ◆平成28年より学生募集停止(経営ビジネス学科・経営システム学科) ◆令和3年度編入学定員増(3年次2人:芸術学科) ◆令和3年より学生募集停止(スポーツ健康学科・健康栄養学科)
	教育学科	4	70	5	290	学士(教育学)	0.98	平成30年度	同上	
	経営情報学部 経営情報学科	4	-	3年次 -	-	学士(経営学)	-	平成28年度	同上	
	経営ビジネス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	平成18年度	同上	
	経営システム学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	平成18年度	同上	
	経済学部 経済学科	4	80	3年次 5	330	学士(経済学)	1.12 1.00	令和2年度	同上	
	経営学科	4	60	5	250	学士(経営学)	1.28	令和2年度	同上	
	経済情報学部 経済情報学科	4	70	3年次 -	280	学士(経済情報学)	1.12 1.12	令和2年度	同上	
	芸術学部 芸術学科	4	70	3年次 2	284	学士(芸術学)	1.14 1.14	平成28年度	同上	
	人間健康学部 スポーツ健康学科	4	-	3年次 -	-	学士(スポーツ健康学)	-	平成23年度	同上	
	健康栄養学科	4	-	3年次 -	-	学士(栄養学)	-	平成28年度	同上	
	スポーツ科学部 スポーツ科学科	4	150	3年次 10	620	学士(スポーツ科学)	1.14 1.14	令和3年度	同上	
	栄養学部 栄養学科	4	80	3年次 5	330	学士(栄養学)	1.03 1.03	令和3年度	同上	
	大学院経営情報学研究科 経営情報学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士(経営情報学)	0.40	平成11年度	同上 (サテライト教室:石川県金沢市南町3番2号南町中央ビル)	
	経営情報学専攻(博士後期課程)	3	4	-	12	博士(経営情報学)	0.25	平成17年度		
	大学院人文学研究科 人文学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士(文学)	0.10	平成20年度	同上	
	大学院スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士(スポーツ健康学)	0.50	平成27年度	同上	

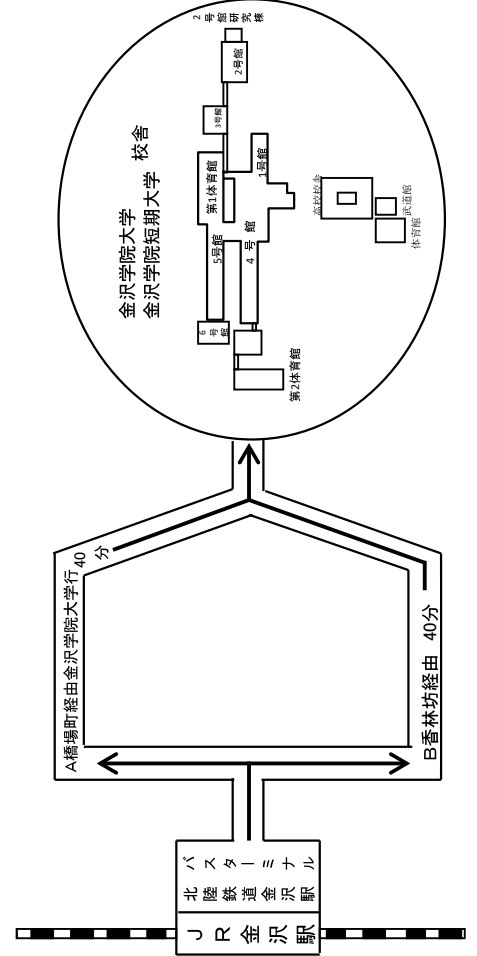
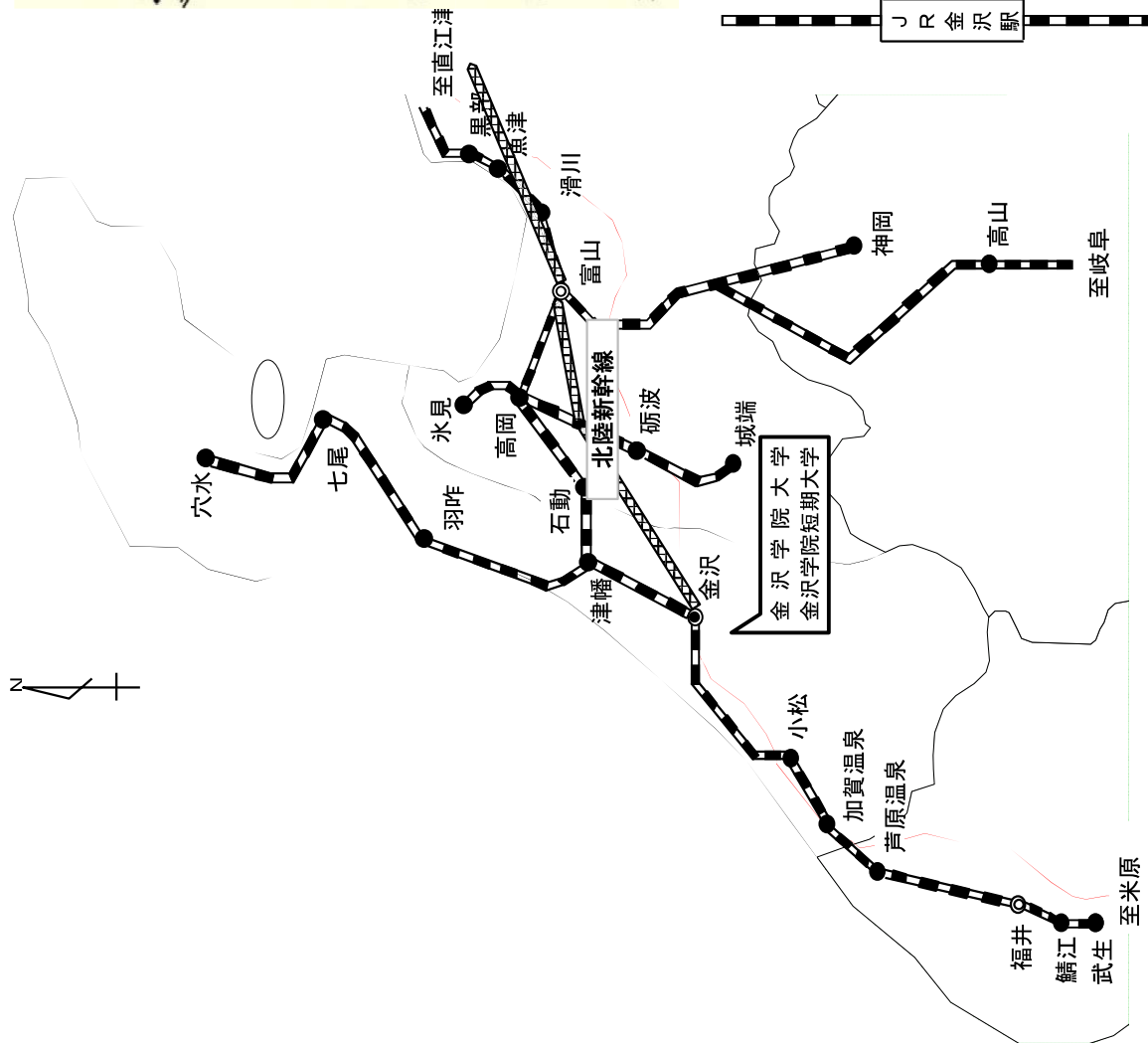
既設大学等の状況	大学の名称	金沢学院短期大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所在地
	幼児教育学科	2年	50人	—	100人	短期大学士(幼児教育学)	0.72倍	平成30年度		石川県金沢市末町10番地
	現代教養学科	2	50	—	100	短期大学士(教養)	0.97	平成28年度		同上
	食物栄養学科	2	60	—	120	短期大学士(栄養学)	0.88	平成17年度	同上	
附属施設の概要		該当なし								

◆平成30年度入学定員減(△50人:現代教養学科)
◆平成28年度入学定員減(△20人:食物栄養学科)

学校法人金沢学院大学 組織の移行表

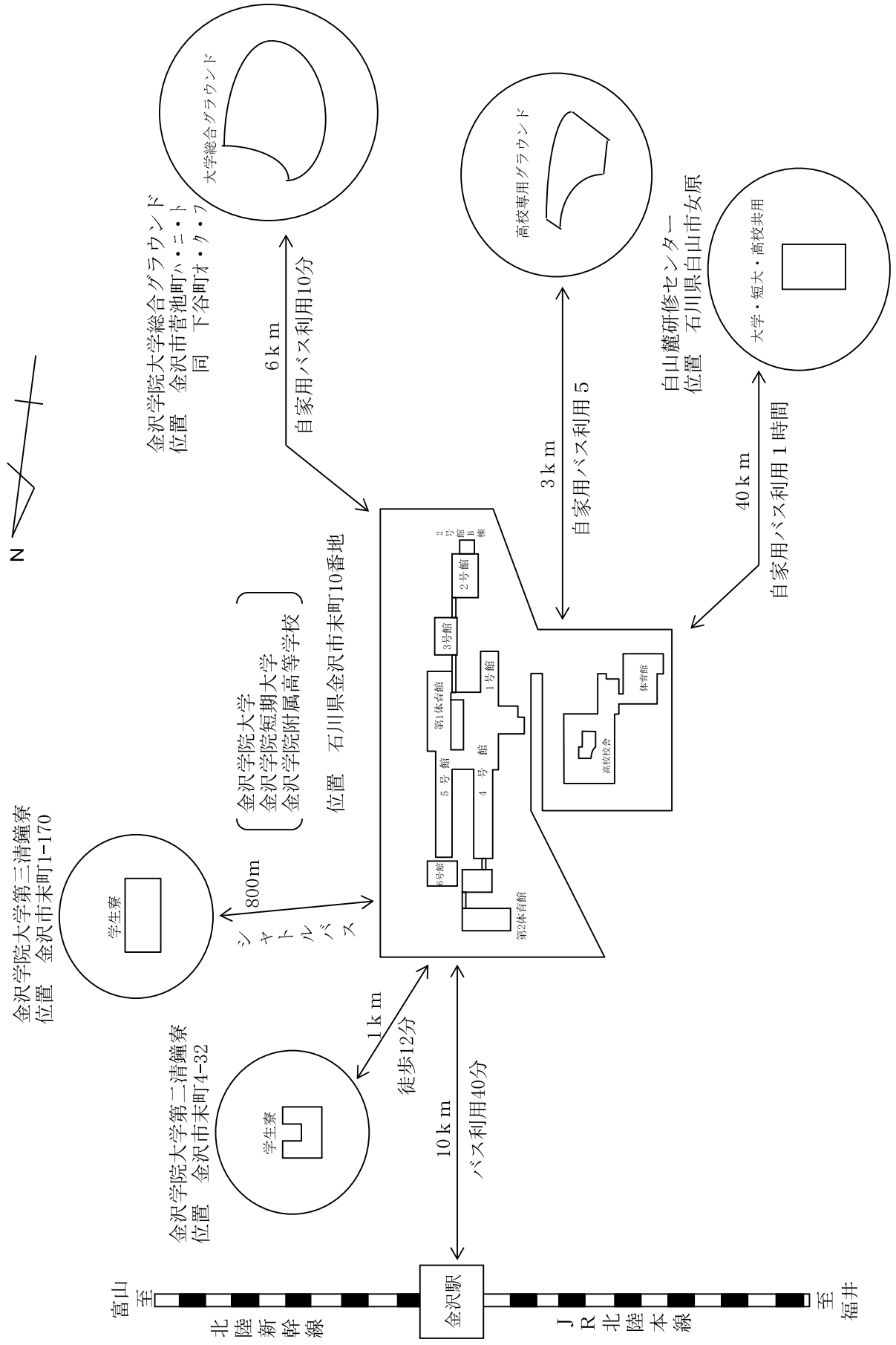
令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
金沢学院大学				金沢学院大学				
		3年次				3年次		
文学部	180	8	736	文学部	180	8	736	
文学科	180	8	736	文学科	180	8	736	
		3年次				3年次		
教育学部	70	5	290	教育学部	70	5	290	
教育学科	70	5	290	教育学科	70	5	290	
		3年次				3年次		
経済学部	180	10	740	経済学部	180	10	740	
経済学科	110	5	450	経済学科	110	5	450	
経営学科	70	5	290	経営学科	70	5	290	
		3年次				3年次		
経済情報学部	70	-	280	経済情報学部	70	-	280	
経済情報学科	70	-	280	経済情報学科	70	-	280	
		3年次				3年次		
<u>芸術学部</u>	<u>70</u>	<u>2</u>	<u>284</u>	<u>芸術学部</u>	<u>80</u>	<u>7</u>	<u>334</u>	定員変更(10, 3年次 5)
<u>芸術学科</u>	<u>70</u>	<u>2</u>	<u>284</u>	<u>芸術学科</u>	<u>80</u>	<u>7</u>	<u>334</u>	
		3年次				3年次		
スポーツ科学部	150	10	620	スポーツ科学部	150	10	620	
スポーツ科学科	150	10	620	スポーツ科学科	150	10	620	
		3年次				3年次		
栄養学部	80	5	330	栄養学部	80	5	330	
栄養学科	80	5	330	栄養学科	80	5	330	
大学計	<u>800</u>	<u>40</u>	<u>3,280</u>	大学計	<u>810</u>	<u>45</u>	<u>3,330</u>	
金沢学院大学大学院				金沢学院大学大学院				
経営情報学研究科	14	-	32	経営情報学研究科	14	-	32	
経営情報学専攻(M)	10	-	20	経営情報学専攻(M)	10	-	20	
経営情報学専攻(D)	4	-	12	経営情報学専攻(D)	4	-	12	
人文学研究科	5	-	10	人文学研究科	5	-	10	
人文学専攻(M)	5	-	10	人文学専攻(M)	5	-	10	
スポーツ健康学研究科	5	-	10	スポーツ健康学研究科	5	-	10	
スポーツ健康学専攻(M)	5	-	10	スポーツ健康学専攻(M)	5	-	10	
大学院計	24	-	52	大学院計	24	-	52	
金沢学院短期大学				金沢学院短期大学				
食物栄養学科	60	-	120	食物栄養学科	60	-	120	
現代教養学科	50	-	100	現代教養学科	50	-	100	
幼児教育学科	50	-	100	幼児教育学科	50	-	100	
短期大学計	160	-	320	短期大学計	160	-	320	

① 都道府県内における位置関係の図面



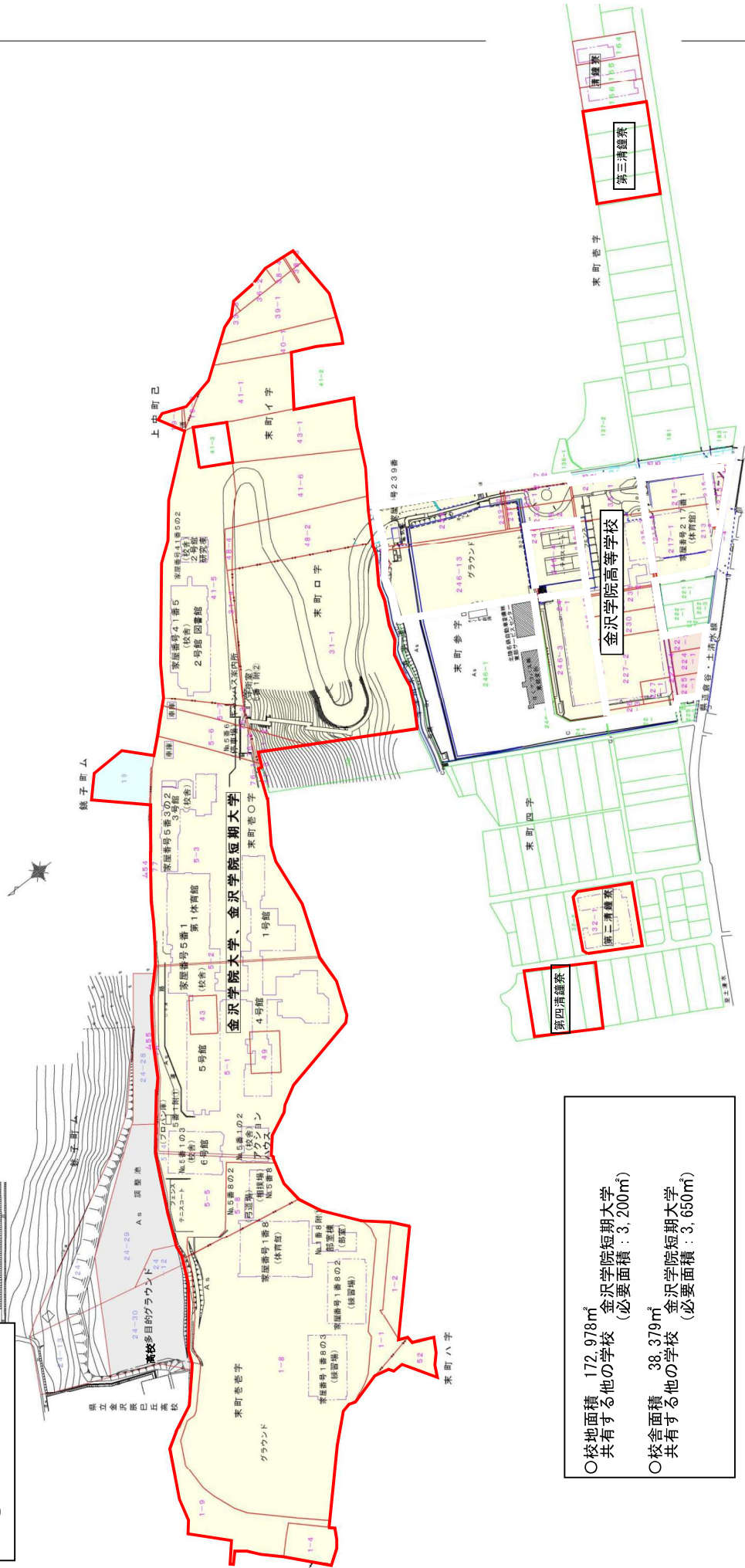
図面一-1

② 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



図面一-2

③ 校地図



○校地面積 172,978㎡ 金沢学院短期大学
共有する他の学校 (必要面積：3,200㎡)

○校舎面積 38,379㎡ 金沢学院短期大学
共有する他の学校 (必要面積：3,650㎡)

金沢学院大学学則の変更事項を記載した書類

1. 学則変更の事由

- (1) 芸術学部芸術学科の入学定員を70人より10人追加し80人とし、同時に編入学定員を2人より5人追加し7人とする。それにより、大学全体の総定員を3,280人から3,330人に変更する。
- (2) 附則を加え、施行日を明らかにする。

2. 学則変更の時期

令和5年4月1日

金沢学院大学 学則変更部分の新旧対照表

新					旧																																																																																																																																												
金沢学院大学学則					金沢学院大学学則																																																																																																																																												
第1章 総則					第1章 総則																																																																																																																																												
(略)					(略)																																																																																																																																												
第2章 学部、学科、大学院等 (学部、学科及び収容定員)					第2章 学部、学科、大学院等 (学部、学科及び収容定員)																																																																																																																																												
第2条 本学に文学部及び経済学部、並びに経済情報学部、 芸術学部、スポーツ科学部、栄養学部を置く。					第2条 本学に文学部及び経済学部、並びに経済情報学部、 芸術学部、スポーツ科学部、栄養学部を置く。																																																																																																																																												
2 学部に関する学科及び収容定員は、次のとおりとする。					2 学部に関する学科及び収容定員は、次のとおりとする。																																																																																																																																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 部</th> <th rowspan="2">学 科</th> <th colspan="3">収 容 定 員</th> </tr> <tr> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">文 学 部</td> <td>文 学 科</td> <td>180</td> <td>8</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td>日本文学専攻</td> <td>[60]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>英米文学専攻</td> <td>[30]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歴史学専攻</td> <td>[50]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心理学専攻</td> <td>[40]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教 育 学 部</td> <td>教 育 学 科</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経 済 学 部</td> <td>経 済 学 科</td> <td>110</td> <td>5</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>経 営 学 科</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>経 済 情 報 学 部</td> <td>経 済 情 報 学 科</td> <td>70</td> <td>—</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>芸 術 学 部</td> <td>芸 術 学 科</td> <td>80</td> <td>7</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>ス ポ ー ツ 科 学 部</td> <td>ス ポ ー ツ 科 学 科</td> <td>150</td> <td>10</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>栄 養 学 部</td> <td>栄 養 学 科</td> <td>80</td> <td>5</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>810</td> <td>45</td> <td>3,330</td> </tr> </tbody> </table>					学 部	学 科	収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文 学 部	文 学 科	180	8	736	日本文学専攻	[60]			英米文学専攻	[30]			歴史学専攻	[50]			心理学専攻	[40]			教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290	経 済 学 部	経 済 学 科	110	5	450	経 営 学 科	70	5	290	経 済 情 報 学 部	経 済 情 報 学 科	70	—	280	芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334	ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	150	10	620	栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330	計		810	45	3,330	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 部</th> <th rowspan="2">学 科</th> <th colspan="3">収 容 定 員</th> </tr> <tr> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">文 学 部</td> <td>文 学 科</td> <td>180</td> <td>8</td> <td>736</td> </tr> <tr> <td>日本文学専攻</td> <td>[60]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>英米文学専攻</td> <td>[30]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歴史学専攻</td> <td>[50]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心理学専攻</td> <td>[40]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教 育 学 部</td> <td>教 育 学 科</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">経 済 学 部</td> <td>経 済 学 科</td> <td>110</td> <td>5</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>経 営 学 科</td> <td>70</td> <td>5</td> <td>290</td> </tr> <tr> <td>経 済 情 報 学 部</td> <td>経 済 情 報 学 科</td> <td>70</td> <td>—</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>芸 術 学 部</td> <td>芸 術 学 科</td> <td>70</td> <td>2</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>ス ポ ー ツ 科 学 部</td> <td>ス ポ ー ツ 科 学 科</td> <td>150</td> <td>10</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>栄 養 学 部</td> <td>栄 養 学 科</td> <td>80</td> <td>5</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>800</td> <td>40</td> <td>3,280</td> </tr> </tbody> </table>					学 部	学 科	収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	文 学 部	文 学 科	180	8	736	日本文学専攻	[60]			英米文学専攻	[30]			歴史学専攻	[50]			心理学専攻	[40]			教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290	経 済 学 部	経 済 学 科	110	5	450	経 営 学 科	70	5	290	経 済 情 報 学 部	経 済 情 報 学 科	70	—	280	芸 術 学 部	芸 術 学 科	70	2	284	ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	150	10	620	栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330	計		800	40	3,280
学 部	学 科	収 容 定 員																																																																																																																																															
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																													
文 学 部	文 学 科	180	8	736																																																																																																																																													
	日本文学専攻	[60]																																																																																																																																															
	英米文学専攻	[30]																																																																																																																																															
	歴史学専攻	[50]																																																																																																																																															
	心理学専攻	[40]																																																																																																																																															
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 学 部	経 済 学 科	110	5	450																																																																																																																																													
	経 営 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 情 報 学 部	経 済 情 報 学 科	70	—	280																																																																																																																																													
芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334																																																																																																																																													
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	150	10	620																																																																																																																																													
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330																																																																																																																																													
計		810	45	3,330																																																																																																																																													
学 部	学 科	収 容 定 員																																																																																																																																															
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																													
文 学 部	文 学 科	180	8	736																																																																																																																																													
	日本文学専攻	[60]																																																																																																																																															
	英米文学専攻	[30]																																																																																																																																															
	歴史学専攻	[50]																																																																																																																																															
	心理学専攻	[40]																																																																																																																																															
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 学 部	経 済 学 科	110	5	450																																																																																																																																													
	経 営 学 科	70	5	290																																																																																																																																													
経 済 情 報 学 部	経 済 情 報 学 科	70	—	280																																																																																																																																													
芸 術 学 部	芸 術 学 科	70	2	284																																																																																																																																													
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	150	10	620																																																																																																																																													
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330																																																																																																																																													
計		800	40	3,280																																																																																																																																													
(略)					(略)																																																																																																																																												
附 則 (令和5年 月 日改正)					追加																																																																																																																																												
1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。																																																																																																																																																	
2 令和5年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、 改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、 別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、 別表第6、別表第7、別表第8の定めに関わらず、なお 従前の例による。																																																																																																																																																	
3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則 第2条第2項の規定にかかわらず、令和5年度から令和 8年度までは、芸術学部芸術学科においては、次のとお りとする。																																																																																																																																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="3">学 部 学 科</th> <th colspan="3">令和5年度</th> <th colspan="3">令和6年度</th> </tr> <tr> <th colspan="3">収 容 定 員</th> <th colspan="3">収 容 定 員</th> </tr> <tr> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術学部</td> <td>芸術学科</td> <td>80</td> <td>2</td> <td>294</td> <td>80</td> <td>2</td> <td>304</td> </tr> </tbody> </table>					学 部 学 科		令和5年度			令和6年度			収 容 定 員			収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	芸術学部	芸術学科	80	2	294	80	2	304																																																																																																																	
学 部 学 科		令和5年度					令和6年度																																																																																																																																										
		収 容 定 員					収 容 定 員																																																																																																																																										
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																										
芸術学部	芸術学科	80	2	294	80	2	304																																																																																																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="3">学 部 学 科</th> <th colspan="3">令和7年度</th> <th colspan="3">令和8年度</th> </tr> <tr> <th colspan="3">収 容 定 員</th> <th colspan="3">収 容 定 員</th> </tr> <tr> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> <th>入 学 定 員</th> <th>編入学 定 員</th> <th>総定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術学部</td> <td>芸術学科</td> <td>80</td> <td>7</td> <td>319</td> <td>80</td> <td>7</td> <td>334</td> </tr> </tbody> </table>					学 部 学 科		令和7年度			令和8年度			収 容 定 員			収 容 定 員			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	芸術学部	芸術学科	80	7	319	80	7	334																																																																																																																	
学 部 学 科		令和7年度					令和8年度																																																																																																																																										
		収 容 定 員					収 容 定 員																																																																																																																																										
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員																																																																																																																																										
芸術学部	芸術学科	80	7	319	80	7	334																																																																																																																																										

○金沢学院大学学則

施行 昭和61年4月1日
最終改正 令和4年3月24日

第1章 総則

(目的)

第1条 金沢学院大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的応用能力及び道徳的教養を豊かにして、建学の精神、愛と理性の伸長を指標に、人格を陶冶し、創造性と実行力により文化日本の建設に貢献し、進んで世界の平和と人類の福祉に奉仕する有為な人材を育成することを目的とする。

2 前項が示す人材の育成のために、教育理念として掲げる「創造」のもとに、教育の具体化を図るとともに、以下の第2条が規定する各学部・学科、大学院等が育成する具体的人材像について、各学部規程、大学院学則等で定めるものとする。

第2章 学部、学科、大学院等

(学部、学科及び収容定員)

第2条 本学に文学部、教育学部、経済学部、経済情報学部、芸術学部、スポーツ科学部及び栄養学部を置く。

2 学部に属する学科及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文 学 部	文 学 科	180	8	736
	日本文学専攻	[60]		
	英米文学専攻	[30]		
	歴史学専攻	[50]		
	心理学専攻	[40]		
教 育 学 部	教 育 学 科	70	5	290
経 済 学 部	経 済 学 科	110	5	450
	経 営 学 科	70	5	290
経 済 情 報 学 部	経 済 情 報 学 科	70	—	280
芸 術 学 部	芸 術 学 科	80	7	334
ス ポ ー ツ 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	150	10	620
栄 養 学 部	栄 養 学 科	80	5	330
計		810	45	3,330

(基礎教育機構)

第2条の2 前条第1項の定めのほか、本学に全学的教育を行う基礎教育機構を置く。

(大学院)

第2条の3 本学に大学院を置く。

2 大学院に次の研究科を置く。

経営情報学研究科

人文学研究科

スポーツ健康学研究科

3 大学院に関する学則は、別に定める。

(専攻科)

第2条の4 本学に次の専攻科を置く。

美術文化専攻科 美術工芸専攻・メディアデザイン専攻

2 専攻科に関する規則は、別に定める。

(修業年限・在学年数)

第3条 本学の修業年限は、4年とする。

2 学生は、8年を超えて在学することができない。ただし、第12条第1項により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第4条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第5条 学年を、次の2学期4クォーターに分ける。

学期	クォーター	期 間
前期	1クォーター	4月1日から9月30日までの間で別に定める。
	2クォーター	
後期	3クォーター	10月1日から翌年3月31日までの間で別に定める。
	4クォーター	

2 前項の学期の開始日及び終了日については、学長は臨時に変更することができる。

3 各学期の授業実施日等は、別に定める学年暦による。

(年間授業期間)

第5条の2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週とする。

(休業日)

第6条 休業日は次のとおりとする。

日曜日

国民の祝日に関する法律に定める休日

学年暦により定める夏季休業日、冬季休業日及び春季休業

2 学長は休業日の追加及び変更を行うことができる。

3 休業日であっても、必要に応じて授業を行うことがある。

第4章 入学、退学、休学、復学、転学、除籍等

(入学期)

第7条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第8条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(入学の出願)

第9条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。提出の時期、方法、提出すべき書類等については別に定める。

(入学者の選考)

第10条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続・入学許可)

第11条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに保証人連署の誓約書及び学生指導資料を提出するとともに、所定の入学金その他の学納金を納入しなければならない。

- 2 保証人のうち1名は学生の保護者とし、他の1名は独立の生計を営む者を充てなければならない。保証人は学生の在学中の一切の責任を負うものとする。保証人の身分、住所等に異動が生じたときは、直ちに届け出なければならない。
- 3 学長は、第1項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(再入学・編入学・転入学)

第12条 次の各号の一つに該当する者で本学に再入学、編入学又は転入学を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 学則第13条により退学した者で再び入学を志願する者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した授業科目及び単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については、当該学部の教授会の議を経て、学長が決定する。

(退学)

第13条 退学しようとする者は、保証人連署のうえ願い出て、学長の許可を得なければならない。

(休学)

第14条 疾病その他やむを得ない事由により、3ヵ月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。ただし、疾病の場合は医師の診断書、その他の場合は詳細な事由書を添えるものとする。

2 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第15条 休学の期間は1年を超えることができない。ただし、特別の事由がある場合は、引き続き更に1年延長することができる。

2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は、第3条の在学年数に算入しない。

(復学)

第16条 休学期間中にその事由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。ただし、復学の時期は各学期の始めとする。

2 疾病による休学の場合は、医師の診断書を添えるものとする。

(転学部・転学科・転専攻)

第17条 本学の学生で、在学する学部から本学の他の学部の学科・専攻への転学部、又は同一学部の他の学科・専攻への転学科・転専攻を志願する者があるときは、選考のうえ、学長は許可することがある。

2 転学部・転学科・転専攻について必要な事項は、別に定める。

(転学)

第18条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第19条 次の各号の一つに該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第3条第2項に定める在学年数を超えた者
- (2) 第15条第2項に定める休学の期間を超えてなお修学できない者
- (3) 授業料の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (4) 死亡又は長期間にわたり行方不明の者

第5章 教育課程及び履修方法

(教育課程の編成方針)

第20条 本学は、学部及び学科又は課程等の教育目的達成のために、必要授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

(教育課程の編成方法)

第21条 教育課程は、各授業科目を必修科目及び選択科目に分け、これを各年次に配当して編成する。

2 前項に定めるほか、本学では教職に関する科目及び学芸員に関する科目並びに司書に関する科目を開設する。

3 各学部で開設する授業科目の名称及び単位数は、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6及び別表第7のとおりとする。

(単位の計算方法)

第22条 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験・実習及び実技等については、30時間の授業をもって1単位とする。

ただし、栄養学科の実験・実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作については、これらに必要な学修を考慮して単位数を定めるものとする。

(単位の授与)

第23条 本学は、前条に基づき授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与えるものとする。

(学修の評価)

第24条 授業科目の単位修得の評価は、試験及び平素の履修状況により行う。

2 前項の評価は、秀、優、良、可、不可をもって表し、可以上を合格とし、不可を不合格とする。

(教育内容の点検・改善等)

第24条の2 本学は、教育内容及び方法の改善を図るために、自ら点検・評価を行うとともに、組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(他大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第25条 本学が教育上有益と認めるときは、本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第26条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、大学の定めるところにより単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(本大学における他学部の学修)

第26条の2 学生は、許可を受けて、在籍する学部以外の学部で授業科目を履修することができる。

2 前項により履修した授業科目の修得単位は、当該学部の卒業要件単位数として認定することができる。その限度は、別に定める。

3 前2項及び第25条、第26条により認定、修得したとみなす単位数は、全てを合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第27条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学へ入学後、本学において修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

3 前2項により与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第25条第1項及び第2項並びに前条第1項により、本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(その他)

第27条の2 この章に定めるもののほか、授業科目の配当年次及び時間数並びに履修方法については、各学部で定める。

第6章 卒業及び進級の要件等

(卒業の要件)

第28条 本学を卒業するには、本学に4年以上在学し、別表第1又は別表第2、別表第3若しくは別表第4、別表第5、別表第6に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。

2 前項の定める卒業の要件を満たしている場合であっても、願出により、半年あるいは1年間の期間を設けて、その卒業認定を留保することができる。

(進級の要件)

第28条の2 進級の要件については、別に定める。

(卒業証書)

第29条 本学所定の課程を修めた者を卒業とし、卒業証書を授与する。

(学位記)

第30条 前条の卒業者には、次の区分に従い、学士の学位を授与する。

文学部	文学科	学士(文学)
教育学部	教育学科	学士(教育学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
	経営学科	学士(経営学)
経済情報学部		学士(経済情報学)
芸術学部		学士(芸術学)
スポーツ科学部		学士(スポーツ科学)
栄養学部		学士(栄養学)

2 学位の授与に関し必要な事項は、別に定める。

(資格の取得)

第31条 本学において取得できる教育職員免許状及び資格は次のとおりとする。

学 科	取得できる教育職員免許状の種類、教科		資 格
文 学 科			
日本文学専攻	中学校教諭一種免許状	国語	学芸員、司書
英米文学専攻	高等学校教諭一種免許状	英語	
歴史学専攻	中学校教諭一種免許状	社会	
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史	
心理学専攻			
教 育 学 科	幼稚園教諭一種免許状		保育士
	小学校教諭一種免許状		
	中学校教諭一種免許状	英語	
経 済 学 科	高等学校教諭一種免許状	公民	
経 営 学 科	高等学校教諭一種免許状	商業	
経 済 情 報 学 科	高等学校教諭一種免許状	情報	
芸 術 学 科	中学校教諭一種免許状	美術	学芸員
	高等学校教諭一種免許状		
	高等学校教諭一種免許状	工芸	
ス ポ ー ツ 科 学 科	中学校教諭一種免許状	保健体育	
	高等学校教諭一種免許状		
栄 養 学 科	栄養教諭一種免許状		栄養士

- 2 教育職員免許状(教諭)を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 3 教育職員免許状(栄養教諭)を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に基づく所定の単位を修得し、かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士免許を受けていなければならない。
- 4 学芸員の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、博物館法施行規則(昭和30年文部省令第24号)に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 5 司書の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、図書館法施行規則(昭和25年文部省令第27号)に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 6 栄養士免許を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、栄養士法(昭和22年法律第245号)及び栄養士法施行規則(昭和23年1月16日厚生省令第2号)に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 7 栄養士法(昭和22年法律第245号)第5条の3第4号の規定に基づく管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、栄養学科に在籍し、栄養士法施行令(昭和28年政令第231号)及び管理栄養士学校指定規則(昭和41年文部省・厚生省令第2号)に基づく所定の単位を修得しなければならない。
- 8 保育士の資格を取得しようとする者は、第28条に規定するもののほか、児童福祉法施行規則(昭和23年厚生省令第11号)に基づく所定の単位を取得しなければならない。

第7章 入学検定料及び学納金

(入学検定料・学納金)

第32条 入学検定料及び学納金は、別表第8のとおりとする。

(学納金の納入)

第33条 学納金は、次の期日までに納入しなければならない。ただし、入学手続き時の学納金の納入については、別に定める。

(1) 前期 4月25日（金融機関が休業日の場合は翌営業日）

(2) 後期 10月25日（金融機関が休業日の場合は翌営業日）

2 経済的な理由により、前項の期日までに学納金の納入が困難な者は、その期日までに保証人連署の上、延納・分納願を提出し、許可を得なければならない。

3 延納・分納の許可を得た者の納入期限は次のとおりとする。

(1) 前期 9月末日

(2) 後期 2月末日

4 前項の納入期限までに学納金の納入が困難な者は、延納・分納願の再提出により、さらに延納・分納を認められる場合がある。ただし、その場合の最終期限は卒業年度の2月末日までとする。

(退学・転学・除籍及び停学の場合の学納金)

第34条 学期の途中で退学若しくは転学した者、又は除籍された者の当該期分の学納金は徴収する。

2 停学期間中の学納金は徴収する。

(休学の場合の学納金)

第35条 休学した者については、休学期間中の学納金は免除する。

(学年の途中で卒業する場合の学納金)

第36条 学年の途中で卒業する見込みの者の当該期分の学納金は徴収する。

(学納金の返還等)

第37条 既に納入された学納金は返還しない。ただし、入学手続き時の学納金については、所定の期間内に入学辞退の申し出のあった者に限り、入学金以外の学納金を返還する。

第8章 教職員組織

(教職員)

第38条 本学に学長、研究科長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員を置く。

第39条 前条のほか、副学長、技術職員その他必要な教職員を置くことができる。

第9章 教学審議会及び教授会

(教学審議会)

第39条の2 本学に、本学の教学に関する重要事項を審議するため、教学審議会を置く。

第39条の3 教学審議会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長及び当職に準ずる者
- (3) 研究科長
- (4) 各学部長
- (5) 基礎教育機構長（以下「機構長」という。）
- (6) 各学部学科長
- (7) その他学長が特に必要と認めた者若干名

第39条の4 教学審議会は、次の事項を審議し、学長に意見を述べることができる。

- (1) 学則その他の教学上の重要な規程の制定改廃の立案に関する事項
- (2) 学部、学科その他の教学上重要な施設の設置廃止の計画に関する事項
- (3) 学部その他教学上の附属施設間の連絡調整に関する事項
- (4) 理事長の諮問に対する答申案に関する事項
- (5) 教育課程に関する事項
- (6) その他教育研究に関する事項

第39条の5 学長は、教学審議会を招集し、その議長となる。

2 学長に事故があるときは、副学長又は研究科長若しくは学部長がその職務を代行する。

3 教学審議会が必要と認めたときは、第39条の3各号に掲げる者以外の教職員の出席を求めて意見を聴くことができる。

第39条の6 教学審議会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 議事は、出席構成員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第39条の7 教学審議会について必要な事項は、別に定める。

（教授会）

第40条 学部及び基礎教育機構（以下「学部等」という。）に、それぞれの学部等の重要事項を審議するため、教授会を置く。

第41条 教授会は、それぞれの学部等の教授をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、学部長又は機構長が必要と認めた場合は、教授会にそれぞれの学部等の准教授、専任講師及び助教を加えることができる。

第42条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり、意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業等学生の身分に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) 学生の賞罰に関する事項
- (4) その他学長から諮問された事項

2 教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関わる次の事項を審議し、学長に意見を述べることができる。

- (1) 学部規程等の制定改廃に関する事項
- (2) 教育研究に関する事項
- (3) 教育課程に関する事項
- (4) 学生の退学、転学、休学、復学、再入学、除籍等学生の身分に関する事項
- (5) 学生の試験に関する事項
- (6) 学生の厚生補導に関する事項
- (7) 教員の研究業績審査に関する事項
- (8) 当該学部及び基礎教育機構の委員会等の選任に関する事項
- (9) その他、研究及び教育に関する事項

第43条 教授会について必要な事項は、それぞれの学部等で定める。

第10章 科目等履修生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第44条 本学は、別に定めるところにより、本学の学生以外の者で1又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）に対し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生に対する単位の授与については、第23条の規定を準用する。
- 3 科目等履修生に関する事項は、別に定める。

(外国人留学生)

第45条 外国人で、本学に入学を志願する者については、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

- 2 外国人留学生に関する事項は、別に定める。

第11章 賞罰

(表彰)

第46条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会及び教学審議会の議を経て学長が表彰することがある。

(懲戒)

第47条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会及び教学審議会の議を経て学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は次の各号の一つに該当する学生に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 正当な理由がなく出席常でない者
 - (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 附属施設

(図書館)

第48条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する規程は別に定める。

(研修センター)

第49条 本学に研修センターを置く。

2 研修センターに関する規程は別に定める。

附 則

この学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則 (平成2年3月26日改正)

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則 (平成2年12月21日改正)

この学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、学生の入学定員は第2条第2項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間は、文学部日本文学科入学定員100人、文学部英米文学科入学定員100人とする。

附 則 (平成3年3月22日改正)

この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則 (平成4年3月10日改正)

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

ただし、1. 第30条は平成4年3月10日から施行する。

2. 平成元年度及び平成2年度入学生については、第28条の規定にかかわらず卒業認定単位数は124単位とする。

附 則 (平成4年3月31日改正)

この学則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年8月23日改正)

1 この学則は、平成6年10月1日から施行する。

2 平成6年9月30日に在学する者に係る授業料の額は、改正後の別表第2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成7年1月17日改正)

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 平成7年3月31日以前の入学者の教育課程の編成方法、単位の計算方法、授業科目の配当年次及びその時間数並びに履修方法並びに卒業の要件については、改正後の学則第21条、第22条第1項、第27条の2及び第28条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成7年度から平成14年度までは次のとおりとする。

学部学科	年度	平成7年度			平成8年度		
		入定	収容編入	定員	入定	収容編入	定員
文学部	日本文学科	100		400	100		400
	英米文学科	100		400	100		400
経営情報学部	経営情報学科	200		200	175		375
	産業情報学科	200		200	175		375
計		600		1,200	550		1,550

学部学科	年度	平成9年度			平成10年度		
		入定	収容編入	定員	入定	収容編入	定員
文学部	日本文学科	100		400	100		400
	英米文学科	100		400	100		400
経営情報学部	経営情報学科	175	5	555	175	5	735
	産業情報学科	175	5	555	175	5	735
計		550	10	1,910	550	10	2,270

学部学科	年度	平成11年度			平成12年度		
		入定	収容編入	定員	入定	収容編入	定員
文学部	日本文学科	100		400	70		370
	英米文学科	100		400	70		370
経営情報学部	経営情報学科	175	5	710	125	5	660
	産業情報学科	175	5	710	125	5	660
計		550	10	2,220	390	10	2,060

学部学科	年度	平成13年度			平成14年度		
		収容定員		総定員	収容定員		総定員
		入学員	編入学員		入学員	編入学員	
文学部	日本文学科	70		340	70		310
	英米文学科	70		340	70		310
経営情報学部	経営情報学科	125	5	610	125	5	560
	産業情報学科	125	5	610	125	5	560
計		390	10	1,900	390	10	1,740

附 則（平成7年8月23日改正）

- 1 この学則は、平成7年10月1日から施行する。
- 2 平成7年9月30日に在学する者に係る授業料、施設充実費及び実験実習費の額は、改正後の別表第2にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成8年3月27日改正）

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成8年度から平成14年度までは次のとおりとする。

学部学科	年度	平成8年度			平成9年度		
		収容定員		総定員	収容定員		総定員
		入学員	編入学員		入学員	編入学員	
文学部	日本文学科	100	10	410	100	10	420
	英米文学科	100	10	410	100	10	420
経営情報学部	経営情報学科	200		400	200	5	605
	産業情報学科	200		400	200	5	605
計		600	20	1,620	600	30	2,050

学部学科		年度	平成10年度			平成11年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 員 定 員	編 入 学 員 定 員	総 定 員	入 学 員 定 員	編 入 学 員 定 員	総 定 員
文学部	日本文学科	100	10	420	100	10	420	
	英米文学科	100	10	420	100	10	420	
経営情報学部	経営情報学科	200	5	810	200	5	810	
	産業情報学科	200	5	810	200	5	810	
計		600	30	2,460	600	30	2,460	

学部学科		年度	平成12年度			平成13年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 員 定 員	編 入 学 員 定 員	総 定 員	入 学 員 定 員	編 入 学 員 定 員	総 定 員
文学部	日本文学科	70	10	390	70	10	360	
	英米文学科	70	10	390	70	10	360	
経営情報学部	経営情報学科	125	5	735	125	5	660	
	産業情報学科	125	5	735	125	5	660	
計		390	30	2,250	390	30	2,040	

学部学科		年度	平成14年度		
			収 容 定 員		
			入 学 員 定 員	編 入 学 員 定 員	総 定 員
文学部	日本文学科	70	10	330	
	英米文学科	70	10	330	
経営情報学部	経営情報学科	125	5	585	
	産業情報学科	125	5	585	
計		390	30	1,830	

附 則（平成9年3月12日改正）

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則（平成10年1月13日改正）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月26日改正）

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

- 2 平成10年度以前の入学者については、改正後の別表第1から別表第3にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成12年3月24日改正）

- この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 平成12年3月31日現在、英米文学科に在学の学生は、改正後の学則第2条第2項、学則第31条第1項の規定及び別表第1の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成12年度から平成19年度までは、文学部日本文学科においては、次のとおりとする。

学部学科	年度	平成12年度			平成13年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	日本文学科	82	10	402	79	10	381

学部学科	年度	平成14年度			平成15年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	日本文学科	76	10	357	73	10	330

学部学科	年度	平成16年度			平成17年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	日本文学科	70	10	318	70	10	309

学部学科	年度	平成18年度			平成19年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	日本文学科	70	10	303	70	10	300

附 則（平成13年3月29日改正）

- この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成14年3月27日改正）

- この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成14年度から平成17年度までは、文学部日本文学科においては、次のとおりとする。

学部学科	年度	平成14年度			平成15年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	日本文学科	60	10	341	60	10	301

年度		平成16年度			平成17年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
学部	文学部	60	10	279	60	10	260
学科	日本文学科						

附 則（平成15年3月27日改正）

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月31日改正）

- この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 平成16年3月31日現在、産業情報学科に在学の学生は、改正後の学則第2条第2項及び別表第2の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成16年度から平成19年度までは、経営情報学部産業情報学科においては、次のとおりとする。

年度		平成16年度			平成17年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
学部	経営情報学部	0	5	210	0	5	130
学科	産業情報学科						

年度		平成18年度			平成19年度		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
学部	経営情報学部	0	0	65	0	0	0
学科	産業情報学科						

附 則（平成17年3月19日改正）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年7月15日改正）

- この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 平成18年3月31日現在、経営情報学部経営情報学科、ネットワークビジネス学科に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、学則第21条第3項、学則第32条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成18年度から平成21年度までは、経営情報学部経営情報学科及びネットワークビジネス学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成18年度			平成19年度		
			収 容 定 員		総定員	収 容 定 員		総定員
			入 学 定 員	編入学 定 員		入 学 定 員	編入学 定 員	
経営情報 学部	経営情報学科	0	10	495	0	10	380	
	ネットワークビジネス 学科	0	0	300	0	0	200	

学 部 学 科		年度	平成20年度			平成21年度		
			収 容 定 員		総定員	収 容 定 員		総定員
			入 学 定 員	編入学 定 員		入 学 定 員	編入学 定 員	
経営情報 学部	経営情報学科	0	10	190	0	0	0	
	ネットワークビジネス 学科	0	0	100	0	0	0	

附 則（平成18年3月30日改正）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年10月19日改正）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月28日改正）

- この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 平成19年3月31日現在、文学部日本文学科、国際文化学科に在学の学生は、改正後の別表第1の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月24日改正）

- この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 平成20年3月31日現在、文学部日本文学科並びに美術文化学部₁に在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第3の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年4月16日改正）

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 平成21年3月31日現在、経営情報学部経営・会計学科及びスポーツビジネス学科に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、学則第32条、経営・会計学科に在籍する学生は、学則第21条第3項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成21年度から平成24年度までは、経営情報学部経営・会計学科及びスポーツビジネス学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成21年度			平成22年度		
			収 容 定 員		総定員	収 容 定 員		総定員
			入 学 定 員	編入学 定 員		入 学 定 員	編入学 定 員	
経営情報 学部	経営・会計学科	0	10	320	0	10	220	
	スポーツビジネス学科	85	0	310	85	0	320	

学 部 学 科		年度	平成23年度			平成24年度		
			収 容 定 員		総定員	収 容 定 員		総定員
			入 学 定 員	編入学 定 員		入 学 定 員	編入学 定 員	
経営情報 学部	経営・会計学科	0	0	110	0	0	0	
	スポーツビジネス学科	85	0	330	85	0	340	

附 則（平成21年3月25日改正）

- この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 平成21年3月31日現在、文学部、経営情報学部等に在籍する学生は、改正後の別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 平成21年3月31日現在、美術文化学部等に在籍する学生は、改正後の別表第3、別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年5月28日改正）

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 平成22年3月31日現在、美術文化学部情報デザイン学科等に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条、第31条、別表第3、別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年10月22日改正）

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月24日改正）

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 平成22年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第31条、別表第1、別表第2及び別表第4の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月29日改正）

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 平成23年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条、第21条、第30条、第31条、第32条及び別表第1～別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月29日改正）

- この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 平成24年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第3及び別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第4については、平成23年度入学者より適用する。

附 則（平成24年5月29日改正）

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成25年度から平成28年度までは、文学部日本文学科、国際文化学科及び歴史文化学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度	平成25年度			平成26年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日本文学科	50	10	235	50	10	230	
	国際文化学科	35	10	190	35	10	180	
	歴史文化学科	50	0	120	50	0	170	

学 部 学 科		年度	平成27年度			平成28年度		
			収 容 定 員			収 容 定 員		
			入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	日本文学科	50	10	225	50	10	220	
	国際文化学科	35	10	170	35	10	160	
	歴史文化学科	50	0	185	50	0	200	

附 則（平成25年3月14日改正）

- この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 平成25年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条、第31条、別表第2及び別表第3の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年3月26日改正）

- この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 平成26年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第24条第2項、第28条の2、別表第3及び別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月31日改正）

- この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成27年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5及び別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成27年度から平成30年度までは、文学部、経営情報学部経営システム学科、スポーツ健康学部においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度		平成27年度			平成28年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員		
文学部	文学科	130	0	130	130	0	260		
	日本文学科	0	10	175	0	10	120		
	国際文化学科	0	10	135	0	10	90		
	歴史文化学科	0	0	135	0	0	100		
経営情報学部	経営システム学科	70	0	295	70	0	290		
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	0	370	100	0	380		

学 部 学 科		年度		平成29年度			平成30年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員		
文学部	文学科	130	20	410	130	20	560		
	日本文学科	0	0	60	0	0	0		
	国際文化学科	0	0	45	0	0	0		
	歴史文化学科	0	0	50	0	0	0		
経営情報学部	経営システム学科	70	0	285	70	0	280		
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	100	0	390	100	0	400		

附 則（平成28年3月24日改正）

- この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5及び別表第6の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成28年度から平成31年度までは、経営情報学部、芸術学部、美術文化学部においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度		平成28年度			平成29年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員		
経営情報学部	経営情報学科	160	0	160	160	0	320		
	経営ビジネス学科	0	10	290	0	10	200		
	経営システム学科	0	0	220	0	0	145		
芸術学部	芸術学科	70	0	70	70	0	140		
美術文化学部	美術学科	0	0	90	0	0	60		
	メディアデザイン学科	0	0	120	0	0	80		

学 部 学 科		年度		平成30年度			平成31年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員		
経営情報学部	経営情報学科	160	10	490	160	10	660		
	経営ビジネス学科	0	0	100	0	0	0		
	経営システム学科	0	0	70	0	0	0		
芸術学部	芸術学科	70	0	210	70	0	280		
美術文化学部	美術学科	0	0	30	0	0	0		
	メディアデザイン学科	0	0	40	0	0	0		

附 則（平成29年3月31日改正）

- この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第31条第1項、別表第1及び別表第6の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成29年度から平成32年度までは、文学部文学科、人間健康学部スポーツ健康学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度		平成29年度			平成30年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員		
文学部	文学科	130	10	400	130	10	540		
人間健康学部	スポーツ健康学科	120	10	420	120	10	460		

学 部 学 科		年度		平成31年度			平成32年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	130	10	540	130	10	540		
人間健康学部	スポーツ健康学科	120	10	480	120	10	500		

附 則（平成30年3月27日改正）

- この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 平成30年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条第1項、第31条第1項、第8項、別表第1、別表第4及び別表第6の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、平成30年度から平成33年度までは、文学部文学科、経営情報学部経営情報学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度		平成30年度			平成31年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	150	10	560	150	10	580		
経営情報学部	経営情報学科	180	10	680	180	10	700		

学 部 学 科		年度		平成32年度			平成33年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	文学科	150	10	600	150	10	620		
経営情報学部	経営情報学科	180	10	720	180	10	740		

附 則（平成31年3月26日改正）

- この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 平成31年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の別表第1、別表第2、別表第4及び別表第5の定めに関わらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月31日改正）

- この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 令和2年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第30条第1項、第31条第1項、別表第2及び別表第7の定めにかかわらず、なお従前の例による。

- 3 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和2年度から令和5年度までは、経済学部経済学科及び経営学科、経済情報学部並びに経営情報学部においては次のとおりとする。

学 部 学 科		令和2年度			令和3年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	教育学科	70	5	275	70	5	350
経済学部	経済学科	80	5	80	90	5	170
	経営学科	60	5	60	90	5	150
経済情報学部	経済情報学科	70		70	70		140
経営情報学部	経営情報学科	0	10	540	0	10	380

学 部 学 科		令和4年度			令和5年度		
		収 容 定 員			収 容 定 員		
		入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
文学部	教育学科	70	5	320	70	5	290
経済学部	経済学科	90	5	265	90	5	360
	経営学科	90	5	245	90	5	340
経済情報学部	経済情報学科	70		210	70		280
経営情報学部	経営情報学科	0	10	190	0	0	0

附 則（令和3年3月31日改正）

- この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 令和3年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条、第11条、第21条第3項、第28条第1項、第30条第1項、第31条第1項、第32条、第39条第4項、別表第1、別表第5、別表第6、別表第7及び別表第8の定めにかかわらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和3年度から令和6年度までは、文学部、芸術学部、スポーツ科学部、栄養学部、人間健康学部スポーツ健康学科及び健康栄養学科においては次のとおりとする。

学部 学科		年度		令和3年度			令和4年度		
				収容定員			収容定員		
				入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	文学科	180	8	648	180	8	676		
芸術学部	芸術学科	70	2	282	70	2	284		
スポーツ科学部	スポーツ科学科	150	10	150	150	10	300		
栄養学部	栄養学科	80	5	80	80	5	160		
人間健康学部	スポーツ健康学科	0	10	380	0	10	260		
	健康栄養学科	0	5	250	0	5	170		

学部 学科		年度		令和5年度			令和6年度		
				収容定員			収容定員		
				入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	文学科	180	8	706	180	8	736		
芸術学部	芸術学科	70	2	284	70	2	284		
スポーツ科学部	スポーツ科学科	150	10	460	150	10	620		
栄養学部	栄養学科	80	5	245	80	5	330		
人間健康学部	スポーツ健康学科	0	10	130	0	0	0		
	健康栄養学科	0	5	85	0	0	0		

附 則（令和4年 月 日改正）

- この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 令和4年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7及び別表第8の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和4年度から令和7年度までは、文学部教育学科、教育学部教育学科においては、次のとおりとする。

学部 学科		年度		令和4年度			令和5年度		
				収容定員			収容定員		
				入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
教育学部	教育学科	70	0	70	70	0	140		
文学部	教育学科	0	5	250	0	5	150		

学 部 学 科		年度		令和6年度			令和7年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
教育学部	教育学科		70	5	215	70	5	290	
文学部	教育学科		0	0	75	0	0	0	

附 則（令和5年 月 日改正）

- この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 令和5年3月31日現在、本大学に在籍する学生は、改正後の学則第2条第2項、第17条、第31条第1項、別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第5、別表第6、別表第7及び別表第8の定めに関わらず、なお従前の例による。
- 学部、学科の入学定員及び収容定員は、改正後の学則第2条第2項の規定にかかわらず、令和5年度から令和8年度までは、芸術学部芸術学科においては、次のとおりとする。

学 部 学 科		年度		令和5年度			令和6年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
芸術学部	芸術学科		80	2	294	80	2	304	

学 部 学 科		年度		令和7年度			令和8年度		
				収 容 定 員			収 容 定 員		
				入 学 定 員	編入学 定 員	総定員	入 学 定 員	編入学 定 員	総定員
芸術学部	芸術学科		80	7	319	80	7	334	

別表第1 文学部教育課程

(1) 文学科教育課程

教養科目・外国語科目

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
教養科目	初年次教育	学修基礎 a	1	教養科目の必修科目から14単位、選択科目から16単位以上、第一外国語12単位、第二外国語科目から4単位以上、専門教育科目から82単位以上を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位以内とする。	
		学修基礎 b	1		
		コンピュータ基礎演習 I	2		
		コンピュータ基礎演習 II	2		
	一般教養	哲学 I			2
		哲学 II			2
		法学 I			2
		法学 II (日本国憲法)			2
		経済学 I			2
		経済学 II			2
		社会学 I			2
		社会学 II			2
		民俗学 I			2
		民俗学 II			2
		自然科学概論 I			2
		自然科学概論 II			2
		健康科学			2
		スポーツ科学			2
		金沢まち学 I a			1
		金沢まち学 I b			1
		金沢まち学 II			2
		コンピュータ活用演習 I			2
		コンピュータ活用演習 II			2
		キャリア教育	FSP講座		
	キャリアデザイン I		2		
	キャリアデザイン II		2		
	キャリアデザイン III		2		
	キャリアプランニング I		2		
	キャリアプランニング II				2
	就業体験 (インターンシップ等)				1
	地域貢献 I (ボランティア等)				1
	地域貢献 II (ボランティア等)		1		
計		14	43		

外国語科目	第一外国語	基礎英語 I	2	
		基礎英語 II	2	
		English Communication I	2	
		English Communication II	2	
		英語プレゼンテーション初級 I	2	
		英語プレゼンテーション初級 II	2	
	第二外国語	ドイツ語 I		2
		ドイツ語 II		2
		フランス語 I		2
		フランス語 II		2
		中国語 I		2
		中国語 II		2
		朝鮮語 I		2
	朝鮮語 II		2	
計		12	16	
合計		26	59	

専門教育科目

授業科目		単位数			
		必修	選択		
必修	日本文学専攻	日本文学入門	2		<p>専門教育科目から82単位以上を修得しなければならない。</p> <p>ただし、専門教育科目において各専攻毎に定める必修科目または選択必修科目を修得しなければならない。</p>
		日本文学概説 I a	1		
		日本文学概説 I b	1		
		日本文学概説 II a	1		
		日本文学概説 II b	1		
		日本語学概説 I	2		
		日本語学概説 II	2		
		日本文学史 I	2		
		日本文学史 II	2		
		英米文学専攻	海外留学・英語学・英米文学入門 a	1	
	海外留学・英語学・英米文学入門 b		1		
	英語学概論 I		2		
	英米文学概論 I		2		
	English Presentation (Intermediate) I		2		
	English Presentation (Intermediate) II		2		
	World Culture through English I		2		
	World Culture through English II		2		
	心理学専攻	心理学概論 A	2		<p>英米文学専攻 専門必修科目14単位、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する</p>
		心理学概論 B	2		
		心理学統計法 I	2		
心理学統計法 II		2			
		日本史概説 I		2	

専門科目	選択必修	歴史学専攻	日本史概説Ⅱ	2	歴史学専攻 専門選択必修科目12単位以上、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する。
			西洋史概説Ⅰ	2	
			西洋史概説Ⅱ	2	心理学専攻 専門必修科目8単位、学科共通専門必修科目12単位を含め、82単位以上を修得する。
			東洋史概説Ⅰ	2	
			東洋史概説Ⅱ	2	
			考古学概説Ⅰ	2	
			考古学概説Ⅱ	2	
	選択	日本文学専攻	日本語表現法Ⅰ	2	
			日本語表現法Ⅱ	2	
			現代文章論	2	
			漢文学講読Ⅰ	2	
			漢文学講読Ⅱ	2	
			古典文学講読Ⅰ	2	
			古典文学講読Ⅱ	2	
			近・現代文学講読A	2	
			近・現代文学講読B	2	
			評論の読み方	2	
			日本語教育学Ⅰ	2	
			日本語教育学Ⅱ	2	
			地域と文学a	1	
			地域と文学b	1	
			現代文章実践	2	
			書道（書写実習）	2	
			古典文学演習	4	
			近・現代文学演習A	4	
			近・現代文学演習B	4	
			近・現代文学演習C	4	
			日本語学演習	4	
			日本語教授法	2	
			日本語教育実習	1	
			古典文学特殊講義	2	
			近・現代文学特殊講義A	2	
			近・現代文学特殊講義B	2	
			日本語学特殊講義	2	
			社会言語学Ⅰ	2	
			社会言語学Ⅱ	2	
			日本語史概説Ⅰ	2	
			日本語史概説Ⅱ	2	
			創作入門	2	
			創作実践	2	
			日本語文法Ⅰ	2	

専門科目	日本文学専攻	日本語文法Ⅱ	2	
		新聞学講義	2	
		総合日本文学	2	
		島清恋愛文学講座Ⅰ	2	
		島清恋愛文学講座Ⅱ	2	
		島清恋愛文学講座Ⅲ	2	
		国語科教育法Ⅰ	4	
		国語科教育法Ⅱ	4	
		英米文学専攻	英語学概論Ⅱ	2
			英米文学概論Ⅱ	2
			Japanese Culture through English	2
			英語資格試験対策Ⅰ	2
			英語資格試験対策Ⅱ	2
			言語習得研究Ⅰ	2
			言語習得研究Ⅱ	2
	英語文法論Ⅰ		2	
	英語文法論Ⅱ		2	
	英語学講読Ⅰ		2	
	英語学講読Ⅱ		2	
	英米文学講読Ⅰ		2	
	英米文学講読Ⅱ		2	
	英米文学研究法		2	
	英文学と英国社会		2	
	英米文化論Ⅰ		2	
	英米文化論Ⅱ		2	
	English Writing		2	
	Academic Writing	2		
	English DiscussionⅠ	2		
	English DiscussionⅡ	2		
	英語音声学Ⅰ	2		
	英語音声学Ⅱ	2		
	英語学演習Ⅰ	4		
	英語学演習Ⅱ	4		
言語学演習Ⅰ	4			
言語学演習Ⅱ	4			
第二言語習得演習Ⅰ	4			
第二言語習得演習Ⅱ	4			
原典講読Ⅰ	2			
原典講読Ⅱ	2			
英米文学演習Ⅰ	4			
英米文学演習Ⅱ	4			

	海外留学		4
	英語科教育法 I		4
	英語科教育法 II		4
歴史学専攻	保存科学概説 I		2
	保存科学概説 II		2
	自然地理学概説 I		2
	自然地理学概説 II		2
	人文地理学概説 I		2
	人文地理学概説 II		2
	地誌		2
	古文書学演習 I		2
	古文書学演習 II		2
	文献資料研究法 I		2
	文献資料研究法 II		2
	日本経済史		2
	古代・中世史演習 I		2
	古代・中世史演習 II		2
	近世史演習 I		2
	近世史演習 II		2
	近代史演習 I		2
	近代史演習 II		2
歴史学専攻	日本史特殊講義		2
	東洋史文献講読 I		2
	東洋史文献講読 II		2
	東洋史演習 I		2
	東洋史演習 II		2
	東洋史特殊講義		2
	西洋史文献講読 I		2
	西洋史文献講読 II		2
	西洋政治史		2
	西洋史演習 I		2
	西洋史演習 II		2
	西洋史特殊講義		2
	考古学演習 I		2
	考古学演習 II		2
	考古学演習 III		2
	考古学実習 I		2
	考古学実習 II		2
	考古学特殊講義		2
	保存科学演習 I		2
	保存科学演習 II		2

専門科目	選択	文化財と自然科学	2	自由科目で卒業要件とはならない
		文化財の保護と活用	2	
政治学概論		2		
社会科・地歴科教育法		4		
社会科・公民科教育法		4		
心理学専攻	学習・言語心理学	2		
	動物・比較心理学	2		
	知覚・認知心理学	2		
	神経・生理心理学	2		
	認知学習心理学演習Ⅰ	2		
	認知学習心理学演習Ⅱ	2		
	発達心理学	2		
	感情・人格心理学	2		
	対人関係の心理学	2		
	発達心理学演習Ⅰ	2		
	発達心理学演習Ⅱ	2		
	臨床心理学概論	2		
	心理学的支援法	2		
	健康・医療心理学	2		
	臨床心理学演習Ⅰ	2		
	臨床心理学演習Ⅱ	2		
	社会・集団・家族心理学	2		
	産業・組織心理学	2		
	社会心理学演習Ⅰ	2		
	社会心理学演習Ⅱ	2		
	心理学文献講読	2		
	心理学研究法ⅠA	2		
	心理学研究法ⅠB	2		
	心理学研究法Ⅱ	2		
	心理学実験ⅠA	2		
	心理学実験ⅠB	2		
	心理学実験Ⅱ	2		
	心理演習	2		
	心理的アセスメント	2		
	福祉心理学	2		
	教育・学校心理学	2		
	障害者・障害児心理学	2		
	司法・犯罪心理学	2		
人体の構造と機能及び疾病	2			
精神疾患とその治療	2			
関係行政論	1			

		公認心理師の職責		1
		心理実習		2
学科 共通 専門		地域実践研究Ⅰ		2
		地域実践研究Ⅱ		2
		海外演習A		2
		海外演習B		2
		プレ卒業研究演習	4	
		卒業研究	8	
計			48	377
合計			74	436

別表第2 教育学部教育課程

教育学科

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
教養科目	教職入門Ⅰ	1		卒業要件となる科目の履修上限は、原則年間48単位とする。	
	教職入門Ⅱ	1			
	教職入門Ⅲ	1			
	教職入門Ⅳ	1			
	コンピュータ基礎演習	2		卒業に要する単位数 教養科目から必修14単位、専門科目から必修30単位を含む128単位以上を修得しなければならない。	
	日本国憲法	2			
	哲学		2		
	社会学		2		
	地理学		2		
	体育理論	1			
	体育実技	1			
	英語Ⅰ	2			
	英語Ⅱ	2			
合計		14	6		
専門科目	教職基幹科目	教職論	2		なお、上記必修科目のほか、各コースで卒業に必要な単位については別に定める。
		教育原理	2		
		教育心理学	2		
		教育経営概論	2		
		教育課程論	2		
		教育方法・技術論	2		
	小学校・中学校教諭専門科目	道徳教育の指導法		2	
		特別活動の理論と実践		2	
		総合的な学習の時間の指導法		2	
		生徒・進路指導論		2	
		初等教科教育法（国語）		2	
		初等教科教育法（社会）		2	
		初等教科教育法（算数）		2	
		初等教科教育法（理科）		2	
		初等教科教育法（生活）		2	
		初等教科教育法（音楽）		2	
		初等教科教育法（図画工作）		2	
		初等教科教育法（家庭）		2	
		初等教科教育法（体育）		2	
		初等教科教育法（英語）		2	
英語科教育法Ⅰ		4			
英語科教育法Ⅱ		4			

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
専門科目	幼稚園教諭・保育士専門科目	保育原理		2	
		保育課程論		2	
		子ども家庭福祉		2	
		社会福祉		2	
		社会的養護Ⅰ		2	
		保育者論		2	
		保育の心理学		2	
		子ども家庭支援の心理学		2	
		子どもの理解と援助		1	
		子どもの保健		2	
		子どもの健康と安全		1	
		子どもの食と栄養		2	
		子ども家庭支援論		2	
		保育内容総論		1	
		保育内容（健康）		2	
		保育内容（人間関係）		2	
		保育内容（環境）		2	
		保育内容（ことば）		2	
		保育内容（表現）		2	
		保育内容演習（健康）		1	
		保育内容演習（人間関係）		1	
		保育内容演習（環境）		1	
		保育内容演習（ことば）		1	
		保育内容演習（表現）		1	
		幼児理解と教育相談		2	
		乳児保育Ⅰ		2	
		乳児保育Ⅱ		1	
		社会的養護Ⅱ		1	
		子育て支援		1	
		幼児・児童文化		1	
		表現演習Ⅰ		1	
		表現演習Ⅱ		1	

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
専 門 科 目	教 科 専 門 科 目	国語（書写含む）		2	
		社会		2	
		算数		2	
		理科		2	
		生活		2	
		音楽基礎		2	
		図画工作		2	
		体育Ⅰ		2	
		体育Ⅱ（リズムダンス）		1	
		家庭		2	
		小学校英語		2	
		英語学概論		2	
	英語文法論		2		
	英語文法演習		2		
	英米文学概論		2		
	英米文学史		2		
	英米文学講読		2		
	英米文学演習		2		
	言語習得研究		2		
	英語表現Ⅰ		2		
	英語表現Ⅱ		2		
	English Writing		2		
	グ ロ ー バ ル 人 材 の 育 成	国際理解教育概論	2		
		多文化理解概論		2	
		文化比較論		2	
		地球市民論	2		
		グローバル対話論	2		
		生物多様性概説		2	
		海外英語教材比較研究		2	
		小学校英語教育概論		2	
		英語プレゼンテーション		2	
		英語コミュニケーションⅠ		2	
		英語コミュニケーションⅡ		2	
多文化共生社会と保育		2			

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
新課題 対応力の 育成	ICT活用教育概論	2		
	デジタル教材開発		2	
	ICT活用とインクルーシブ教育		2	
	「チーム学校」と学校組織マネジメント	2		
	地域協働と学校の役割		2	
	スクールソーシャルワーク論		2	
	特別支援教育総論	2		
	教育相談		2	
	障がい児保育		2	
	障がい児教育		2	
専門科目 実習関連 科目	学校インターンシップ		2	
	保育インターンシップ		2	
	保育実習Ⅰ（保育所）		2	
	保育実習Ⅰ（施設）		2	
	保育実習Ⅱ		2	
	保育実習Ⅲ		2	
	保育実習指導Ⅰ		2	
	保育実習指導Ⅱ		1	
	保育実習指導Ⅲ		1	
	教育実習Ⅰ（幼）		2	
	教育実習Ⅱ（幼）		2	
	教育実習指導Ⅰ（幼）		1	
	教育実習指導Ⅱ（幼）		1	
	教育実習（小）		4	
	教育実習指導（小）		1	
	教育実習Ⅰ（中）		2	
	教育実習Ⅱ（中）		2	
	教育実習指導Ⅰ（中）		1	
	教育実習指導Ⅱ（中）		1	
	保育・教職実践演習（幼）		2	
教職実践演習（幼・小・中）		2		

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
セミナー・卒業研究	教育学基礎セミナーⅠ	1		
	教育学基礎セミナーⅡ	1		
	教育学セミナーⅠ	1		
	教育学セミナーⅡ	1		
	卒業研究	2		
計		30	198	
合計		44	204	

別表第2 経済学部教育課程

(1) 経済学科

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
修学基礎科目	学修基礎Ⅰa	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上修得しなければならない。
	学修基礎Ⅰb	1		
	学修基礎Ⅱa	1		
	学修基礎Ⅱb	1		
	コンピュータ基礎演習Ⅰa		1	
	コンピュータ基礎演習Ⅰb		1	
	小計	4	2	
人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ		2	
	哲学Ⅱ		2	
	哲学と倫理		2	
	社会学Ⅰ		2	
	社会学Ⅱ		2	
	西洋史概説Ⅰ		2	
	西洋史概説Ⅱ		2	
	日本史概説Ⅰ		2	
	日本史概説Ⅱ		2	
	東洋史概説Ⅰ		2	
	東洋史概説Ⅱ		2	
	人文地理学概説Ⅰ		2	
	人文地理学概説Ⅱ		2	
	地誌		2	
	法学（日本国憲法）		2	
	心理学の基礎		2	
	経済学概論		2	
	一般数学		2	
	自然科学概論Ⅰ		2	
	自然科学概論Ⅱ		2	
自然地理学概説Ⅰ		2		
自然地理学概説Ⅱ		2		
小計		44		
語学科目	英語Ⅰ	2		
	英語Ⅱ	2		
	英語コミュニケーションⅠ		2	
	英語コミュニケーションⅡ		2	
	総合英語Ⅰ		2	
	総合英語Ⅱ		2	
小計	4	8		
スポーツ科目	スポーツ科学		2	
	小計		2	
	F S P 講座		2	

キャリア科目	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ	2		
	キャリアプランニングⅠ	2		
	キャリアプランニングⅡ		2	
	就業体験（インターシップ等）		1	
	ボランティア体験		1	
	小計	8	6	
専門必修科目	基礎科目	現代経済論Ⅰ	2	○卒業に要する単位数 専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。
		ミクロ経済学Ⅰ	2	
		マクロ経済学Ⅰ	2	
	展開科目	基礎演習Ⅰ	2	
		基礎演習Ⅱ	2	
		演習Ⅰ	2	
		演習Ⅱ	2	
小計	14			
基礎科目	経営学基礎Ⅰ		2	
	経営学基礎Ⅱ		2	
	会計学基礎Ⅰ		2	
	会計学基礎Ⅱ		2	
	情報マネジメント基礎		2	
	経済数学		2	
	現代経済論Ⅱ		2	
	コンピュータ基礎演習Ⅱa		1	
	コンピュータ基礎演習Ⅱb		1	
	統計基礎		2	
	まちづくり論		2	
	観光と経済		2	
	社会保障論		2	
	経済学史		2	
	経済データ分析Ⅰ		2	
	経済データ分析Ⅱ		2	
	計量経済学Ⅰ		2	
	計量経済学Ⅱ		2	
	原価計算Ⅰ		2	
	原価計算Ⅱ		2	
	財務会計		2	
	商業簿記Ⅰ		2	
	商業簿記Ⅱ		2	
	政治学概論		2	
税法基礎		2		
日本経済史		2		
世界経済史		2		
法律学概論		2		

専 門 科 目	専 門 選 択 科 目	マーケティング論Ⅰ	2
		マーケティング論Ⅱ	2
		マクロ経済学Ⅱ	2
		ミクロ経済学Ⅱ	2
		経営管理論Ⅰ	2
		経営管理論Ⅱ	2
		ビジネス英語Ⅰ	2
		ビジネス英語Ⅱ	2
	展 開 科 目	公共経済学	2
		公共政策論	2
		民法Ⅰ	2
		民法Ⅱ	2
		労働経済学	2
		デジタル経済	2
		金融論Ⅰ	2
		金融論Ⅱ	2
		金融データ分析	2
		経営組織論	2
		経済政策論	2
		産業組織論	2
		計量社会科学Ⅰ	2
		計量社会科学Ⅱ	2
		ゲーム理論	2
		社会政策論	2
		公益事業論	2
		国際経済	2
		財政学Ⅰ	2
財政学Ⅱ		2	
社会データ分析		2	
商法Ⅰ		2	
商法Ⅱ		2	
人的資源管理		2	
政治学		2	
税法		2	
地域金融を考えるa		1	
地域金融を考えるb		1	
地域経済論		2	
観光経済論	2		
地域振興論	2		
都市と文化	2		
ビジネス・ケーススタディa	1		
ビジネス・ケーススタディb	1		
ビジネス戦略	2		
医療政策論	2		

	北陸経済産業論a		1
	北陸経済産業論b		1
	コーポレートファイナンスⅠ		2
	コーポレートファイナンスⅡ		2
	マーケティング・リサーチ		2
	流通論Ⅰ		2
	流通論Ⅱ		2
	公民科教育法		4
	小計		154
	合計	30	216

(2) 経営学科

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰa	1	○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目から16単位、教養科目の選択科目から16単位以上修得しなければならない。	
		学修基礎Ⅰb	1		
		学修基礎Ⅱa	1		
		学修基礎Ⅱb	1		
		コンピュータ基礎演習Ⅰa			1
		コンピュータ基礎演習Ⅰb			1
		小計	4		2
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ			2
		哲学Ⅱ			2
		社会学Ⅰ			2
社会学Ⅱ			2		
法学（日本国憲法）			2		
心理学の基礎			2		
経済学概論			2		
一般数学			2		
自然科学概論Ⅰ			2		
自然科学概論Ⅱ			2		
小計		20			
語学科目	英語Ⅰ	2			
	英語Ⅱ	2			
	英語コミュニケーションⅠ		2		
	英語コミュニケーションⅡ		2		
	総合英語Ⅰ		2		
	総合英語Ⅱ		2		
	小計	4	8		
スポーツ科目	スポーツ科学		2		
	小計		2		
	F S P 講座		2		

キャリア科目	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ	2		
	キャリアプランニングⅠ	2		
	キャリアプランニングⅡ		2	
	就業体験（インターシップ等）		1	
	ボランティア体験		1	
	小計	8	6	
専門必修科目	基礎科目	経営学基礎Ⅰ	2	○卒業に要する単位数 専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位を修得しなければならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。
		会計学基礎Ⅰ	2	
		現代経済論Ⅰ	2	
	展開科目	基礎演習Ⅰ	2	
		基礎演習Ⅱ	2	
		演習Ⅰ	2	
		演習Ⅱ	2	
		小計	14	
基礎科目		プログラミング基礎a		1
		プログラミング基礎b		1
		経営学基礎Ⅱ		2
		会計学基礎Ⅱ		2
		情報マネジメント基礎Ⅰ		2
		現代経済論Ⅱ		2
		コンピュータ基礎演習Ⅱa		1
		コンピュータ基礎演習Ⅱb		1
		統計基礎		2
		経営管理論Ⅰ		2
		経営管理論Ⅱ		2
		マーケティング論Ⅰ		2
		マーケティング論Ⅱ		2
		ミクロ経済学Ⅰ		2
		マクロ経済学Ⅰ		2
		日本経済史		2
		世界経済史		2
		まちづくり論		2
		財務会計Ⅰ		2
		商業簿記Ⅰ		2
		商業簿記Ⅱ		2
		原価計算Ⅰ		2
		原価計算Ⅱ		2
		税法基礎		2
		税務会計Ⅰ		2
		ビジネス英語Ⅰ		2
	ビジネス英語Ⅱ		2	
	経済数学		2	

専門科目

専門選択科目

展開科目

プログラミング I a		1
プログラミング I b		1
経営科学 I		2
経営科学 II		2
情報マネジメント基礎 II		2
ミクロ経済学 II		2
財務会計 II		2
マクロ経済学 II		2
観光と経済		2
公共経済学		2
労働経済学		2
デジタル経済		2
計量経済学 I		2
計量経済学 II		2
ゲーム理論		2
経営組織論		2
組織行動論		2
人的資源管理		2
消費者行動論		2
ビジネス戦略		2
地域経済論		2
国際経済		2
金融論		2
財政学		2
産業組織論		2
経済政策論		2
地域振興論		2
都市と文化		2
政治学		2
地域金融を考えるa		1
地域金融を考えるb		1
経営分析		2
企業価値評価		2
管理会計		2
商法 I		2
商法 II		2
税法		2
ビジネス・ケーススタディ a		1
ビジネス・ケーススタディ b		1
職業指導		2
北陸経済産業論a		1
北陸経済産業論b		1
マーケティング・リサーチ		2
流通論 I		2

	流通論Ⅱ		2
	コーポレートファイナンスⅠ		2
	コーポレートファイナンスⅡ		2
	監査論		2
	税務会計Ⅱ		2
	商業科教育法		4
	小計		146
	合計	30	184

別表第3 経済情報学部教育課程
経済情報学科

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
教養科目	修学基礎科目	学修基礎Ⅰa	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目から16単位、 教養科目の選択科目から16単位以上修得しなければならない。
		学修基礎Ⅰb	1		
		学修基礎Ⅱa	1		
		学修基礎Ⅱb	1		
		コンピュータ基礎演習Ⅰa		1	
		コンピュータ基礎演習Ⅰb		1	
		小計	4	2	
	人文・社会・自然科学科目	哲学Ⅰ		2	
		哲学Ⅱ		2	
		社会学Ⅰ		2	
		社会学Ⅱ		2	
		法学（日本国憲法）		2	
		心理学の基礎		2	
		経済学概論		2	
		一般数学		2	
		自然科学概論Ⅰ		2	
		自然科学概論Ⅱ		2	
		自然地理学概説Ⅰ		2	
		自然地理学概説Ⅱ		2	
		小計		24	
	語学科目	英語Ⅰ	2		
		英語Ⅱ	2		
		総合英語Ⅰ		2	
		総合英語Ⅱ		2	
		英語コミュニケーションⅠ		2	
		英語コミュニケーションⅡ		2	
		小計	4	8	
	スポーツ科目	スポーツ科学		2	
		小計		2	
	キャリア科目	F S P 講座		2	
		キャリアデザインⅠ	2		
		キャリアデザインⅡ	2		
		キャリアデザインⅢ	2		
キャリアプランニングⅠ		2			
キャリアプランニングⅡ			2		
就業体験（インターンシップ等）			1		
ボランティア体験			1		
小計	8	6			
基礎科	現代経済論Ⅰ	2			
	経営学基礎Ⅰ	2			

専門必修科目	目	情報科学 I	2	
	展開科目	基礎演習 I	2	
		基礎演習 II	2	
		演習 I	2	
		演習 II	2	
		小計	14	
基礎科目		コンピュータ基礎演習 II a		1
		コンピュータ基礎演習 II b		1
		情報科学 II		2
		経済数学		2
		統計基礎		2
		現代経済論 II		2
		経営学基礎 II		2
		情報技術基礎 I		2
		情報技術基礎 II		2
		情報技術 I		2
		情報技術 II		2
		情報マネジメント基礎 I		2
		情報マネジメント基礎 II		2
		プログラミング基礎 a		1
		プログラミング基礎 b		1
		プログラミング I a		1
		プログラミング I b		1
		プログラミング II a		1
		プログラミング II b		1
		経営科学 I		2
		経営科学 II		2
		アルゴリズムとデータ構造		2
		経営管理論 I		2
		経営管理論 II		2
		情報サービスマネジメントとシステム監査		2
		マーケティング論 I		2
		マーケティング論 II		2
		ミクロ経済学 I		2
		マクロ経済学 I		2
		計量経済学 I		2
		経済情報学 I		2
		データベース I		2
	情報サービス論		2	
	情報サービス演習 I		2	
	情報社会論		2	
	情報倫理		2	
	情報と職業		2	
	ビジネス英語 I		2	

○卒業に要する単位数
 専門科目の必修単位から14単位、専門科目の選択科目から82単位を修得しなければならない。

なお、年間の履修科目の登録の上限は原則48単位とする。

専

門 科 目	専 門 選 択 科 目	ビジネス英語Ⅱ	2
		プログラミングⅢa	1
		プログラミングⅢb	1
		プログラミングⅣa	1
		プログラミングⅣb	1
		ミクロ経済学Ⅱ	2
		マクロ経済学Ⅱ	2
		計量経済学Ⅱ	2
		経済情報学Ⅱ	2
		公共経済学	2
		労働経済学	2
		マルチメディア表現と技術Ⅰ	2
		マルチメディア表現と技術Ⅱ	2
		機械学習Ⅰ	2
		機械学習Ⅱ	2
	ゲーム理論	2	
	展 開 科 目	ITプロジェクトマネジメントⅠ	2
		ITプロジェクトマネジメントⅡ	2
		消費者行動論	2
		経営組織論	2
		ビジネス戦略	2
		組織行動論	2
		人的資源管理	2
		ビジネス・ケーススタディa	1
		ビジネス・ケーススタディb	1
		社会データ分析	2
		金融データ分析	2
計量社会科学Ⅰ		2	
計量社会科学Ⅱ	2		
金融論Ⅰ	2		
金融論Ⅱ	2		
国際経済	2		
データベースⅡ	2		
財政学	2		
経済政策論	2		
情報サービス演習Ⅱ	2		
情報科教育法	4		
流通論Ⅰ	2		
流通論Ⅱ	2		
マーケティング・リサーチ	2		
情報通信ネットワークⅠ	2		
情報通信ネットワークⅡ	2		
ネットワークと情報セキュリティ	2		
ネットワーク科学と経済Ⅰa	1		

		ネットワーク科学と経済Ⅰb		1
		ネットワーク科学と経済Ⅱa		1
		ネットワーク科学と経済Ⅱb		1
		小計		154
		合計	30	196

別表第4 芸術学部教育課程

(1) 芸術学科

1 教養科目

授業科目		単位数		備考
		必修	選択	
一般教養科目	学修基礎Ⅰ	1		卒業に要する単位数は128単位以上 教養科目は、一般教養科目の必修科目から15単位、選択科目から5単位以上の計20単位以上、語学の必修科目から、4単位、選択科目から4単位以上の計8単位以上修得しなければならない。
	学修基礎Ⅱ	1		
	キャリアデザインⅠ	2		
	キャリアデザインⅡ	2		
	キャリアデザインⅢ	2		
	スポーツ科学		2	
	コンピュータ基礎演習Ⅰ	2		
	コンピュータ基礎演習Ⅱ	2		
	キャリアプランニングⅠ	1		
	キャリアプランニングⅡ		1	
	就業体験（インターシップ等）		1	
	キャリアデザイン基礎		1	
	金沢まち学a		1	
	金沢まち学b		1	
	金沢まち学特講a	1		
	金沢まち学特講b	1		
	地域課題研究		2	
	経済学の基礎		2	
	法学（日本国憲法）		2	
	心理学の基礎		2	
	知的所有権論a		1	
	知的所有権論b		1	
	社会学Ⅰ		2	
	社会学Ⅱ		2	
	哲学Ⅰ		2	
	哲学Ⅱ		2	
小計	15	25		
語学	英語Ⅰ	2		
	英語Ⅱ	2		
	英語資格対策講座Ⅰ		2	
	英語資格対策講座Ⅱ		2	
	English PresentationⅠ		2	
	English PresentationⅡ		2	
	フランス語Ⅰ		2	
	フランス語Ⅱ		2	
	ドイツ語Ⅰ		2	
	ドイツ語Ⅱ		2	
	中国語Ⅰ		2	
	中国語Ⅱ		2	

	小計	4	20
	教養科目計	19	45

2 専門科目

	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
専門 共通 科目	芸術表現基礎a	3		専門科目は、必修科目から18単位、 選択科目から82単位以上の計100単位以上 修得しなければならない。 なお、卒業要件となる科目の履修上限は 原則年間48単位とする。
	芸術表現基礎b	3		
	絵画工芸基礎a		2	
	絵画工芸基礎b		2	
	デッサン		2	
	人体と美術		2	
	美術概論		2	
	工芸史		2	
	工芸概論		2	
	日本美術史		2	
	東洋美術史		2	
	西洋美術史		2	
	日本美術特論a		1	
	日本美術特論b		1	
	東洋美術特論a		1	
	東洋美術特論b		1	
	西洋美術特論a		1	
	西洋美術特論b		1	
	美術文化交流史		2	
	近現代美術史a		1	
	近現代美術史b		1	
	文化芸術活用特論		2	
	美術材料学a		1	
	美術材料学b		1	
	図学		2	
	基礎造形論Ⅰ		2	
	基礎造形論Ⅱ		2	
	デザイン概論Ⅰ		2	
	デザイン概論Ⅱ		2	
	メディアデザイン論a		1	
	メディアデザイン論b		1	
	ジャーナリズム・ドキュメンタリー論a		1	
	ジャーナリズム・ドキュメンタリー論b		1	
	デザイン基礎		2	
映像基礎a		1		
映像基礎b		1		
CG実習a		1		
CG実習b		1		

メディア基礎		2
ソフトウェア基礎論a		1
ソフトウェア基礎論b		1
マルチメディア論a		1
マルチメディア論b		1
工学デザインa		1
工学デザインb		1
ウェブデザインⅠa		1
ウェブデザインⅠb		1
ウェブデザインⅡa		1
ウェブデザインⅡb		1
ウェブデザイン演習a		1
ウェブデザイン演習b		1
色彩学a		1
色彩学b		1
プレゼンテーション基礎a	1	
プレゼンテーション基礎b	1	
プレゼンテーション活用a	1	
プレゼンテーション活用b	1	
卒業制作・研究Ⅰ	4	
卒業制作・研究Ⅱ	4	
小計	18	70
絵画分野	絵画実習	2
	絵画Ⅰ	4
	絵画Ⅱ	4
	絵画Ⅲ	4
	絵画Ⅳ	4
	絵画表現法Ⅰa	1
	絵画表現法Ⅰb	1
	絵画表現法Ⅱa	1
	絵画表現法Ⅱb	1
	絵画表現法Ⅲa	1
	絵画表現法Ⅲb	1
	絵画表現法Ⅳa	1
	絵画表現法Ⅳb	1
	工芸	工芸実習
工芸Ⅰ		4
工芸Ⅱ		4
工芸Ⅲ		4
工芸Ⅳ		4
美術科教育法Ⅰ		4
美術科教育法Ⅱ		4
工芸科教育法		4
工芸表現法Ⅰa	1	

専門 選択科目	造形分野	工芸表現法Ⅰb	1
		工芸表現法Ⅱa	1
		工芸表現法Ⅱb	1
		工芸表現法Ⅲa	1
		工芸表現法Ⅲb	1
		工芸表現法Ⅳa	1
		工芸表現法Ⅳb	1
		彫刻基礎	2
		彫刻表現	2
		版画基礎	2
		版画表現	2
		複合表現演習Ⅰa	1
		複合表現演習Ⅰb	1
		複合表現演習Ⅱa	1
		複合表現演習Ⅱb	1
	デザイン分野	視覚伝達論a	1
		視覚伝達論b	1
		マルチメディア演習a	2
		マルチメディア演習b	2
		ビジュアルデザインa	1
		ビジュアルデザインb	1
		デザイン演習Ⅰa	2
		デザイン演習Ⅰb	2
		デザイン演習Ⅱa	2
		デザイン演習Ⅱb	2
		広告メディア論	2
		デザイン演習Ⅲa	2
		デザイン演習Ⅲb	2
		デザインマネジメントⅠ	2
		DTPデザインa	1
		DTPデザインb	1
		生活デザインa	1
		生活デザインb	1
デザインマネジメントⅡ	2		
メディア分野	CG活用演習a	2	
	CG活用演習b	2	
	サウンドメディア	2	
	ゲームデザインa	2	
	ゲームデザインb	2	
	ウェブ活用演習Ⅰa	2	
	ウェブ活用演習Ⅰb	2	
	ウェブ活用演習Ⅱa	1	
	ウェブ活用演習Ⅱb	1	
ウェブ応用演習Ⅰa	1		

野	ウェブ応用演習Ⅰb		1
	ウェブ応用演習Ⅱa		1
	ウェブ応用演習Ⅱb		1
	CG応用演習a		2
	CG応用演習b		2
	メディアコンテンツ制作論a		2
	メディアコンテンツ制作論b		2
映像分野	映像制作Ⅰ		4
	映像表現		4
	映像論		2
	シナリオ論		2
	アニメーション演習Ⅰ（実写・クレイ）a		1
	アニメーション演習Ⅰ（実写・クレイ）b		1
	映像制作Ⅱ		4
	アニメーション演習Ⅱ（2DCG）a		1
	アニメーション演習Ⅱ（2DCG）b		1
	ポストプロダクションa		1
	ポストプロダクションb		1
	CM制作a		1
	CM制作b		1
	アニメーション演習Ⅲ（3DCG）a		1
アニメーション演習Ⅲ（3DCG）b		1	
	小計	0	160
	専門科目計	18	230
	合計	37	275

別表第5 スポーツ科学部教育課程
スポーツ科学部スポーツ科学科

授業科目		単位数		備考	
		必修	選択		
教養科目	学修基礎Ⅰa	1		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修14単位を含め20単位以上修得しなければならない。	
	学修基礎Ⅰb	1			
	学修基礎Ⅱ		1		
	学習基礎Ⅲ		1		
	学習基礎Ⅳ		1		
	キャリアデザインⅠ	2			
	キャリアデザインⅡ	2			
	キャリアデザインⅢ	2			
	哲学Ⅰ		2		
	哲学Ⅱ		2		
	法学(日本国憲法)		2		
	心理学の基礎		2		
	経済学の基礎		2		
	生理学		2		
	倫理学		2		
	地域課題研究		2		
	F S P講座		2		
	スポーツ科学	2			
	コンピュータ基礎演習Ⅰ		2		
	コンピュータ基礎演習Ⅱ		2		
	キャリアプランニングⅠ	2			
キャリアプランニングⅡ	2				
インターンシップ実習		1			
小計	14	26			
外国語科目	英語Ⅰ	2		○卒業に要する単位数 外国語科目は、必修4単位を含め8単位以上修得しなければならない。	
	英語Ⅱ	2			
	英語コミュニケーションⅠ		2		
	英語コミュニケーションⅡ		2		
	中国語Ⅰ		2		
	中国語Ⅱ		2		
	朝鮮語Ⅰ		2		
	朝鮮語Ⅱ		2		
	小計	4	12		
専門科目	専門必修科目	運動生理学	2		○卒業に要する単位数 専門科目は、必修34単位、選択必修スポーツ実技から6単位以上を含めて、計100単位以上修得しなければならない。 なお、卒業要件となる科目の履修上限は、年間48単位以内とする。
		健康科学	2		
		スポーツ心理学	2		
		トレーニング論	2		
		機能的解剖学	2		
		運動学	2		
		スポーツ栄養学	2		

	スポーツ経営管理	2	
	運動発達・老化学	2	
	体育原理	2	
	体育史	2	
	スポーツ医学(救急処置を含む。)	2	
	スポーツ社会学	2	
	専門演習Ⅰ	4	
	専門演習Ⅱ	4	
	小計	34	0
専門選択必修スポーツ実技科目	スポーツ実技Ⅰ(水泳)		1
	スポーツ実技Ⅱ(体づくり・ニュースポーツ)		1
	スポーツ実技Ⅲ(陸上)		1
	スポーツ実技Ⅳ(テニス・バドミントン)		1
	スポーツ実技Ⅴ(バレーボール)		1
	スポーツ実技Ⅵ(ダンス)		1
	スポーツ実技Ⅶ(器械体操・トランポリン)		1
	スポーツ実技Ⅷ(柔道・剣道)		1
	スポーツ実技Ⅸ(ソフトボール)		1
	スポーツ実技Ⅹ(野外スポーツ)		1
	スポーツ実技Ⅺ(卓球)		1
	スポーツ実技Ⅻ(ラグビーⅠ)		1
	スポーツ実技ⅩⅢ(ラグビーⅡ)		1
	スポーツ実技ⅩⅣ(サッカーⅠ)		1
	スポーツ実技ⅩⅤ(サッカーⅡ)		1
	スポーツ実技ⅩⅥ(バスケットボール)		1
	スポーツ実技ⅩⅦ(野球)		1
	スポーツ実技ⅩⅧ(マリンスポーツ)		1
	スポーツ実技ⅩⅨ(スノースポーツ)		1
	小計	0	19
専門選択科目	地域とスポーツ		2
	スポーツメディア論		2
	スポーツマーケティング		2
	スポーツ文化論		2
	スポーツ法学		2
	スポーツファイナンス		2
	スポーツ政策論		2
	生命倫理		2
	プレゼンテーション演習		2
	情報活用演習		4
	海外文献講読		2
	海外研修(スポーツ事情)		2
	スポーツ測定評価		2
	運動処方		2
	スポーツコンディショニング論		2

専門 選択 科目	スポーツコンディショニング演習Ⅰ		1
	スポーツコンディショニング演習Ⅱ		1
	コーチング論		2
	コーチング演習Ⅰ		1
	コーチング演習Ⅱ		1
	メンタルトレーニング論		2
	スポーツ技術・戦術論		2
	武道論		2
	武道演習Ⅰ		1
	武道演習Ⅱ		1
	球技論		2
	球技演習Ⅰ		1
	球技演習Ⅱ		1
	スポーツ競技の心理		2
	スポーツイベント企画運営論		2
	スポーツボランティア論		2
	スポーツボランティア演習		2
	競技者育成システム		2
	生涯スポーツ論		2
	スポーツビジネス概論		2
	生活習慣病概論		2
	運動生化学		2
	衛生・公衆衛生学		2
	学校保健		2
	病理学		2
	スポーツトレーナー演習		2
	レクリエーション論		2
	公務員と法		2
	体力トレーニング実習		1
	資格柔道		1
	健康管理演習		2
	健康産業施設現場研修		2
	健康運動演習		2
	スポーツ統計学		2
	スポーツ技術指導演習		2
	サッカー指導演習		2
	スポーツ集団の形成と社会		2
	スポーツ心理学演習		2
	オリンピックへの挑戦と指導		2
	保健体育科教育法Ⅰ		4
	保健体育科教育法Ⅱ		4
	小計	0	108
	合計	52	165

別表第6 栄養学部教育課程
栄養学部栄養学科

科目区分	授業科目の名称	単位数		備考		
		必修	選択			
教養科目	学修基礎科目	学修基礎Ⅰ(プレゼミⅠ)	2		○卒業に要する単位数 教養科目は、必修科目12単位及び自然科学分野から4単位以上を含め20単位以上修得しなければならない。	
		学修基礎Ⅱ(プレゼミⅡ)	2			
		学修基礎Ⅲ	2			
		学修基礎Ⅳ	2			
	人文・社会科学	経済学の基礎		2		
		心理学の基礎		2		
		法学(日本国憲法)		2		
		哲学Ⅰ		2		
		哲学Ⅱ		2		
	スポーツ科学	スポーツ科学	2			
	キャリア科目	コンピュータ基礎演習Ⅰ		2		
		コンピュータ基礎演習Ⅱ		2		
		就職基礎講座	1			
		就職対策講座	1			
		就業体験(インターンシップ)		1		
	自然科学	生物学基礎		2		
		化学基礎		2		
		数学基礎		2		
		生理学基礎		2		
	地域連携科目	地域課題研究Ⅰ		2		
		地域課題研究Ⅱ		2		
	教養科目合計		12	27		
	外国語科目	英語Ⅰ	2			○卒業に要する単位数 必修4単位を含め8単位以上修得しなければならない。
		英語Ⅱ	2			
		英語コミュニケーションⅠ		2		
		英語コミュニケーションⅡ		2		
		中国語Ⅰ		2		
中国語Ⅱ			2			
朝鮮語Ⅰ			2			
朝鮮語Ⅱ			2			
外国語科目合計		4	12			
専門基礎科目	社会・環境と健康	保健統計学		2	○卒業に要する単位数 専門基礎科目から必修科目38単位、専門科目から必修科目34単位を含め、100単位以上修得しなければならない。	
		保健統計学実習		1		
		公衆衛生学	2			
		社会福祉概論	2			
		健康管理概論	2			

専門基礎分野		食生活論	2		卒業条件となる科目の履修上限は、年間48単位とする。	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	2			
		解剖生理学実験	1			
		運動生理学	2			
		病態生理学Ⅰ	2			
		病態生理学Ⅱ	2			
		病態生理学Ⅲ		2		
		生化学Ⅰ	2			
		生化学Ⅱ		2		
		生化学実験	1			
	食べ物と健康	食品学Ⅰ	2			
		食品学Ⅱ	2			
		食品学実験	1			
		食品加工学		2		
		食品機能論		2		
		食品加工学実習		1		
		食品微生物学	2			
		食品衛生学	2			
		食品衛生学実験	1			
		献立作成演習	2			
調理学		2				
専門科目	基礎栄養学	基礎栄養学	2			
		基礎栄養科学実験	1			
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2			
		応用栄養学Ⅱ	2			
		応用栄養学演習		2		
		応用栄養学実習	1			
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2			
		栄養教育論Ⅱ	2			
		栄養教育論実習Ⅰ	1			
		栄養教育論実習Ⅱ		1		
栄養情報処理演習		2				
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2				
	臨床栄養学Ⅱ		2			
	栄養アセスメント	2				
	臨床栄養実践演習		2			

専門科目		臨床栄養学実習	1	
	公衆栄養学	地域栄養演習		2
		公衆栄養学	2	
		公衆栄養活動論		1
		公衆栄養学実習		1
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2	
		給食経営管理論Ⅱ		2
		給食経営管理基礎実習	1	
		給食経営管理応用実習		1
	臨地実習	校外実習(給食の運営)	1	
		臨地実習Ⅰ(臨床栄養)		2
		臨地実習Ⅱ(給食経営管理)		1
		臨地実習Ⅲ(公衆栄養)		1
	総合演習	総合演習		1
		臨地実習事前・事後指導Ⅰ	1	
	栄養に係る教育に関する科目	学校栄養教育法		2
		食に関する指導法		2
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3	
		卒業研究Ⅱ	3	
	関連科目		健康栄養学概論	2
		生物有機化学	2	
		微生物学		2
		北陸の食文化		2
		微生物学実験		1
		食品栄養化学実験		1
		レポート・プレゼンテーション演習		2
		運動生理学実習		1
		栄養薬理学		2
		臨地実習事前・事後指導Ⅱ		1
		石川の食		2
		実践栄養学特論Ⅰ	2	
		実践栄養学特論Ⅱ	2	
		スポーツ栄養学		2
		専門英語		2
		食料経済		2
		フードスペシャリスト論		2
		フードコーディネータ論		2
関連科目小計			79	59
専門基礎科目・専門科目・関連科目合計			95	98

自由科目で卒業要件の単位に含まれない。

別表第7 大学共通教育課程(教育学部は除く)

(1)教育の基礎的理解に関する科目等(中高教諭)

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
教 職 論	2		教職(中学)のみ
教 育 原 論	2		
教 育 心 理 学	2		
特 別 支 援 教 育 概 論	1		
教 育 行 政 ・ 制 度 論	2		
教 育 課 程 論	2		
道 徳 教 育 論	2		
特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		
教 育 方 法 ・ 技 術 論	2		
生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2		
教 育 相 談	2		
教 育 実 地 研 究	2		
教 育 実 習 (中 ・ 高)	3		
学 校 体 験 活 動		1	
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	2		
計	28	1	

(2)教育の基礎的理解に関する科目等(栄養教諭)

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
教 職 論	2		
教 育 原 論	2		
教 育 心 理 学	2		
特 別 支 援 教 育 概 論	1		
教 育 行 政 ・ 制 度 論	2		
教 育 課 程 論	2		
道 徳 教 育 論	2		
特別活動と総合的な学習の時間の理論と実践	2		
教 育 方 法 ・ 技 術 論	2		
生 徒 指 導 論	2		
教 育 相 談	2		
栄養教育実習事前事後指導	1		
栄 養 教 育 実 習	1		
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	2		
計	25	0	

(3)学芸員に関する科目

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
生 涯 学 習 概 論	2		
博 物 館 概 論	2		
博 物 館 経 営 論	2		

博物館資料論	2		
博物館資料保存論	2		
博物館展示論	2		
博物館教育論	2		
博物館情報・メディア論	2		
博物館実習Ⅰ	2		
博物館実習Ⅱ	1		
民俗学Ⅰ		2	学芸員の資格取得希望者は、12単位以上修得しなければならない。
民俗学Ⅱ		2	
考古学概説Ⅰ		2	
考古学概説Ⅱ		2	
考古学実習Ⅰ		2	
考古学実習Ⅱ		2	
日本史概説Ⅰ		2	
日本史概説Ⅱ		2	
保存科学概説Ⅰ		2	
保存科学概説Ⅱ		2	
地域と文学 a		1	
地域と文学 b		1	
古典文学特殊講義		2	
近・現代文学特殊講義 A		2	
近・現代文学特殊講義 B		2	
古文書学演習Ⅰ		2	
古文書学演習Ⅱ		2	
西洋史文献講読Ⅰ		2	
西洋史文献講読Ⅱ		2	
美術文化交流史		2	
日本美術史		2	
東洋美術史		2	
西洋美術史		2	
工芸史		2	
工芸概論		2	
美術概論		2	
計	19	50	

文学部開設科目

芸術学部開設科目

(4) 司書に関する科目

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
生涯学習概論	2		
図書館概論	2		
図書館制度・経営論	2		
図書館情報技術論	2		
図書館サービス概論	2		
情報サービス論	2		
児童サービス論	2		
情報サービス演習	4		

図書館情報資源概論	2		} 2科目(2単位)以上選択
情報資源組織論	2		
情報資源組織演習	4		
図書館サービステ論		1	
図書館情報資源特論		1	
図書・図書館史		1	
図書館総合演習		2	
計	26	5	

別表第8

区分				金額		
入学検定料				30,000円		
入学金				200,000円		
-				初年度(前・後期毎)	2~4年次(前・後期毎)	
学納金	文学部	文学科	日本文学専攻 英米文学専攻 心理学専攻	授業料	365,000円	365,000円
				教育充実費	140,000円	145,000円
				合計	505,000円	510,000円
		歴史学専攻	授業料	365,000円	365,000円	
			教育充実費	140,000円	155,000円	
			合計	505,000円	520,000円	
	教育学部	教育学科	授業料	375,000円	375,000円	
			教育充実費	185,000円	185,000円	
			合計	560,000円	560,000円	
	経済学部	経済学科 経営学科	授業料	365,000円	365,000円	
			教育充実費	135,000円	165,000円	
			合計	500,000円	530,000円	
	経済情報学部	経済情報学科	授業料	365,000円	365,000円	
			教育充実費	165,000円	195,000円	
			合計	530,000円	560,000円	
	芸術学部	芸術学科	授業料	425,000円	425,000円	
			教育充実費	215,000円	215,000円	
			合計	640,000円	640,000円	
	スポーツ科学部	スポーツ科学科	授業料	385,000円	385,000円	
			教育充実費	170,000円	170,000円	
合計			555,000円	555,000円		
栄養学部	栄養学科	授業料	425,000円	425,000円		
		教育充実費	215,000円	215,000円		
		合計	640,000円	640,000円		
課程履修費	教職課程			3年次後期	30,000円	
				4年次前期	15,000円	
	学芸員課程			4年次前期	30,000円	
司書課程			2年次前期	15,000円		
			3年次前期	15,000円		

入学金について

①附属高校からの入学生

※特別進学制度の入学金は100,000円とする。

※一般推薦入試・エントリー入試・スポーツエントリー入試の入学金は150,000円とする。

②金沢学院大学及び金沢学院短期大学出身学生の入学金は免除する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

(ア) 学則変更（収容定員変更）の内容

金沢学院大学の入学定員を、令和5年度から下記の通り変更することとする。

平成28年4月に届出により設置した芸術学部芸術学科（入学定員70人、編入学定員2人）の入学定員を80人、編入学定員を7人とする。

それに伴い、大学全体の入学定員を令和4年度の800人より10人増加して810人、編入定員を令和4年度の40人より5人増加して45人、総定員を令和4年度の3,280人より3,330人とする。

なお、収容定員変更の時期は、令和5年4月1日とする。

<学則変更（収容定員変更）の内容>

		令和4年度			令和5年度		
学部	学科	収容定員			収容定員		
		入学定員	編入学定員	総定員	入学定員	編入学定員	総定員
文学部	文学科	180	8	736	180	8	736
	日本文学専攻	[60]			[60]		
	英米文学専攻	[30]			[30]		
	歴史学専攻	[50]			[50]		
	心理学専攻	[40]			[40]		
教育学部	教育学科	70	5	290	70	5	290
経済学部	経済学科	110	5	450	110	5	450
	経営学科	70	5	290	70	5	290
経済情報学部	経済情報学科	70	—	280	70	—	280
芸術学部	芸術学科	<u>70</u>	<u>2</u>	<u>284</u>	<u>80</u>	<u>7</u>	<u>334</u>
スポーツ科学部	スポーツ科学科	150	10	620	150	10	620
栄養学部	栄養学科	80	5	330	80	5	330
計		<u>800</u>	<u>40</u>	<u>3,280</u>	<u>810</u>	<u>45</u>	<u>3,330</u>

(イ) 学則変更（収容定員変更）の必要性

学校法人金沢学院大学は、昭和 21 年に設立された金沢女子専門学園（3 年制）を前身とし、昭和 25 年に学制改革による新制金沢女子短期大学を誕生させ、その後、昭和 27 年に高等学校を併設し、地域の要望に応えた女子 5 ヶ年一貫教育を築いた。短期大学は文科及び家政科の 2 科でスタートしており、今日まで設立当初の学問領域をほぼ継承している。

また、昭和 62 年に日本海側初の女子大学である金沢女子大学を開設し、北陸における女子高等教育の発展に貢献してきた。金沢女子大学は文学部のみの単科大学として発足し、平成 7 年 4 月の経営情報学部（現経済学部及び経済情報学部）開設を機に男女共学化を図っている。そして、平成 12 年 4 月には美術文化学部（現芸術学部）、平成 23 年 4 月にはスポーツ健康学部（現スポーツ科学部）、令和 3 年度には栄養学部を開設した。

令和 4 年度は、大学において文学部・教育学部・経済学部・経済情報学部・芸術学部・スポーツ科学部・栄養学部の 7 学部 8 学科、短期大学において食物栄養学科・現代教養学科・幼児教育学科の 3 学科、大学院において経営情報学研究科（修士課程／博士課程）・人文学研究科（修士課程）・スポーツ健康学研究科（修士課程）の 3 研究科を設置し、北陸地域における総合大学としての地歩を固めている。

しかし、大学進学率が 50%を超えてユニバーサル化が進んでいるとはいえ 18 歳人口の減少は極めて深刻で、特に地方の私立大学では入学定員を十分に満たすことができない学部学科が多数あるなど、昨今の大学経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にあると言わざるを得ない。

このような状況の下、本学では学科毎の教育が縦割りになっていたこと、学科選択による学びのミスマッチが存在するなどの影響があり、平成 26 年度までは同一学部内であっても、学科によっては入学定員の充足と未充足が生ずるなど厳しい状況が続いていた。そこで、学生がより幅広く、様々な分野での学びの機会を得られることができるよう、不断の改革を行ってきている。具体的には、文学部について平成 27 年 4 月に日本文学科・国際文化学科・歴史文化学科の 3 学科を統合し、新たに文学部を開設した。同様に、平成 28 年 4 月には、経営情報学部経営ビジネス学科と経営システム学科の 2 学科を統合して新たに経営情報学部を開設し、美術文化学部（美術学科・メディアデザイン学科）については、新たに芸術学部芸術学部を開設した。

また、平成 28 年 4 月には、それまでのスポーツ健康学部を人間健康学部に変更し、北陸地域における栄養と健康のスペシャリストを輩出するという社会ニーズに応えるべく、石川県、富山県では初の管理栄養士養成課程となる健康栄養学科を人間健康学部で認可設置により開設するなど、地域の要望に応えつつ入学定員の確保に向けた大学改革を実施しており、近年は大学全体での志願者及び入学者が増加している。さらに平成 30 年 4 月には、小学校における英語の教科化に伴い、小学生を対象とした英語教育の技術とグローバルな視野を身につけた教員の養成を主眼に置いた教育学科を認可設置により文学部に開設している。

令和2年4月には経営情報学部の学生募集を停止し、新たに経済学部及び経済情報学部を設置した。さらに令和3年4月には、スポーツ健康学科と健康栄養学科から構成される人間健康学部の学生募集を停止し、新たにスポーツ科学部及び栄養学部を設置した。

そして令和4年4月には、文学部教育学科の学生募集を停止し、新たに教育学部を設置する予定である。このように本学は、一段と厳しさを増す経営環境の中、学部教育充実のための統合と地域の要望に応える新学科の認可設置あるいは届出設置により、確実にそして継続的に大学改革を実施してきており、今後もその方針を維持する計画としている。

本学芸術学部芸術学科は、平成12年4月に設置した美術文化学部（美術工芸学科・情報デザイン学科・文化財学科）を前身とする。その後、平成22年4月に情報デザイン学科をメディアデザイン学科に名称変更し、同時に文化財学科の学生募集を停止し、新たに文学部に歴史文化学科を設置した。また、平成23年4月には美術工芸学科を美術文化学科に、平成25年4月にはこれを美術学科に名称変更した。

このような流れの中、美術文化学部では学部共通専門科目として2学科の学生が共に必要とする科目を設けていたが、学生ニーズおよび社会ニーズの変化によって、他学科の専門科目の履修を希望する学生が増加した。具体的には、メディアデザイン学科の学生が描写・造形の基盤的技術習得を目的とした美術学科専門科目を履修したいという希望や、社会的なデジタル人材への注目の高まりを受けて美術学科の学生からメディアデザイン学科専門科目を履修したいという希望が増加した。この状況を改善すべく、地域創生の一環として北陸地域の伝統文化を理解し、国内外へ発信できる人材育成の取り組みをより強化することを目的として、前述の通り平成28年4月に、美術学科とメディアデザイン学科を統合して芸術学部芸術学科1学科体制へと改組した。

この改組では、1年次に絵画・造形・デザイン・映像・メディアという表現領域の基礎を横断的に学ぶことにより芸術学の体系を把握した上で、2年次以降の専攻選択に備えるとともに、各専門分野を段階的に深化させる柔軟な教育課程へと移行した。これにより、複数の表現領域を横断的に学べる状態としつつ、自らの専門分野を十分に理解したうえで学びを進めることが可能となった。

このように、本学芸術学部は前身の美術文化学部の設置時より、地域のニーズに沿う形で変革を続け、学部学科の教育内容を地域および受験生にアピールする努力を続けてきた。平成28年4月に設置した現在の芸術学部芸術学科においては、その定員充足率は、平成30年には1.05、令和元年には1.12、令和2年及び令和3年には1.21と増加傾向を示している。

これは、本学芸術学部芸術学科の教育方針である下記2点、

- 芸術全般の基礎表現を学んだ上で、絵画・造形・デザイン・映像・メディアの5つの分野の知識と技術を柔軟に習得することで、実践的な職業教育を展開する
- 基礎力と応用力を兼ね備え、緻密に、自由に「描く」「造る」「表現する」といった「芸術マインド」により、実社会の様々な分野で活躍できる力を身に付ける

これらが着実に人材を育成し、その結果として、過去8年間の就職率が100%であるという事実に関わりについていることが、広く地域および受験者層に認知された結果だと考えている。

このような定員充足率の増加、8年連続の就職率100%という成果は、本学芸術学部芸術学科への入学・編入学希望が増加していることに繋がっている。定員充足率が100%に満たないときには、定員補充と言う形で3年生を受け入れることも可能であった。しかし、4年連続で定員充足率が100%を超えている現在、3年生の編入学希望を受け入れるためには編入学定員の設定が必要不可欠となる。

そのため、令和3年4月に文学部文学科の編入学定員10人を2人減じ8人とし、その2人を芸術学部芸術学科の編入学定員とする届出を行った。しかし、上記の入学志願者増の傾向は、編入学希望の増加につながり、現在の編入学定員2人の設定では希望者に充分に対応できない事態が想定される。

本来、地方に設置された本学は、地域の高等学校との関係を良好に維持し、連携を密にして、共に未来の社会を担う人材を育成することを目標としている。本学芸術学部は、私立大学として北陸・甲信越で唯一の芸術学部であることから、地域の芸術を志す高校生らにとって重要な受験先となっている。これは、近年の志願者数の増加にも表れていることより明らかであるが、入学を希望する高校生の期待に必ずしも沿えていないことも事実である。この現状は、志願者の意欲・関心に合った高等教育への受験を後押しする高等学校と本学、そして地域にとって大きな機会損失となっている。

当初、芸術学部芸術学科は70人として届出設置を行った。しかし、学生確保の見通しで述べるように、芸術学部芸術学科の過去の入学志願状況及び高校生対象のアンケート調査結果及び本学に併設されている金沢学院短期大学現代教養学科1年生対象に実施したアンケート調査結果に基づき、今般、芸術学部芸術学科の入学定員を80人とする入学定員増及び、編入学定員を7人とする編入学定員増を行うこととしたい。

前述のように本学は不断の大学改革に取り組み、それに注力し続けてきた。今般の入学定員増は、地域の課題を発見してその解決の担い手となる芸術学のより深い知識を持った人材をより多く育成することが、地域活性化を後押しするための改革であると考えている。本学が地域社会から求められる大学を目指すことにより、これら改革の担い手となる学ぶ意欲を持つ優秀な学生をこれまで以上に多く安定的に受け入れ、排出することが本学の経営基盤の一層の充実を図る方策であると考えている。以上を踏まえ、大学全体の入学定員を令和5年度の800人に芸術学部10人を増員して810人、同学科の編入学定員を5人増員して7人とする学則変更を行いたい。

(ウ) 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の内容変更

今般の収容定員変更にあたって、教育課程等の変更を伴うことはない。なお、上述のように各専攻分野においては、その専門性を担保しつつ、各専攻分野の学びを一部共有する教育課程を相互に設置することで 1・2 年次においては進路変更も容易に可能とする。

令和 2 年度に『ソフトウェア基礎論 a・b』を加え、Society5.0 の仮想空間と現実空間との連携した将来的社会発展の基盤となるソフトウェアについての学びを加え、令和 3 年度からは『文化芸術活用特論』を開講し、予測困難な時代において地域社会のアイデンティティを持続させていくための文化継承についての学びを新たに提供している。

これらの変更により芸術学科の教育課程は、収容定員増による学生数の増加に対応した多様で充実としたものになる準備が整っていることは間違いないと考える。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更

芸術学部芸術学科での教育方法及び履修指導方法については、入学後の 1 年で芸術学表現の基礎を学んだうえで、専門性を持つ科目群の履修も可能とする。

また、教員志望の学生に対して、入学時より教員採用試験に至るまでの履修指導を、本学教職センターと密に連携をとってあたることとする。

(ウ) 教員組織の変更内容

今般の収容定員の増員の結果、芸術学部芸術学科の収容定員は編入生も含め、それぞれ 284 人より 334 人に変更となる。この収容定員増を行っても、令和 4 年の芸術学部芸術学科専任教員数 15 人（うち教授 7 人）は、設置基準上の必要専任教員数 10 人（うち教授 5 人）を満たしている。しかしながら、収容定員増による学生の学びの低下を招くことのないよう、現在、専任教員 1 名の教員採用の準備を進めており、その結果、芸術学科においては、洋画、日本画、漆芸、コミュニケーションデザイン、メディアアートを専門とする教授 8 名、陶芸、現代美術、ビジュアルデザイン、ウェブデザインを専門とする准教授 5 名、洋画、漆芸、イラストレーションを専門とする講師 3 名となる教員組織を構想している。また、新たな教員採用は令和 5 年度以降も継続して実施する計画である。これにより、教員組織の面からも、収容定員増となる芸術学部の教育の質は大きく向上するものと考ええる。

また、本学には初年次教育及び教養教育に力を入れることを目的とした「基礎教育機構」が設置されており、初年次には学科教員に加え基礎教育機構の所属教員が一体となって教育指導に当たり、手厚い教育を行う体制を整えている。その、教育の質を向上させる仕組みを継続的に推し進めることにより、教育内容等の質保証はより高いものへと移行するものと考ええる。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

今回の収容定員変更を行っても、現有の大学内の施設は大学設置基準を大きく上回っており、教育上の支障は生じないと考える。特に、課題解決型学習あるいは問題解決型学習と呼ばれる PBL 科目の導入により、ラーニングコモンズとしての機能を備えるよう図書館を整備しており、十分な教育効果を上げることができていると考えている。さらに、本学が全学的に導入している、学生本人が所有する情報機器を学内のいたるところで使用できる BYOD (Bring Your Own Device) 環境により、休み時間や講義の空き時間に常に講義の予習復習を行うことができることから、学生が様々な時間や場所で、様々な学習に取り組める体制を整えている。

また、本学が以前より導入していたオープンソースの e ラーニングプラットフォームである Moodle は、コロナ禍の遠隔授業において急速にその需要が高まり、現在、本学の遠隔授業の中心的な役割を担っている。今後、遠隔授業と対面授業を効果的に組み合わせるうえで、Moodle の重要度は増すばかりであると考え、本学情報システム部及び Moodle 担当教員を中心として、そのシステムのハード面及びソフト面の整備・保守をいっそう進めるものとする。また同時に、これも以前から導入していた、学生の履修計画・履修登録・成績照会など学生生活全般に渡るサポートポータルシステムである Campusmate を最大限に活用し、きめの細やかな学修環境を提供することによりコロナ禍にあっても教育の質を向上することができるよう、システムの管理運営を徹底することとする。

また、現在、学内の通信環境の改善を目指して、ネットワークの幹線ルート的高速化工事を全館で行っていることに加え、各講義室の無線アクセスポイントの更新、情報コンセントの設置工事を進めている。

以上述べてきたように、今般の収容定員変更にあたって、学内の教育指導体制、施設も含めた受け入れ体制は十分に整っているものと考えている。また、これまでと同様のきめの細かい教育指導を実施するだけにとどまらず、常に教育の質向上を意識した取り組みを実施する計画としており、本件収容定員変更は、地域の要望に応えるだけでなく、大学経営の基盤を安定化させるうえでも必要であると考えている。

教育課程等の概要																		
(芸術学部芸術学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養科目	学修基礎Ⅰ	1Q1	1					○			1							
	学修基礎Ⅱ	1Q2	1					○			1							
	キャリアデザインⅠ	1後	2					○					1				兼1	
	キャリアデザインⅡ	2前	2					○					1				兼1	
	キャリアデザインⅢ	2後	2					○			1						兼1	
	スポーツ科学	1前		2				○									兼1	
	コンピュータ基礎演習Ⅰ	1前	2					○									兼1	
	コンピュータ基礎演習Ⅱ	1後	2					○									兼1	
	キャリアプランニングⅠ	3前	1						○		1	1						
	キャリアプランニングⅡ	3後		1					○		1	1						
	就業体験(インターンシップ等)	1~4通		1					○		1							
	キャリアデザイン基礎	1前		1					○			2						
	金沢まち学a	1Q1		1					○									兼1
	金沢まち学b	1Q2		1					○									兼1
	金沢まち学特講a	1Q3		1					○		1							
	金沢まち学特講b	1Q4		1					○		1							
	地域課題研究	2後		2					○			2						
	経済学の基礎	1前		2					○									兼1
	法学(日本国憲法)	1後		2					○									兼1
	心理学の基礎	1前		2					○									兼1
	知的所有権論a	3Q1		1					○									兼1
	知的所有権論b	3Q2		1					○									兼1
	社会学Ⅰ	1前		2					○									兼1
	社会学Ⅱ	1後		2					○									兼1
	哲学Ⅰ	1前		2					○									兼1
	哲学Ⅱ	1後		2					○									兼1
小計(26科目)			15	25				—		3	2	2					兼9	
語学	英語Ⅰ	1前	2					○									兼3	
	英語Ⅱ	1後	2					○									兼3	
	英語資格対策講座Ⅰ	2前	2					○									兼1	
	英語資格対策講座Ⅱ	2後	2					○									兼1	
	English PresentationⅠ	2前	2					○									兼1	
	English PresentationⅡ	2後	2					○									兼1	
	フランス語Ⅰ	2前	2					○									兼1	
	フランス語Ⅱ	2後	2					○									兼1	
	ドイツ語Ⅰ	2前	2					○									兼1	
	ドイツ語Ⅱ	2後	2					○									兼1	
	中国語Ⅰ	2前	2					○									兼1	
	中国語Ⅱ	2後	2					○									兼1	
	小計(12科目)			4	20				—									兼7
教養科目計(38科目)			19	45				—		3	2	2					兼16	
専門科目	専門共通科目	芸術表現基礎a	1Q1	3					○		1	3						
		芸術表現基礎b	1Q2	3					○		1	1	1					兼1
		絵画工芸基礎a	1後	2					○		1							兼1
		絵画工芸基礎b	1後	2					○		1	2						
		デッサン	2前	2					○									兼1
		人体と美術	2後	2					○									兼1
		美術概論	1前	2					○				1					
		工芸史	1前	2					○				1					
		工芸概論	1後	2					○				1					
		日本美術史	1前	2					○			1						
		東洋美術史	1後	2					○			1						
		西洋美術史	2前	2					○									兼1
		日本美術特論a	1Q3	1					○			1						
		日本美術特論b	1Q4	1					○			1						
		東洋美術特論a	2Q1	1					○			1						
		東洋美術特論b	2Q2	1					○			1						
		西洋美術特論a	2Q3	1					○									兼1
		西洋美術特論b	2Q4	1					○									兼1
		美術文化交流史	2前	2					○									兼1
		近現代美術史a	3Q1	1					○			1						兼1
		近現代美術史b	3Q2	1					○			1						兼1
		文化芸術活用特論	2後	2					○				1					
		美術材料学a	3Q3	1					○			1	1					
		美術材料学b	3Q4	1					○			1	1					
図学	1後	2					○										兼1	
基礎造形論Ⅰ	1前	2					○					1						
基礎造形論Ⅱ	1後	2					○					1						
デザイン概論Ⅰ	1前	2					○			1								
デザイン概論Ⅱ	1後	2					○			1								
メディアデザイン論a	1Q1	1					○				1							
メディアデザイン論b	1Q2	1					○				1							
ジャーナリズム・ドキュメンタリー論a	2Q3	1					○			1								
ジャーナリズム・ドキュメンタリー論b	2Q4	1					○			1								
デザイン基礎	1後	2					○				1							

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(芸術学部芸術学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態				専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 共 通 科 目	映像基礎a	1Q3		1				○			1				兼1		
	映像基礎b	1Q4		1				○									
	C G実習a	1後		1				○			1						
	C G実習b	1後		1				○		1							
	メディア基礎	1後		2				○			1						
	ソフトウェア基礎論a	1Q3		1				○			1						
	ソフトウェア基礎論b	1Q4		1				○			1						
	マルチメディア論a	2前		1			○					1					
	マルチメディア論b	2前		1			○					1					
	工学デザインa	2Q3		1			○				1						
	工学デザインb	2Q4		1			○				1						
	ウェブデザイン I a	1Q3		1			○					1					
	ウェブデザイン I b	1Q4		1			○					1					
	ウェブデザイン II a	2Q1		1			○					1					
	ウェブデザイン II b	2Q2		1			○					1					
	ウェブデザイン演習a	2Q3		1				○				1					
	ウェブデザイン演習b	2Q4		1				○				1					
	色彩学a	2Q1		1				○				1					
	色彩学b	2Q2		1				○				1					
	プレゼンテーション基礎a	2Q1	1					○					1				
プレゼンテーション基礎b	2Q2	1					○						1				
プレゼンテーション活用a	3Q3	1					○					1					
プレゼンテーション活用b	3Q4	1					○					1					
卒業制作・研究 I	3通	4					○			4	4	3					
卒業制作・研究 II	4通	4					○			4	4	3					
小計 (59科目)		—	18	70						6	4	3			兼6		
専 門 科 目	絵 画 分 野	絵画実習	2後		2				○							兼1	
		絵画 I	2前		4				○		2	1					
		絵画 II	2後		4				○		2	1					
		絵画 III	3前		4				○		2	1					
		絵画 IV	3後		4				○		2	1					
		絵画表現法 I a	2Q1		1				○		1	1					
		絵画表現法 I b	2Q2		1				○		1	1					
		絵画表現法 II a	2Q3		1				○		1	1					
		絵画表現法 II b	2Q4		1				○		1	1					
		絵画表現法 III a	3Q1		1				○						兼1		
	絵画表現法 III b	3Q2		1				○						兼1			
	絵画表現法 IV a	3Q3		1				○						兼1			
	絵画表現法 IV b	3Q4		1				○						兼1			
	造 形 分 野	工芸実習	1後		2				○			1	1				
		工芸 I	2前		4				○		1	1	1				
		工芸 II	2後		4				○		1	1	1				
		工芸 III	3前		4				○		1	1	1				
		工芸 IV	3後		4				○		1	1	1				
		美術科教育法 I	2通		4				○			1					
		美術科教育法 II	3通		4				○		1						
工芸科教育法		3通		4				○				1					
工芸表現法 I a		2Q1		1				○		2							
工芸表現法 I b		2Q2		1				○		2							
工芸表現法 II a	2Q3		1				○		2	1	1						
工芸表現法 II b	2Q4		1				○		2	1	1						
工芸表現法 III a	3Q1		1				○		2								
工芸表現法 III b	3Q2		1				○		2								
工芸表現法 IV a	3Q3		1				○		2	1	1						
工芸表現法 IV b	3Q4		1				○		2	1	1						
専 門 選 択 科 目	彫刻基礎	2前		2				○							兼1 兼1 兼1		
	彫刻表現	2後		2				○									
	版画基礎	2前		2				○									
	版画表現	3前		2				○									
	複合表現演習 I a	3Q1		1				○		1							
	複合表現演習 I b	3Q2		1				○									
	複合表現演習 II a	3Q3		1				○						兼1			
	複合表現演習 II b	3Q4		1				○						兼1			
	デ ザ イ ン 分 野	視覚伝達論a	2Q3		1			○				1					兼1 兼1
		視覚伝達論b	2Q4		1			○				1					
マルチメディア演習a		2Q1		2				○									
マルチメディア演習b		2Q2		2				○									
ビジュアルデザインa		2Q3		1				○		1							
ビジュアルデザインb		2Q4		1				○		1							
デザイン演習 I a		2Q1		2				○			1						
デザイン演習 I b		2Q2		2				○			1						
デザイン演習 II a		2Q3		2				○		1							
デザイン演習 II b		2Q4		2				○		1							
広告メディア論	2後		2				○							兼1			
デザイン演習 III a	3Q1		2				○			1							
デザイン演習 III b	3Q2		2				○			1							
デザインマネジメント I	3前		2				○							兼1			
DTPデザインa	3Q3		1				○										
DTPデザインb	3Q4		1				○										
生活デザインa	3Q3		1				○										
生活デザインb	3Q4		1				○										
デザインマネジメント II	3後		2				○							兼1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(芸術学部芸術学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手				
専門科目	メディア分野	CG活用演習a	2Q1		2			○			1						兼1	
		CG活用演習b	2Q2		2			○			1						兼1	
		サウンドメディア	2前		2			○										
		ゲームデザインa	2Q3		2			○				1						
		ゲームデザインb	2Q4		2			○			1							
		ウェブ活用演習Ⅰa	2Q1		2			○										兼1
		ウェブ活用演習Ⅰb	2Q2		2			○										兼1
		ウェブ活用演習Ⅱa	2Q3		1			○			1							
		ウェブ活用演習Ⅱb	2Q4		1			○										兼1
		ウェブ応用演習Ⅰa	2Q1		1			○				1						
		ウェブ応用演習Ⅰb	2Q2		1			○				1						
		ウェブ応用演習Ⅱa	2Q1		1			○				1						
		ウェブ応用演習Ⅱb	2Q2		1			○				1						
		CG応用演習a	3Q1		2				○			1	1					
		CG応用演習b	3Q2		2				○			1	1					
		メディアコンテンツ制作論a	3Q1		2				○			1						
		メディアコンテンツ制作論b	3Q2		2				○			1						
	映像分野	映像制作Ⅰ	2通		4			○										兼1
		映像表現	2前		4			○										兼1
		映像論	2前		2			○				2						
		シナリオ論	2前		2			○										兼1
		アニメーション演習Ⅰ(実写・クレイ) a	2Q3		1			○				1						
		アニメーション演習Ⅰ(実写・クレイ) b	2Q4		1			○				1						
		映像制作Ⅱ	3通		4			○										兼1
		アニメーション演習Ⅱ(2DCG) a	3Q1		1			○				1						
		アニメーション演習Ⅱ(2DCG) b	3Q2		1			○				1						
		ポストプロダクションa	3Q1		1			○				1						
		ポストプロダクションb	3Q2		1			○				1						
CM制作a	3Q3		1			○				1								
CM制作b	3Q4		1			○				1								
アニメーション演習Ⅲ(3DCG) a	3Q3		1			○				1								
アニメーション演習Ⅲ(3DCG) b	3Q4		1			○				1								
小計(88科目)			0	160						6	4	2					兼12	
専門科目計(147科目)			18	230						7	4	3					兼14	
合計(185科目)			37	275						7	4	3					兼28	
学位又は称号		学士(芸術)	学位又は学科の分野		美術関係													
卒業要件及び履修方法					授業期間等													
教養科目では、一般教養科目の必修科目から15単位、選択科目から5単位以上の計20単位以上、 語学の必修科目から4単位、選択科目から4単位以上の計8単位以上、専門科目では、必修科目から1 4単位、専門科目の選択科目から86単位以上の計100単位以上、合計128単位以上修得しなけれ ばならない。 なお、年間の履修科目の登録の上限は48単位以内とする。					1学年の学期区分		2学期											
					1学期の授業期間		15週											
					1時限の授業時間		90分											

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

平成 28 年 4 月に現行の 1 学部 1 学科体制へと改組を行った芸術学部芸術学科では、「芸術性」、「デザイン性」、「テクノロジー」等を統合的に学ぶことにより、一人ひとりの学生の学習意欲を引き出すことが可能となるよう、柔軟な教育課程を構築している。芸術学科には学生の学びの軸となる絵画・造形・デザイン・映像・メディアの 5 分野を置き、それら専門的分野の能力の修得とともに卒業後の進路を見据えて、複数の分野を幅広く学ぶ機会を設けている。そして、卒業後の幅広い進路選択の実現を図るものとして、デザイナー、クリエイター、その他多様な職種の中で地域を支える人材育成、および、教員・学芸員のような専門職を目指す学生の学びを保証している。

具体的には芸術学の土台となる学問として、まず入学後の 1 年で絵画・造形・デザイン・映像・メディアの 5 分野の基礎を学ぶ。そして 2 年次以降は、各人が将来の目標や興味・関心に従って選んだ各専門分野を深く履修する仕組みを導入している。このカリキュラムにより、芸術と表現についての幅広い視野と、基礎的な知識・技術を身に付け、柔軟な学びと表現スタイルの実現が可能となっている。これにより、高校在学時までに美術に関する専門的な知識や経験が十分に身に付いていない場合でも、学生自身が意欲的に学ぶことにより、確かな実力を養成できる環境が、本学には整備されている。

このような、一人ひとりの学生が自らの興味・関心に適合した各専門的学問領域へ目的意識を高めつつ学びを深めることができるという教育体制が、本学が推進している高大連携の取り組みとも連動し、高校生やその保護者そして学校関係者らに広く伝わったと考えている。そして、これら改革の企図が高校生を中心とする志願者層のニーズに適合していたことにより、下記に述べるように志願者が堅調に増加することとなった。

(表 1 芸術学部芸術学科 入学志願状況の推移)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
志願者	142 人	178 人	237 人	282 人
入学者	74 人	79 人	85 人	85 人
入学定員	70 人	70 人	70 人	70 人
定員充足率	105.7%	112.9%	121.4%	121.4%

表1のように、平成30年度には志願者が142人、入学者が74人であったのが、令和元年度は志願者が178人（前年比36人増）、入学者が79人（前年比5人増）、令和2年度には志願者が237人（前年比59人増）、入学者が85人（前年比6人増）、令和3年度には志願者が282人（前年比45人増）、入学者が85人（前年と同じ）となり、増加傾向が高い水準で推移している（詳細は資料1を参照）。

上に述べたように、このような近年の志願者・入学者の増加について、芸術学部芸術学科の改革が広く認知され、人材育成の取り組みが志願者層のニーズと合致していることが挙げられる。加えて、毎年積極的な高校訪問を実施して学生募集を行っており、結果として入学定員を大きく上回る入学者を受け入れることとなった。しかし同時に、過度に高い定員充足率とならないように入学者選抜を行なうことから、地元高校から推薦のあった優秀な受験生の全ての希望に沿うことはできず、受験生や保護者、あるいは推薦入学に出願のあった高校からの期待に応えられない状況を招いている。本学のような地方私立大学にあっては、石川県内、富山県内の地元高校との良好な関係を維持し入学定員の確保を図っていくことが、地域の高等教育機関として今後生き残るための方策であると確信している。このような現状を改善すべく、今般、芸術学部芸術学科の入学定員増を申請する。

（表2 芸術学部芸術学科 志願から入学までの推移）

	令和3年度	令和4年度 ※見込み	令和5年度	
			※推測値1	※推測値2
受験者	279人	279人	279人	279人
合格率	68.5%	68.5%	64.5%	56.7%
合格者	191人	191人	179人	158人
歩留り率	44.5%	44.5%	44.5%	44.5%
入学者	85人	85人	80人	70人

今般の入学定員増の根拠は、以下のように考える。令和4年度3月1日において、芸術学部芸術学科の入試状況は昨年度と似た傾向であることより、これは令和4年度も維持できると考える。令和3年度の志願者が282人、受験者が279人（資料1参照）であることを参考にし、これは令和4年度及び令和5年度も維持されるとする。この場合、令和5年度の合格率を64.5%に抑えたとしても179人が合格すると推定される。そして、令和3年度の歩留り率が44.5%（資料1参照）であったことより、これが令和4年度及び令和5年度も維持されるとすると、令和5年度には80人の入学者を受け入れることが可能であると考えられる。この推定値は、現在、増加傾向にある志願者及び受験者の数を一定とする仮定をおいているが、それでも今般入学定員増を申請する80人を満たすことが示されている。ここで、現在の入学定員70人の設定のままで同様の推定を行う

と、令和 5 年度の合格率を 56.7%に設定する必要がある。この措置は、合格率を令和 3 年度の 68.5%より 10%以上減少させることとなり、地元高校からの要請に応えることが困難となることから、今後の学生募集活動に少なからず影響があると推測する。

さらに、中長期的な入学生確保の見通しを示すものとして、平成 30 年より令和 3 年の過去 4 年の芸術学部の入学生の中で、エントリー選抜、学校推薦型選抜（附属高校）、学校推薦型選抜（附属高校以外）を利用した、確実に確保できる入学者数の推移を示す。表 3 は、これら 3 つの入試区分による入学生の合計が平成 30 年より令和 3 年の過去 4 年の間、芸術学部において平均 40.5 人で推移していることを表している。これは、学校推薦型選抜（附属高校）による入学生は本学と附属高校との関係性より、また、エントリー選抜及び学校推薦型選抜（附属高校以外）による入学生は本学と地元高校との関係性より、安定した数が見込めることを示している。令和 2 年及び令和 3 年の受験者数が仮に一時的な増加であったとしても、エントリー選抜、附属高校からの学校推薦型選抜、そして附属高校以外からの指定校推薦を含む学校推薦型選抜による入学生数は大きな影響を受けず入学定員の過半数を安定して確保できるものであり、残り半数を一般選抜等で確保することから考えれば、80 人という定員設定は中長期的に見て妥当性のあるものとする。

（表 3 エントリー選抜、学校推薦型選抜による芸術学部への入学者数の推移）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
入学定員（人）	70	70	70	70
志願者（人）	142	178	237	282
入学者（人）	74	79	85	85
確保できる入学者（人）	43	39	37	43
エントリー選抜	16	17	13	14
学校推薦型選抜（附属高校）	3	2	4	3
学校推薦型選抜（附属高以外）	24	20	20	26

なお、資料 1 に示した志願者や受験者の数値は第一志望の人数を記載しており、志願や受験をしているものを重複して数えていることはない。また、本学の選抜区分はエントリー選抜（面接と小論文）、学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜に分けられる。附属高校の推薦枠は学校推薦型選抜に含まれており、その数値は資料 1 の学校推薦型選抜の欄にカッコ書きで示されている。外国人留学生に対する選抜区分はなく、社会人選抜枠は若干名として募集枠を設けておらず、ほとんど実施実績はない。各選抜区分の数値は資料 1 に示されているとおりである。

芸術学部を受験者が増加傾向にあることは、表 4 にあるとおり平成 30 年度に受験者が 141 人であったものが令和 3 年度の 279 人へと 1.98 倍になっていることに端的に表れている。この増加傾

向が主にどの選抜区分の受験者により作られているかが、表 4 から読み取れる。同様の数値が、エントリー選抜区分では 0.94 倍、学校推薦型選抜では 1.31 倍（附属高校に限定すると 1.00 倍）、一般選抜では 2.90 倍、そして大学入学共通テスト利用選抜では 1.96 倍となっている。これらの数値より、芸術学部の受験者増は主に一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜による受験者増によるものであることが分かる。これは受験者数が単純に増えているだけではなく、その受験者の学力も同時に上昇傾向にあることを示しており、この傾向が今後も継続する証左であると考えられる。なお、上記の入学試験の種類の名前は、令和 3 年の名称を用いている。

（表 4 芸術学部 選抜区分別 平成 30 年度から令和 3 年度への受験者数の変化）

選抜区分	エントリー 選抜	学校推薦型 選抜 (附属高校)	一般 選抜	大学入学 共通テス ト利用 選抜	合計
平成 30 年度	17 人	29 (3) 人	41 人	54 人	141 人
令和 3 年度	16 人	38 (3) 人	119 人	106 人	279 人
伸び率(倍)	0.94	1.31 (1.00)	2.90	1.96	1.98

表 2 で行った令和 5 年の入学者数推定において、上記で仮定した値どおり、あるいは値が上にならなかった場合は、アドミッション・ポリシーに沿った適正な合格審査により入学者を適正に管理するものとする。そして、令和 5 年度以降もこれまで同様に、積極的な学生募集を行う計画であること、また学問領域を芸術学関係とする学部に対する地域社会及び全国的な要請（「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」平成 30 年 11 月 26 日）もあり、その後も安定した志願者、及び入学者を十分に確保できるものと判断している。そのため、前述の「学則変更の趣旨等を記載した書類」にあるように、社会の要請を受け新たに芸術学部芸術学科の入学生定員を 10 人増加し 80 人とするには妥当性があると考えられる。

また、以前より芸術学科への編入学希望は毎年出ており、在学生在が入学定員を下回っていたときには定員補充という形で 3 年生を受け入れることも可能であった。しかし、定員充足率が 100% を超えている現在、3 年生への編入学希望を受け入れるためには編入学定員の設定が不可欠であり、昨年 9 月に文学部文学科の編入学定員 10 人を 2 人減じて 8 人とし、その 2 人を芸術学科の編入学定員とする変更を届出により行った。しかし、前述の入学志願者増の傾向は編入学希望の増加につながり、現在の編入学定員 2 人の設定では意欲のある全ての希望者に十分に対応できない事態が想定される。

芸術学部芸術学科は平成 30 年 4 月に改組をして、来年度 5 年目を迎える。これからも適切な定員管理に努めるとともに、大学経営の基盤安定を図り、アドミッション・ポリシーに合う学ぶ意

欲のある優秀な学生を積極的かつ安定的に受け入れるためにも、届出により入学定員を10名、編入学定員を5名増やしたいと考える。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

ここでは、まずA)高校2年生を対象とした進学希望調査アンケート、B)高校1年生を対象とした進学希望調査アンケート、C)金沢学院短期大学現代教養学科1年生を対象とした進学希望調査アンケートについて述べ、次にD)定員充足の見込みを、北信越及び全国のデータを用いることにより、学科別に多角的に分析する。

A) まず、高校2年生を対象とした、芸術学部芸術学科への進学希望調査アンケートについて述べる。この調査は、金沢学院大学の立地する石川県に加え、通学可能範囲の富山県、福井県、新潟県等の高等学校に対して金沢学院大学より依頼する形で実施し、そのうち石川県から27校、新潟県から19校、富山県から9校、福井県から8校、長野県から3校の合計66校5,685人より回答が得られた。アンケートでは、大学進学希望者に対して、進学希望分野を「芸術学関係」から選んだ者に対して、それぞれ本学の対応する学科への進学を希望するかを調査している。その結果、「芸術学関係」を進学先とした者の中で本学芸術学部芸術学科を受験し、合格した場合に進学を希望すると回答したものはクロス集計の結果107人であった(表5)。このアンケート結果は、本学芸術学部が北陸三県内で浸透していることの証左であり、今般の芸術学部の入学定員増を行っても、なお定員を満たす入学者を迎えることが十分に可能であると推定する根拠となる。

さらに、令和5年度の入学者数を表5のように推定する。

令和元年度より令和3年度までの直近の3年間で、芸術学部における北信越5県からの入学者割合が平均で93.3%であったことより(資料3)、これらの県以外の入学者希望者も併せると令和5年度の芸術学部芸術学科への入学希望者数は114人と推定できる。このように、前項「ア 定員充足の見込み」で推定した本学の過去の実績を用いての令和5年の入学者数は、高校2年生を対象とした進学希望アンケート調査により裏付けられる。

(表5 アンケート調査による芸術学部芸術学科への入学希望者数の推定)

	2年生	1年生
進学を希望する(人)	107	97
北陸3県からの入学者割合	93.3%	
入学希望者数(人)	114	103

B) 次に、高校1年生を対象とした、芸術学部芸術学科への進学希望調査アンケートについて述べる。A)と同様の調査の結果、「芸術学関係」を進学先とした者の中で本学芸術学部芸術学科を受験し、合格した場合に進学を希望すると回答したものはクロス集計の結果97人であった（表5）。

さらに、上述のA)と同様に、令和5年度の入学者数を表5のように推定する。

令和元年度より令和3年度までの直近の3年間で、芸術学部における北信越5県からの入学者割合が平均で93.3%であったことより（資料3）、これらの県以外の入学者希望者も併せると令和6年度の芸術学部芸術学科への入学希望者数は103人と推定できる。これより、進学希望調査により得られた高校1年生からの回答も前述のA)高校2年生に対する回答と同様に、本学への数多くの進学希望があることから、学生確保の見通しには継続性があると考えられる。

C) さらに、金沢学院短期大学現代教養学科1年生を対象とした、芸術学部芸術学科への進学希望調査アンケートについて述べる。金沢学院短期大学は、現代教養学科、食物栄養学科、及び幼児教育学科の3学科で構成されている。この中で、芸術学部芸術学科への進学希望がでてくる可能性が大きな現代教養学科の1年生に対して、高校生を対象とした進学調査アンケートと同様のアンケート調査を行った。現代教養学科の1年生51人に対してアンケートを実施した結果、39人より回答があり、その結果、「芸術学関係」を進学先とした者の中で本学芸術学部芸術学科を受験し、合格した場合に進学を希望すると回答したものはクロス集計の結果2人であった。近年、芸術学部芸術学科への編入学生（あるいは定員補充による3年生）において短期大学卒業生の占める割合は約3割であることより、短期大学卒業生以外の入学希望者も合わせると令和5年度の芸術学部芸術学科への編入学希望者数は、7人と推定できる。このように、今般認可申請を行う編入学生7人という設定は、金沢学院大学現代教養学科1年生を対象とした進学希望アンケート調査により裏付けされる。なお本アンケート結果については母数が小さく、個人が特定される可能性を排除するため、資料として詳細は示さない。

D) 先に本学内の実績及びアンケート調査結果を用いて示した定員充足の見込みを、北信越及び全国のデータを用いることにより、多角的に分析する。

前述のように、芸術学部芸術学科においては、一連の改革が志願者層に広く受け入れられており、志願者について増加傾向にある。さらに平成30年度の学部改組により、その増加傾向がより顕著になり、令和2年度には志願者数が急激に伸び、その数値は高い水準で継続している。結果として、令和3年度の志願者数は令和元年度の約1.5倍に上昇している。

(表 6 芸術学部芸術学科 北信越における芸術学部への志願者数／入学者数の推移)

県名		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
石川県	志願者 (人)	79	90	142	163	474
	入学者 (人)	45	49	54	51	199
富山県	志願者 (人)	37	47	56	78	218
	入学者 (人)	16	9	17	21	63
新潟県	志願者 (人)	10	13	14	24	61
	入学者 (人)	4	4	6	8	22

この傾向を芸術学部芸術学科への志願者および入学者について、出身高等学校が所在する都道府県別に比較すると、表 6 のように石川県、富山県、新潟県の北信越地区で特に顕著であることが分かる（詳細は資料 3 を参照）。平成 30 年度から令和 3 年度の志願者数・入学者数を合計すると、石川県からは志願者 474 人／入学者 199 人、富山県からは志願者 218 人／入学者 63 人、新潟県からは志願者 61 人／入学者 22 人となっている。これらは、本学の積極的な学生募集活動の結果であり、芸術学部芸術学科が地域に根付き地域から期待される教育機関としての評価が定着した結果だと認識している。その中でも北信越 3 県からの志願者は一定数を保って推移しており、この地元志向は新型コロナウイルスによる「新しい生活様式」の浸透により定着すると予想される。以上のことから、前述のように地域の要請に応えるために入学定員を 10 人、編入学定員を 5 人増加しても、今後の定員充足は十分に見込めると考える。

これらの本学内部の数値を用いた分析結果に対して学外的に客観的根拠となるのは、北信越における芸術系学部・学科の入学志願状況（資料 4）である。芸術学部と競合すると考えられる北陸の私立大学における入学状況は、以下のようにまとめられる（詳細は資料 4 を参照）。芸術系の分野という枠を最大限に大きく捉えても、本学と競合校となる私立大学は北陸に 2 校しかなく、いずれも高い志願状況を継続している。従って、本学芸術学部芸術学科へも同様に多くの志願者が集まると期待できる。この事実が、平成 30 年の芸術学部改組からの志願者・入学者は増加傾向と組み合わせることにより、今般の芸術学部芸術学科の 70 人より 80 人への入学定員増を行っても、十分に定員充足率 100%を達成すると見込めると考えている。

ここまで述べてきた本学芸術学部芸術学科の志願者および入学者の増加傾向は、全国的な傾向としても裏付けされる。その客観的根拠となるのは、学校基本調査における「関係学科別大学入学状況」である。資料 5 は、その中の「修業年限 4 年の大学」に関するデータを抜粋したものであるが、私立大学全体として志願者は令和 2 年度の 421 万人から令和 3 年度には 369 万人へとこれまでの増加傾向から一転して減少に転じている。しかし特筆すべきは、芸術・美術・デザイン区分の志願者・入学者もそれぞれ減少したものの、全体に対しての減少幅は小さくなっていることである。

同様に、全国的な志願者数、入学者数の動向に関するものとして、日本私立学校振興・共済事

業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」における主な学部別の志願者・入学者動向（大学）も客観的根拠データとなる。資料 6 にあるように、私立大学全体として志願者は令和 2 年度の 436 万人から令和 3 年度には 383 万人へとこれまでの増加傾向から一転して減少に転じている。先の学校基本調査における調査結果と同様の傾向を示しているものの、上記と同様に芸術・美術・デザイン区分の志願者・入学者もそれぞれ減少しているが、全体に対しての減少幅は小幅に抑えられている。

このような全国的、及び北陸地域の傾向のもと、本学芸術学部芸術学科の入学志願状況の推移を客観的に勘案した結果、今般の入学定員を 10 名増加することとした。以上より、全国、北陸及び近隣地域、そして本学の志願者増加傾向を鑑み、芸術学部芸術学科の入学定員は 80 人と設定しても、前述の内部データからの推定と併せ、今後の定員充足が十分に見込めると結論付けられる。

（資料 1 芸術学部 芸術学科 入学志願状況の推移（過去 4 年間））

（資料 2 アンケート結果）

（資料 3 地域別芸術学部への志願者数／入学者数（過去 4 年間））

（資料 4 北信越における芸術・メディア・デザイン系学部・学科の入学志願状況）

（資料 5 学校基本調査 関係学科別 大学入学状況）

（資料 6 私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移）

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

前述のように、芸術学部芸術学科では、芸術全般の基礎表現を学んだ上で、絵画・造形・デザイン・映像・メディアの 5 分野の知識と技術を柔軟に習得することで、実践的な職業教育を展開していく。この専門性の高い学問に対する高校生の興味を喚起する方策の一つとして、オープンキャンパスや高校への出張講座を継続的に実施していくこととしている。

（表 7 オープンキャンパス年間参加者数の推移）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
芸術学部希望者（人）	192	155	182
全学参加者（人）	1,803	1,383	1,920

本学におけるオープンキャンパスの参加者は毎年増加していたが、表 7 のように令和 2 年度は新型コロナウイルスのパンデミックにより、対面での開催が中止に追い込まれた日程が多数あり、他の年度と比べて参加者数は芸術学部芸術学科・全体参加者共に減少傾向になった。しかしながら令和 3 年度は、感染予防策を徹底し、オンラインと対面の 2 形式で開催したことで、パンデミック前の水準まで参加者数を回復することができた。

他にも、大学での学修の成果を高校生等の志願者層や地域社会に広く周知することを目的とし、卒業制作の展示会や、石川県内の市町村との地域連携事業など、地域活性化や市町村主催のまちづくり活動に積極的に関わるゼミ活動を行っている。これら実践的な学びの活動が、新聞・テレビ等のマスコミ媒体を通して、あるいは直接、目にすることによって志願者層へ本学科の学びの取り組みを届けるものとなっており、今後もこれらの活動を継続・強化することとする。さらに、大学での学びが実社会にどのように関わるのかを学び、体験し、実践する場として大学に設置されている「マスコミ研究所」の活動を広く知らしめることにより、芸術学部芸術学科での学びがどのように発展していくのかを志願者層に訴えていく。

このように、芸術学部が既に持つ魅力をオープンキャンパス等によって発信するのみに留まらず、新しい魅力の創出への努力を重ね続けることで、志願者層への訴求力をより高める学生募集を今後も継続的に実施する。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

芸術学部芸術学科では、日本画・洋画・イラストレーションなど描くことを中心に学ぶ「絵画専攻」、陶芸・漆芸の技法に加え空間デザインまでを学ぶ「造形専攻」、グラフィックデザインを中心にデザインの表現力・技法からコンピューターでの制作スキルまでを学ぶ「デザイン専攻」、実写・アニメーション・3DCGなどの映像制作・編集技術を学ぶ「映像専攻」、ウェブデザインやゲーム、先端技術表現などについて学ぶ「メディア専攻」の5つの分野について、基礎から応用まで実社会で活かせる実践的な知識と技術を身に付ける。また、それらの学びを活かし、地域社会や企業と連携して課題解決に取り組むプロジェクトを多数展開している。実社会において課題発見・課題解決をしていくことにより真に実力を養成し、地域の人々と協働することでコミュニケーション能力や協調性を身に付け、北陸地域の伝統産業のみならず、新たな産業の発展を担うことができる人材の供給を教育研究上の目的と定める。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

芸術学部芸術学科においては、従来の所謂「文系」「理系」という枠にとらわれることなく、多様な人材の輩出を企図している。グローバル化やICTの進展に伴い、新しい職業や業務形態が日々生まれている中で、次世代を支える職業人には、多様な価値観と幅広い知識、そして高い情報活用能力が求められている。デザイン分野、広告分野などクリエイティブな企業だけでなく、その他の業種にも、芸術を学んだプロセスは、活用することができると考えている。

このように、高度な専門的知識とスキルを兼ね備えた人材育成の方向性は、教員組織における教員に学術面の専門家、実務に明るい民間企業での勤務経験者、芸術分野の実務家としての経験を持つ人材を配置することで、より一層その方向性を明らかにしている。

芸術学部芸術学科の志願者・入学者の出身都道府県は、石川県、富山県、新潟県の3県に集中している。これら3県の平成30年から令和3年までの有効求人倍率の4年間の平均値は各県でいずれも1.48倍を超えており、安定して景気のよい状態が続いている。

「資料7 最近5カ年の就職状況」にあるとおり、新卒者の過去5年間の就職率は、平成30年3月卒が100.0%、平成31年3月が100.0%、令和2年年3月卒が100.0%、令和3年3月卒も100.0%、そして令和4年3月卒でも100.0%であり、順調な出口指導を行うことができている。

「資料8 令和4年3月卒業生の業種別就職状況」においては、就職者60人に対して、「製造業」への就職者がトップで26.7%（16人）、「卸売業・小売業」が18.3%（11人）、「サービス業」が16.7%（10人）となっている。芸術学部芸術学科の特長は、前出の3業種で全体の6割を占めるなど、印刷会社、広告代理店、デザイン事務所、ウェブ・IT企業を含むビジネスの即戦力を輩出しているものと考えられる。

これら就職状況に示されるように、芸術学部の人材育成の方向性は、学部の特長を生かしながら、地域社会のニーズに十分応えていると考えることができる。このような全国的、及び北信越地域の傾向のもと、本学芸術学部芸術学科の入学志願状況の推移を客観的に勘案した結果、今般の入学定員を10名増加することとした。以上より、全国、北陸及び近隣地域、そして本学の志願者傾向を鑑み、芸術学部芸術学科の入学定員は80人、編入学定員を7人と設定しても、前述の内部データからの推定と併せ、今後の定員充足が十分に見込めると結論付けられる。

（資料7 最近5カ年の就職状況）

（資料8 令和4年3月卒業生の業種別就職状況）

芸術学部 芸術学科 入学志願状況の推移

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	平均
入学定員 (人)	70	70	70	70	—
志願者 (人)	142	178	237	282	209.8
受験者 (人)	141	178	233	279	207.8
エントリー選抜 (人) (スポーツ・吹奏楽 エントリー (人))	17 (3)	17 (5)	13 (1)	16 (1)	15.8 (2.5)
学校推薦型選抜 (人) (附属高校 (人))	29 (3)	26 (2)	27 (4)	38 (3)	30.0 (3)
一般選抜 (人)	41	62	97	119	79.8
共通テスト利用選抜 (人)	54	73	95	106	82.0
社会人選抜 (人)	0	0	1	0	0.3
志願者前年度比 (%)	—	125.4	133.1	119.0	125.8
受験者前年度比 (%)	—	126.2	130.9	119.7	125.6
合格者 (人)	125	152	174	191	160.5
入学者 (人)	74	79	85	85	80.8
エントリー選抜 (人) (スポーツ・吹奏楽 エントリー (人))	16 (3)	17 (5)	13 (1)	14 (1)	15.0 (2.5)
学校推薦型選抜 (人) (附属高校 (人))	27 (3)	22 (2)	24 (4)	29 (3)	25.5 (3)
一般選抜 (人)	23	25	27	30	26.3
共通テスト利用選抜 (人)	8	15	21	12	14.0
社会人選抜 (人)	0	0	0	0	0.0
合格率 (%)	88.7	85.4	74.7	68.5	79.3
定員充足率 (%)	105.7	112.9	121.4	121.4	115.4
歩留り率 (%)	59.2	52.0	48.9	44.5	51.1

※入試区分名は令和3年の名称を用いている。

資料 2

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関する アンケート調査報告書

【高校生対象】

令和4年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<回答者進学意向>	2
<アンケート回収表>	3
<アンケート集計結果>	7
単純集計	9
学年別クロス集計	20
<アンケート調査票・リーフレット>	25

<アンケート調査概要>

1. アンケート実施の目的

本調査は、「金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関するアンケート調査票」としてアンケート調査票を作成し、高校生に対して金沢学院大学が収容定員の変更（増加）を検討している芸術学部芸術学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを把握することを目的とする。

2. 調査対象

金沢学院大学の立地する石川県に加え、通学可能範囲の富山県、福井県、新潟県等の高等学校に対して金沢学院大学より調査依頼を行い、令和3年度の高校1・2年生を対象にアンケートを実施した。

石川県から27校、新潟県から19校、富山県から9校、福井県から8校、長野県から3校、合計66の高等学校からアンケートを回収した。

3. 調査実施

令和4年1月～3月

4. 調査方法

各高等学校に訪問により配布、郵送により回収

5. 回収状況

アンケート回収高校数：66校

アンケート回収枚数：5,685枚

<回答者進学意向>

高校生を対象とした「金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関するアンケート調査票」において、金沢学院大学が収容定員の変更（増加）を検討する芸術学部芸術学科へ、回答者の進学意向を問う問8の設問における進学希望者数は以下の通りである。

問8 あなたは芸術学部芸術学科に受験して合格した場合、 進学を希望しますか。		実数
1	a 進学を希望する	240人
2	b 進学先として検討する	156人
合計		396人

※問8の設問は、高校卒業後の進路を問う問4の設問において「1 大学進学（専門職大学を含む）」を選択した回答者の中から、問6の進学希望分野で「1 芸術学関係（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む）」を選択した回答者を対象とする。

さらに、問1の学年別に、回答者の受験意向を問う問7の設問と進学意向を問う問8の設問をクロス集計することで、各学科へ「受験を希望する」かつ「進学を希望する」と回答した人数を算出したところ、以下の通りとなった。

		問7「受験を希望する」を選択し、かつ 問8「進学を希望する」を選択した回答者
問1 学年	1 1年生	97人
	2 2年生	107人

アンケート調査の結果、「受験を希望する」かつ「進学を希望する」と回答した高校2年生は、107人と入学定員（80人）を上回る結果となり、開設時の入学年次となる高校2年生に対して十分なニーズがあることが明らかとなった。

また、「受験を希望する」かつ「進学を希望する」と回答した高校1年生は、97人となり、開設時以降の継続的なニーズもあることが明らかとなった。

<アンケート回収表>

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関する

アンケート調査票 回収表

県 Code	都道 府県	高校 Code	高校名	ナンバリング		回収数	回収日
1	石川県	1	石川県立飯田高等学校	4,963	5,097	135	2/25
1	石川県	2	石川県立金沢向陽高等学校	458	496	39	1/19
1	石川県	3	石川県立金沢桜丘高等学校	1,567	1,603	37	1/25
1	石川県	4	石川県立金沢商業高等学校	4,052	4,231	180	2/4
1	石川県	5	石川県立金沢錦丘高等学校	972	1,079	108	1/24
				1,721	1,815	95	1/27
1	石川県	6	石川県立金沢西高等学校	2,497	2,673	177	1/28
1	石川県	7	石川県立金沢伏見高等学校	2,674	2,828	155	1/28
1	石川県	8	石川県立金沢北陵高等学校	1	189	189	1/12
1	石川県	9	石川県立工業高等学校	1,816	1,889	74	1/27
1	石川県	10	石川県立鹿西高等学校	3,279	3,385	107	2/1
1	石川県	11	石川県立宝達高等学校	4,856	4,881	26	2/15
1	石川県	12	石川県立津幡高等学校	3,735	3,762	28	2/4
1	石川県	13	石川県立鶴来高等学校	3,386	3,449	64	2/1
				3,763	3,821	59	2/4
1	石川県	14	石川県立寺井高等学校	3,450	3,579	130	2/1
1	石川県	15	石川県立七尾東雲高等学校	1,890	1,968	79	1/27
1	石川県	16	石川県立野々市明倫高等学校	3,025	3,131	107	2/1
1	石川県	17	石川県立羽咋高等学校	1,969	2,117	149	1/27
1	石川県	18	石川県立松任高等学校	2,905	2,989	85	1/28
1	石川県	19	石川県立輪島高等学校	4,334	4,508	175	2/7
1	石川県	20	鵬学園高等学校	2,118	2,298	181	1/27
1	石川県	21	金沢辰巳丘高等学校	497	610	114	1/19
1	石川県	22	小松大谷高等学校	1,080	1,240	161	1/24
1	石川県	23	小松市立高等学校	3,822	3,989	168	2/4
1	石川県	24	小松明峰高等学校	1,241	1,389	149	1/24
1	石川県	25	星稜高等学校	4,519	4,668	150	2/9
1	石川県	26	大聖寺高等学校	726	867	142	1/20
2	富山県	27	高岡工芸高等学校	2,299	2,333	35	1/27
2	富山県	28	高岡第一高等学校	4,911	4,962	52	2/24
2	富山県	29	高岡龍谷高等学校	190	243	54	1/17
2	富山県	30	富山県立南砺福野高等学校	244	280	37	1/17
2	富山県	31	富山県立小杉高等学校	3,132	3,201	70	2/1

県 Code	都道 府県	高校 Code	高校名	ナパ [®] リンク [®]		回収数	回収日
2	富山県	32	富山北部高等学校	1,390	1,468	79	1/24
2	富山県	33	富山国際大学付属高等学校	281	310	30	1/17
3	福井県	34	啓新高等学校	4,882	4,910	29	2/22
3	福井県	35	福井県立足羽高等学校	3,990	4,051	62	2/4
3	福井県	36	福井県立武生東高等学校	2,334	2,397	64	1/27
3	福井県	37	福井県立羽水高等学校	1,604	1,670	67	1/25
3	福井県	38	北陸高等学校	4,269	4,333	65	2/7
4	新潟県	39	東京学館新潟高等学校	3,658	3,696	39	2/2
4	新潟県	40	新潟県立糸魚川高等学校	1,469	1,511	43	1/24
4	新潟県	41	新潟県立新津高等学校	4,783	4,819	37	2/15
4	新潟県	42	新潟県立巻高等学校	4,669	4,743	75	2/9
4	新潟県	43	新潟第一高等学校	311	350	40	1/17
4	新潟県	44	北越高等学校	351	387	37	1/17
2	富山県	45	新川高等学校	388	457	70	1/17
2	富山県	46	富山県立入善高等学校	611	683	73	1/19
5	長野県	47	松本国際高等学校	684	725	42	1/19
4	新潟県	48	新潟青陵高等学校	868	917	50	1/20
5	長野県	49	長野県田川高等学校	918	947	30	1/20
5	長野県	50	松本第一高等学校	948	971	24	1/20
3	福井県	51	福井県立勝山高等学校	1,512	1,566	55	1/24
4	新潟県	52	新潟県立柏崎常盤高等学校	1,671	1,720	50	1/25
3	福井県	53	鯖江高等学校	2,398	2,461	64	1/27
4	新潟県	54	新潟西高等学校	2,462	2,496	35	1/27
4	新潟県	55	新潟県立三条高等学校	2,829	2,904	76	1/28
4	新潟県	56	新潟県立長岡大手高等学校	2,990	3,024	35	1/28
4	新潟県	57	新潟県立新潟工業高等学校	3,202	3,238	37	2/1
4	新潟県	58	新潟県立上越総合技術高等学校	3,239	3,278	40	2/1
4	新潟県	59	新潟県立柏崎工業高等学校	3,580	3,619	40	2/2
4	新潟県	60	新潟県立長岡工業高等学校	3,620	3,657	38	2/2
4	新潟県	61	新潟県立長岡向陵高等学校	3,697	3,734	38	2/2
4	新潟県	62	新潟県三条東高等学校	4,232	4,268	37	2/7
3	福井県	63	福井県立金津高等学校	4,509	4,518	10	2/9
4	新潟県	64	新潟県立直江津中等教育学校	4,744	4,782	39	2/10
4	新潟県	65	新潟県立長岡高等学校	4,820	4,855	36	2/15
1	石川県	66	金沢学院大学附属高等学校	5,098	5,685	588	3/2
合計						5,685 枚	66 校

<アンケート集計結果>

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関する

アンケート調査票 単純集計

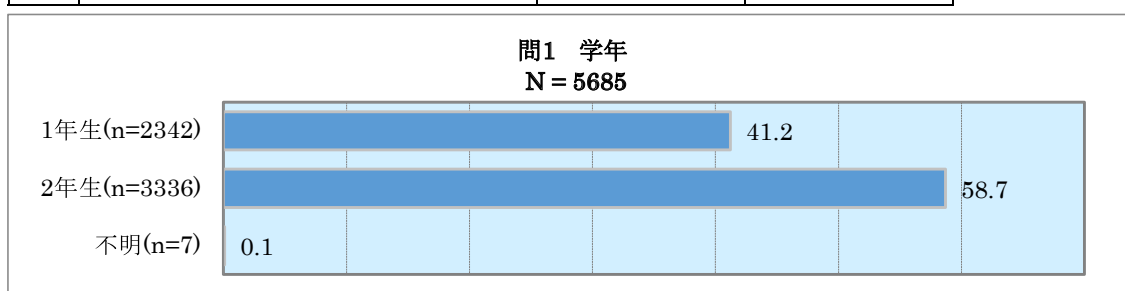
[有効回答票：5,685 票]

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 あなたの学年についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

回答者（5,685人）のうち、「1年生」が2,342人（41.2%）、「2年生」が3,336人（58.7%）である。

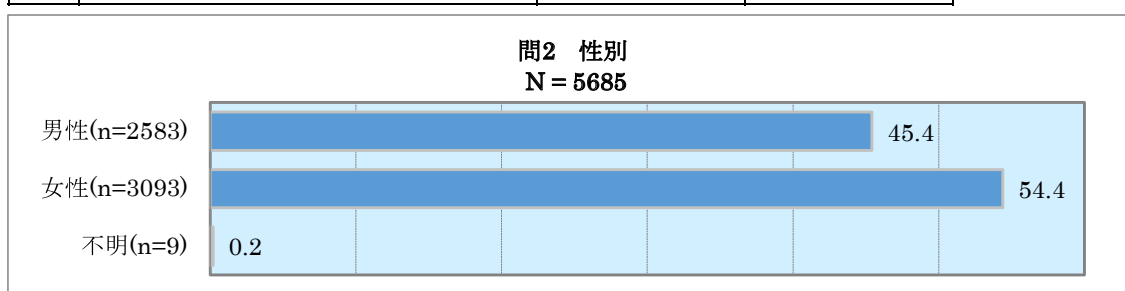
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1年生	2,342	41.2
2	2年生	3,336	58.7
	不明	7	0.1
	合計	5,685	100



問2 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

回答者の性別については、3,093人（54.4%）が「女性」、2,583人（45.4%）が「男性」である。

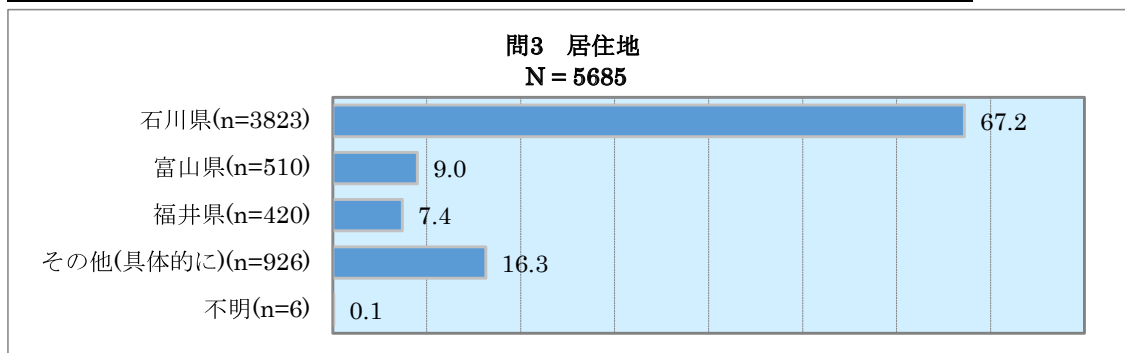
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	2,583	45.4
2	女性	3,093	54.4
	不明	9	0.2
	合計	5,685	100



問3 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

回答者のうち、3,823人(67.2%)が「石川県」、510人(9.0%)が「富山県」、420人(7.4%)が「福井県」在住である。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	石川県	3,823	67.2
2	富山県	510	9.0
3	福井県	420	7.4
4	その他(具体的に)	926	16.3
	不明	6	0.1
	合計	5,685	100



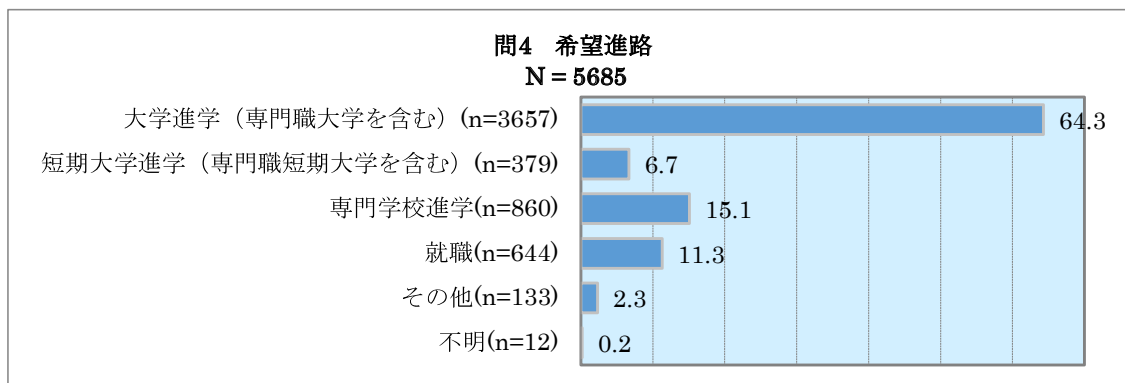
「4 その他」の具体的な回答

回答	件数	回答	件数
新潟県	736	沖縄県	1
長野県	90	神奈川県海老名市	1
秋田県	1	寮生活	1

問4 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

回答者の希望進路については、「大学進学（専門職大学を含む）」が 3,657 人（64.3%）と最も多く、次いで「専門学校進学」が 860 人（15.1%）、「就職」が 644 人（11.3%）、「短期大学進学（専門職短期大学を含む）」が 379 人（6.7%）の順が続いている。

No	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学（専門職大学を含む）	3,657	64.3
2	短期大学進学（専門職短期大学を含む）	379	6.7
3	専門学校進学	860	15.1
4	就職	644	11.3
5	その他	133	2.3
	不明	12	0.2
	合計	5,685	100



【問5以降は、問4で「1 大学進学（専門職大学を含む）」を選択した3,657人の回答者を対象とする。】

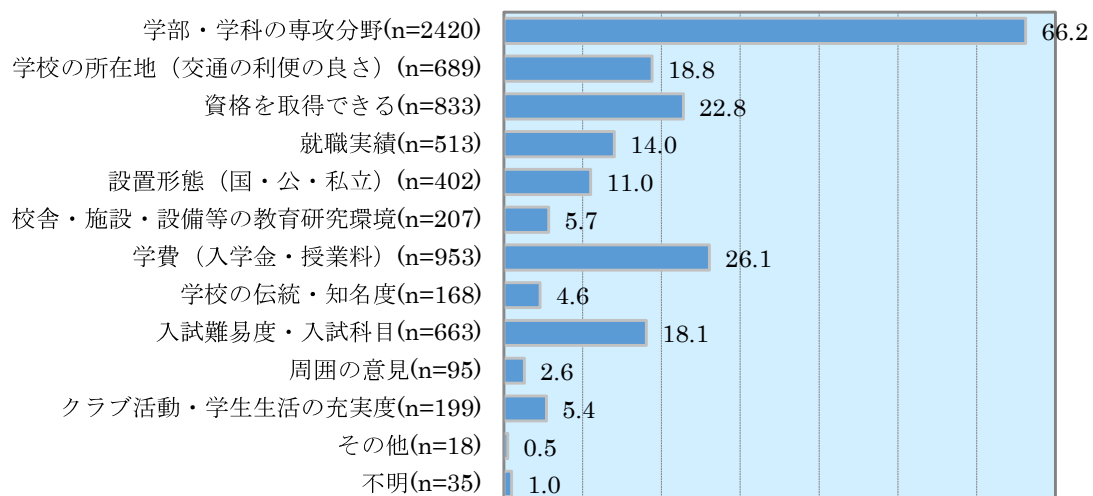
問5 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から2つまで選んでください。（複数回答）

回答者が進学先を決定する際に重視する事柄については、「学部・学科の専攻分野」が2,420人（66.2%）と最も多く、次いで「学費（入学金・授業料）」が953人（26.1%）、「資格を取得できる」が833人（22.8%）の順が続いている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学部・学科の専攻分野	2,420	66.2
2	学校の所在地（交通の利便の良さ）	689	18.8
3	資格を取得できる	833	22.8
4	就職実績	513	14.0
5	設置形態（国・公・私立）	402	11.0
6	校舎・施設・設備等の教育研究環境	207	5.7
7	学費（入学金・授業料）	953	26.1
8	学校の伝統・知名度	168	4.6
9	入試難易度・入試科目	663	18.1
10	周囲の意見	95	2.6
11	クラブ活動・学生生活の充実度	199	5.4
12	その他	18	0.5
	不明	35	1.0

（複数回答のため合計=3,657、100%にならない）

問5 進学先決定の際、重視する事柄



「12 その他」の具体的な回答

回答	回答
OBと同じ学校に行きたい。	進路実績
頭の良さ	推薦
学校教員の人柄	手厚さ
カリキュラム	偏差値
教員	夢
研究内容	

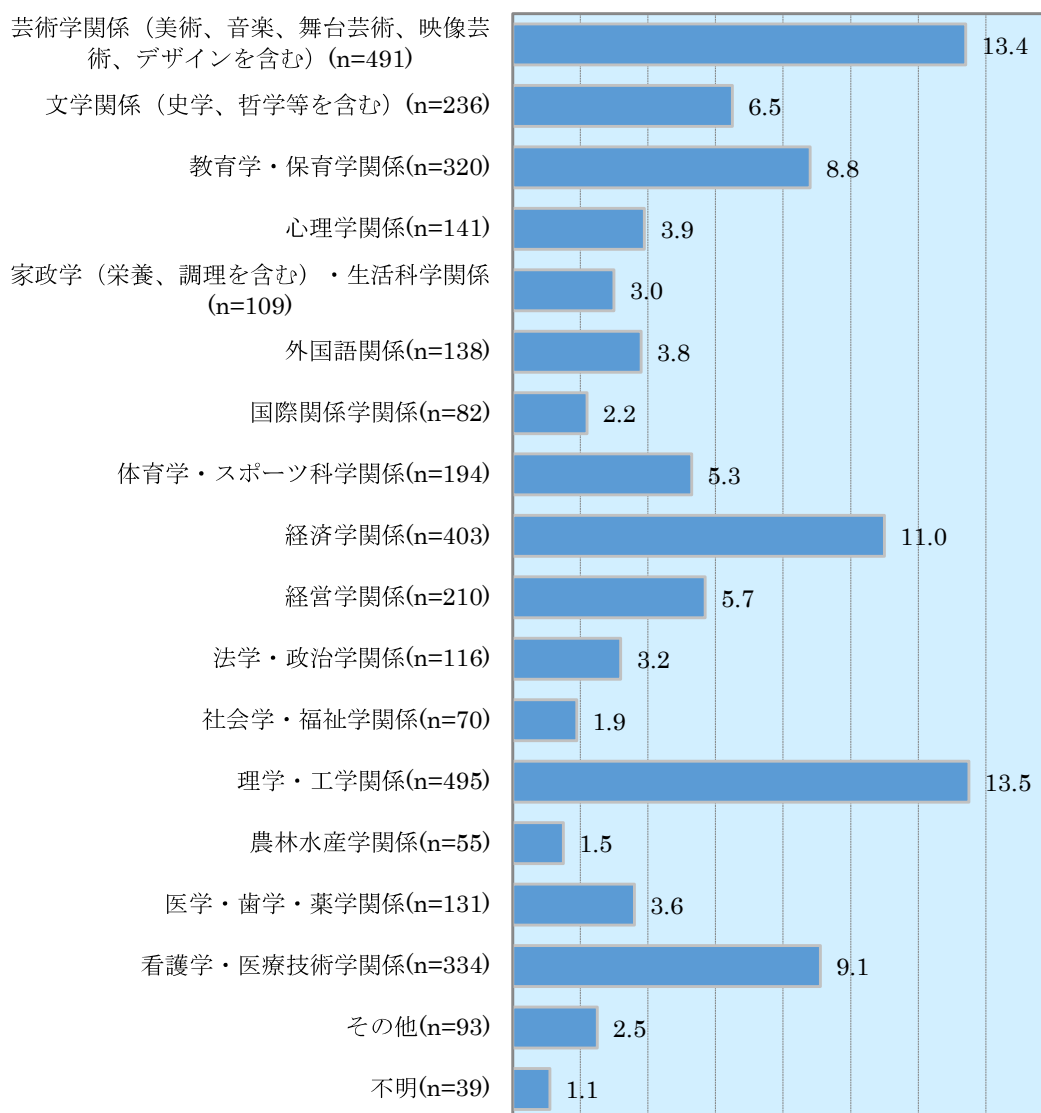
問6 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者が進学を希望する分野は、芸術学関係（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む）が491人（13.4%）、「理学・工学関係」が495人（13.5%）、「経済学関係」が403人（11.0%）となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	芸術学関係（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む）	491	13.4
2	文学関係（史学、哲学等を含む）	236	6.5
3	教育学・保育学関係	320	8.8
4	心理学関係	141	3.9
5	家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係	109	3.0
6	外国語関係	138	3.8
7	国際関係学関係	82	2.2
8	体育学・スポーツ科学関係	194	5.3
9	経済学関係	403	11.0
10	経営学関係	210	5.7
11	法学・政治学関係	116	3.2
12	社会学・福祉学関係	70	1.9
13	理学・工学関係	495	13.5
14	農林水産学関係	55	1.5
15	医学・歯学・薬学関係	131	3.6
16	看護学・医療技術学関係	334	9.1
17	その他	93	2.5
	不明	39	1.1
	合計	3,657	100

問6 進学希望分野

N = 3657



「17 その他」の具体的な回答

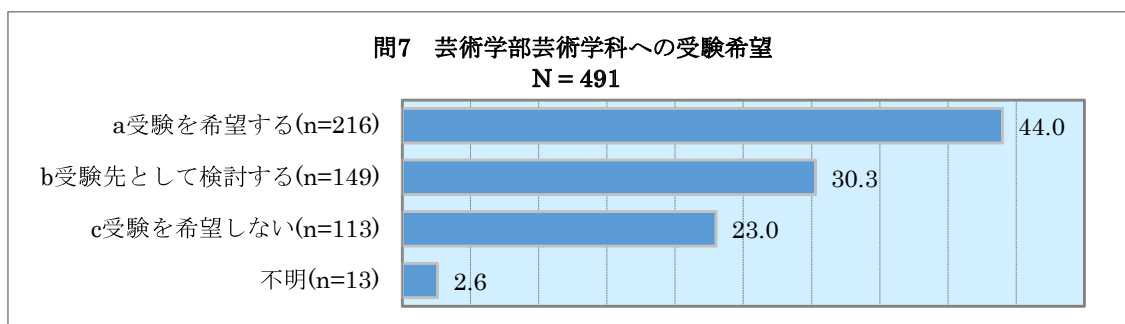
回答	件数	回答	件数	回答	件数	回答	件数
建築	4	気象	1	総合分野	1	決まっていない。	2
観光(学)	3	金融工学	1	地域社会	1	まだ考えていない。	2
情報(学、系)	3	工学	1	都市デザイン	1	(まだ)分からない。	2
栄養	2	公務員	1	メディア学	1		
作業療法	2	獣医学	1	歴史学専攻	1		
IT	1	生物学	1	未定	4		

【問7以降は、問6で「1 芸術学関係」を選択した491人の回答者を対象とする。】

問7 あなたは芸術学部芸術学科への受験（一般入試、推薦入試、内部進学を含む）を希望しますか。a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

問6で「1 芸術学関係」を選択した回答者（491人）の「芸術学部芸術学科」への受験意向は、「受験を希望する」が216人（44.0%）、「受験先として検討する」が149人（30.3%）となっており、合計すると365人（74.3%）となっている。

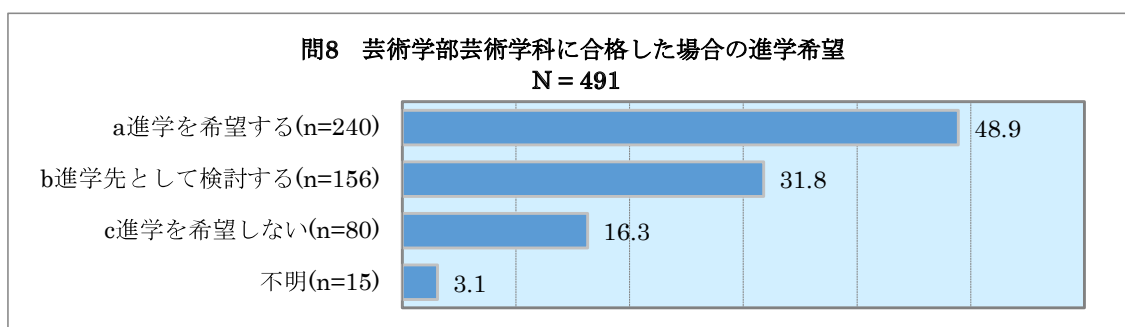
No	カテゴリ	件数	(全体)%
1	a 受験を希望する	216	44.0
2	b 受験先として検討する	149	30.3
3	c 受験を希望しない	113	23.0
	不明	13	2.6
	合計	491	100



問8 あなたは芸術学部芸術学科に受験して合格した場合、進学を希望しますか。a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

問6で「1 芸術学関係」を選択した回答者の「芸術学部芸術学科」への進学意向は、「進学を希望する」が240人(48.9%)、「進学先として検討する」が156人(31.8%)となっており、合計すると396人(80.7%)となっている。

No	カテゴリ	件数	(全体)%
1	a 進学を希望する	240	48.9
2	b 進学先として検討する	156	31.8
3	c 進学を希望しない	80	16.3
	不明	15	3.1
	合計	491	100



<参考> 問7（受験希望）×問8（進学希望）クロス集計

受験希望をたずねる問7と進学希望をたずねる問8をクロス集計することで、「受験を希望する」かつ「進学を希望する」と回答した人数を算出した。

芸術学部芸術学科について、問7で「受験を希望する」を回答し、かつ問8で「進学を希望する」と回答したのは、204人となった。

【芸術学部芸術学科】

		問7 芸術学部芸術学科への受験希望				
		a 受験を希望する	b 受験先として検討する	c 受験を希望しない	不明	合計
問8 芸術学部芸術学科に合格した場合の進学希望	a 進学を希望する	204	33	3	-	240
	b 進学先として検討する	11	113	31	1	156
	c 進学を希望しない	1	3	75	1	80
	不明	-	-	4	11	15
	全体	216	149	113	13	491

【芸術学部芸術学科（1年生のみ集計）】

1年生		問7 芸術学部芸術学科への受験希望				
		a 受験を希望する	b 受験先として検討する	c 受験を希望しない	不明	合計
問8 芸術学部芸術学科に合格した場合の進学希望	a 進学を希望する	97	20	1	-	118
	b 進学先として検討する	5	60	2	1	68
	c 進学を希望しない	1	1	18	1	21
	不明	-	-	3	5	8
	全体	103	81	24	7	215

【芸術学部芸術学科（2年生のみ集計）】

2年生		問7 芸術学部芸術学科への受験希望				
		a 受験を希望する	b 受験先として検討する	c 受験を希望しない	不明	合計
問8 芸術学部芸術学科に合格した場合の進学希望	a 進学を希望する	107	13	2	-	122
	b 進学先として検討する	6	53	29	-	88
	c 進学を希望しない	-	2	57	-	59
	不明	-	-	1	6	7
	全体	113	68	89	6	276

○学年別クロス集計

問1 学年 × 問2 性別

	上段:度数	問1 学年			
	下段:%	合計	1年生	2年生	不明
問2 性別	全体	5,685	2,342	3,336	7
		100.0	100.0	100.0	100.0
	男性	2,583	1,122	1,461	-
		45.4	47.9	43.8	-
	女性	3,093	1,218	1,874	1
		54.4	52.0	56.2	14.3
	不明	9	2	1	6
		0.2	0.1	-	85.7

問1 学年 × 問3 居住地

	上段:度数	問1 学年			
	下段:%	合計	1年生	2年生	不明
問3 居住地	全体	5,685	2,342	3,336	7
		100.0	100.0	100.0	100.0
	石川県	3,823	1,548	2,274	1
		67.2	66.1	68.2	14.3
	富山県	510	239	271	-
		9.0	10.2	8.1	-
	福井県	420	159	261	-
		7.4	6.8	7.8	-
	その他	926	396	530	-
		16.3	16.9	15.9	-
	不明	6	-	-	6
		0.1	-	-	85.7

問1 学年×問4 希望進路

	上段:度数	問1 学年			
	下段:%	合計	1年生	2年生	不明
問4 希望進路	全体	5,685	2,342	3,336	7
		100.0	100.0	100.0	100.0
	大学進学(専門職大学を含む)	3,657	1,375	2,282	-
		64.3	58.7	68.4	-
	短期大学進学(専門職短期大学を含む)	379	147	231	1
		6.7	6.3	6.9	14.3
	専門学校進学	860	370	490	-
		15.1	15.8	14.7	-
	就職	644	371	273	-
		11.3	15.8	8.2	-
	その他	133	76	57	-
		2.3	3.2	1.7	-
	不明	12	3	3	6
		0.2	0.1	0.1	85.7

問1 学年 × 問5 進学先決定の際、重視する事柄（複数回答）

	上段:度数	問1 学年			
	下段:%	合計	1年生	2年生	不明
問5 進学先決定の際、重視する事柄（複数回答）	全体	3,657	1,375	2,282	-
		100.0	100.0	100.0	-
	学部・学科の専攻分野	2,420	893	1,527	-
		66.2	64.9	66.9	-
	学校の所在地（交通の利便の良さ）	689	232	457	-
		18.8	16.9	20.0	-
	資格を取得できる	833	274	559	-
		22.8	19.9	24.5	-
	就職実績	513	205	308	-
		14.0	14.9	13.5	-
	設置形態（国・公・私立）	402	174	228	-
		11.0	12.7	10.0	-
	校舎・施設・設備等の教育研究環境	207	83	124	-
		5.7	6.0	5.4	-
	学費（入学金・授業料）	953	389	564	-
		26.1	28.3	24.7	-
	学校の伝統・知名度	168	59	109	-
		4.6	4.3	4.8	-
	入試難易度・入試科目	663	239	424	-
	18.1	17.4	18.6	-	
周囲の意見	95	42	53	-	
	2.6	3.1	2.3	-	
クラブ活動・学生生活の充実度	199	96	103	-	
	5.4	7.0	4.5	-	
その他	18	8	10	-	
	0.5	0.6	0.4	-	
不明	35	11	24	-	
	1.0	0.8	1.1	-	

（複数回答のため合計=3,657、100%にならない）

問1 学年 × 問6 進学希望分野

	上段:度数	問1 学年			
	下段:%	合計	1年生	2年生	不明
問6 進学希望分野	全体	3,657	1,375	2,282	-
		100.0	100.0	100.0	-
	芸術学関係（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む）	491	215	276	-
		13.4	15.6	12.1	-
	文学関係（史学、哲学等を含む）	236	95	141	-
		6.5	6.9	6.2	-
	教育学・保育学関係	320	100	220	-
		8.8	7.3	9.6	-
	心理学関係	141	50	91	-
		3.9	3.6	4.0	-
	家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係	109	37	72	-
		3.0	2.7	3.2	-
	外国語関係	138	44	94	-
		3.8	3.2	4.1	-
	国際関係学関係	82	23	59	-
		2.2	1.7	2.6	-
	体育学・スポーツ科学関係	194	71	123	-
		5.3	5.2	5.4	-
	経済学関係	403	95	308	-
		11.0	6.9	13.5	-
経営学関係	210	67	143	-	
	5.7	4.9	6.3	-	
法学・政治学関係	116	50	66	-	
	3.2	3.6	2.9	-	
社会学・福祉学関係	70	27	43	-	
	1.9	2.0	1.9	-	
理学・工学関係	495	240	255	-	
	13.5	17.5	11.2	-	
農林水産学関係	55	24	31	-	
	1.5	1.7	1.4	-	
医学・歯学・薬学関係	131	74	57	-	
	3.6	5.4	2.5	-	
看護学・医療技術学関係	334	104	230	-	
	9.1	7.6	10.1	-	
その他	93	45	48	-	
	2.5	3.3	2.1	-	
不明	39	14	25	-	
	1.1	1.0	1.1	-	

問1 学年 × 問7 芸術学部芸術学科への受験希望

		問1 学年			
上段:度数		合計	1年生	2年生	不明
	下段:%				
問7 芸術学部芸術学科への受験希望	全体	491	215	276	-
		100.0	100.0	100.0	-
	a 受験を希望する	216	103	113	-
		44.0	47.9	40.9	-
	b 受験先として検討する	149	81	68	-
		30.3	37.7	24.6	-
	c 受験を希望しない	113	24	89	-
		23.0	11.2	32.2	-
不明	13	7	6	-	
	2.6	3.3	2.2	-	

問1 学年 × 問8 芸術学部芸術学科に合格した場合の進学希望

		問1 学年			
上段:度数		合計	1年生	2年生	不明
	下段:%				
問8 芸術学部芸術学科に合格した場合の進学希望	全体	491	215	276	-
		100.0	100.0	100.0	-
	a 進学を希望する	240	118	122	-
		48.9	54.9	44.2	-
	b 進学先として検討する	156	68	88	-
		31.8	31.6	31.9	-
	c 進学を希望しない	80	21	59	-
		16.3	9.8	21.4	-
不明	15	8	7	-	
	3.1	3.7	2.5	-	

<アンケート調査票・リーフレット>

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）に関するアンケート調査票

金沢学院大学では、入学志願倍率の緩和と地域社会で必要とされる人材の育成などの要請に応えるため、下記のとおり芸術学部芸術学科の収容定員の増加を行うこととしました。

このアンケートは、無記名式で、高校生の皆さんの高校卒業後の進路などについてお聞きし、芸術学部芸術学科の収容定員を増加するための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ使い、外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では該当する番号に○をつけてください。

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

◆ 収容定員の増加予定学科：

芸術学部 芸術学科 (入学定員 70名→80名)

◆ 収容定員の増加の開始時期：2023年4月（予定）

◆ 金沢学院大学芸術学部芸術学科が立地する住所：石川県金沢市末町10

(アクセス) 金沢駅からバスで約35分、香林坊からバスで約20分。

◆ 養成する人材像

- ・現代社会における芸術の役割を理解し、芸術を通して新たな社会を築くための創造力と実行力を備えた人材を養成する。
- ・個人制作と協働制作の両方の過程を経験することにより、創造的思考・論理的思考の養成のみならず、社会における自己の役割を認識し、意思決定を行い行動できる人材を養成する。
- ・卒業後の進路として、本学部で養成された創造性や観察力、課題発見・解決能力は、現代社会の多くの分野で必要とされる。芸術の専門的な知識・技術を活かした教職・学芸員をはじめ、デザイン・印刷等の企業はもちろん、多様な社会で活躍できる人材の養成を目指す。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 あなたの学年についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 1年生
- 2 2年生

問2 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 男性
- 2 女性

問3 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 石川県
- 2 富山県
- 3 福井県
- 4 その他（具体的に)

問4 あなたの進路についておたずねします。
あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。
次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- 1 大学進学（専門職大学を含む）
- 2 短期大学進学（専門職短期大学を含む）
- 3 専門学校進学
- 4 就職
- 5 その他

問5以降へお進みください。

これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

(裏面に続く)

【問4で「1」を選択された方は問5に進んでください。「2, 3, 4, 5」を選択された方は、アンケートは終わりになります。】

問5 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から**2つまで**選んでください。

- | | | |
|--------------------|-------------------|--|
| 1 学部・学科の専攻分野 | 7 学費（入学金・授業料） | |
| 2 学校の所在地（交通の利便の良さ） | 8 学校の伝統・知名度 | |
| 3 資格を取得できる | 9 入試難易度・入試科目 | |
| 4 就職実績 | 10 周囲の意見 | |
| 5 設置形態（国・公・私立） | 11 クラブ活動・学生生活の充実度 | |
| 6 校舎・施設・設備等の教育研究環境 | 12 その他（ ） | |

問6 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**1つだけ**選んでください。

- | | | |
|--------------------------------------|----------------|--|
| 1 芸術学関係
（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む） | 10 経営学関係 | |
| 2 文学関係（史学、哲学等を含む） | 11 法学・政治学関係 | |
| 3 教育学・保育学関係 | 12 社会学・福祉学関係 | |
| 4 心理学関係 | 13 理学・工学関係 | |
| 5 家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係 | 14 農林水産学関係 | |
| 6 外国語関係 | 15 医学・歯学・薬学関係 | |
| 7 国際関係学関係 | 16 看護学・医療技術学関係 | |
| 8 体育学・スポーツ科学関係 | 17 その他（ ） | |
| 9 経済学関係 | | |

問6において、「1 芸術学関係」を選択された方は問7以降へお進みください。
「2～17」を選択された方は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問7以降は、「芸術学部芸術学科」への興味・関心についておたずねします。
アンケートに同封しているリーフレットをご覧くださいながらご回答ください。

【問7以降は、問6で「1 芸術学関係」を選択された方が対象となります。】

問7 あなたは芸術学部芸術学科への受験（一般入試、推薦入試、内部進学を含む）を希望しますか。
a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

学部学科	受験を希望する	受験先として検討する	受験を希望しない
芸術学部芸術学科	a	b	c

問8 あなたは芸術学部芸術学科に受験して合格した場合、進学を希望しますか。
a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

学部学科	進学を希望する	進学先として検討する	進学を希望しない
芸術学部芸術学科	a	b	c

《参考》◆近隣にある私立大学の学部・学科の学納金				＜2022年度入学生用としてホームページから抜粋＞			
所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設費等	初年度納付金
愛知県	名古屋芸術大学	芸術学部	芸術学科	200,000	850,000	690,000	1,740,000
京都府	京都芸術大学	芸術学部	美術工芸学科、情報デザイン学科	200,000	1,320,000	300,000	1,820,000

*** 以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 ***

金沢学院大学からのご案内

2023年4月 入学定員の増加を計画している学部・学科 芸術学部の入学定員増を計画しています。

(認可申請予定のため変更がある場合があります)

5つの表現領域で芸術マインドを育み社会へ

芸術学部 芸術学科



入学定員
70名
↓
80名

学科の特色 1 ▶ 芸術の知識と表現技能を実社会で生かす

芸術学科では、美術の幅広い表現行為について、大きく5つの領域から学んでいきます。

日本画・洋画・イラストレーションなど描くことを中心に学ぶ「絵画専攻」、陶芸・漆芸の技法に加え空間デザインまでも学ぶ「造形専攻」、グラフィックデザインを中心にデザインの表現力・技法、そしてコンピューターでの制作スキルを学ぶ「デザイン専攻」、実写・アニメーション・3DCGなどの映像制作・編集技術を学ぶ「映像専攻」、ウェブデザイン、ゲーム、プログラミング、プロジェクションマッピングなどについて学ぶ「メディア専攻」の5つの分野について、基礎から

応用まで実社会で生かせる実践的な知識と技術を身に付けます。また、学んだことを生かし、地域社会や企業と連携して課題解決に取り組むプロジェクトも多数展開しています。実社会において課題発見・課題解決をしていくことにより、真に実力が養成されます。さらに、地域の人々と協働で問題解決することで、コミュニケーション能力や協調性が身に付き就職活動にも繋がる貴重な経験を得ることが出来ます。



芸術表現基礎の授業で制作した選択作品をスケッチする学生たち

学科の特色 2 ▶ 1年次に5分野の基礎を学び、2年次から各専攻へ

各表現領域のエッセンスを広く体験し、学生一人一人が柔軟に学びを選択できるようにカリキュラムを整えています。1年次にはすべての学生が絵画、造形、デザイン、映像、メディアの5分野の基礎を学び、2年次以降は将来の目標や興味・関心に従って選んだ専門分野を深く学んでいきます。このカリキュラムによって、芸術と表現についての幅広い視野と基礎的な知識・技術を身に付けられることはもちろん、「自分の専門分野に他分野で得た知識や技術を

生かす」、「自身の未経験の分野の面白さに気付いたことを根拠に進路を再考する」など、柔軟な学びと表現のスタイルを実現します。幅広い知識と技術を習得して教員を目指す、特定の分野を究めて作家やクリエイターになる、デザイン思考や発想力を身に付けて企業で活躍するなど、将来の選択肢は多岐にわたります。

絵画専攻

日本画、洋画、イラストレーションなど多様な絵画表現を学びます。基礎的な造形力や思考力を養い、次世代を担う表現者を目指します。

造形専攻

陶芸、漆芸に加え、空間デザインなど現代に生きる作品づくりを学びます。アイデアから作品を完成させるまでのプロセスを通して、創造的な制作能力を身に付けます。

デザイン専攻

ビジュアルデザインに必要な感性とコンセプト構築力を培い、課題制作を通して、高い創造性と感性や実社会に貢献できるデザイン表現力を身に付けます。

映像専攻

CM、PV、アニメなどの制作テクニックと総合的な企画力を身に付けます。地域の要望を受け、PR動画の制作協力など学外活動などにも挑戦します。

メディア専攻

Webデザインやゲーム、スマホアプリ、プロジェクションマッピングなど、芸術の視点からIT技術の応用を学びます。日々進化するデジタル表現と最新の表現方法やスキルを身に付けます。

【入学定員の増加を計画している学部・学科の学納金】

芸術学部 芸術学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学時(前期)	200,000円	425,000円	215,000円	840,000円
後期	—	425,000円	215,000円	640,000円
初年度年額	200,000円	850,000円	430,000円	1,480,000円
2～4年次(年額)	—	850,000円	430,000円	1,280,000円

金沢学院大学独自の奨学金

KGスカラシップ

本学のアドミッション・ポリシーに基づく「期待する学生像」にかなう奨学生を選抜する本学独自の奨学金制度です。

高度な専門知識、難易度の高い資格取得への挑戦など、

在学中や卒業後の目標を明確に掲げ、目標実現に向けて、積極的に行動する学生を応援します。

Point1 KGスカラシップ選抜の成績から奨学生を選考！国公立大学並みの学費を実現！

KGスカラシップ選抜に出願し、入学試験の成績が基準に達した合格者からランク別に奨学生を選考し、授業料全額(SAランク)や授業料半額(SBランク)、年間20万円(Aランク)の奨学金を給付します。

Point2 公務員や教員、大手企業を目指すキャリア講座の受講料が減免に！

KGスカラシップ生に認定された学生は、「KGC(金沢学院キャリア)講座」や教職センターの教員採用試験対策講座の受講が条件となり、学納金に対する奨学金のほか、上記講座の受講料が免除または減額となります。[●SA・SBランク(受講料免除)、●Aランク:(受講料減額)]

Point3 2年次からも新たに奨学生を選抜！SB→SA、A→SBランクUPも！

2年次からでも新たにKGスカラシップ生として奨学金の給付を受けることができる奨学金制度を設けています。前年度の学業成績において優秀な成果を収めた学生に対して、KGスカラシップAランクを追加認定します。また、すでに奨学生(SB・Aランク)の場合でも、在学中の学業成績が極めて優秀で、成績が上位ランクの基準に到達している場合は、奨学生ランクがアップするチャンスもあります。

金沢学院大学

- 文 学 部 ●文 学 科 (4専攻/日本文学、英米文学、歴史学、心理学)
- 教 育 学 部 ●教育学科 **III-VI** (2専攻/小学校・中学校教諭、幼稚園教諭・保育士)
- 経 済 学 部 ●経済学科 ●経営学科
- 経済情報学部 ●経済情報学科
- 芸術学部 ●芸術学科 (5専攻/絵画、造形、デザイン、映像、メディア)
- スポーツ科学部 ●スポーツ科学科 (4専攻/アスリート・指導員養成、体育教員養成、公安・公務員養成、スポーツビジネス)
- 栄養学部 ●栄養学科 (石川県内唯一の管理栄養士養成課程)

金沢学院短期大学

- 現代教養学科 (5コース/公務員・一般事務、観光・ホテル・ブライダル、ICT・簿記会計、スポーツ、芸術)
- 食物栄養学科 (栄養士養成、10年連続就職率100%)
- 幼児教育学科 (幼稚園教諭・保育士養成)

入試広報部 TEL.076-229-8833 FAX.076-229-8791

受験生専用 フリーダイヤル 0120-367-984

〒920-1392 金沢市末町10
www.kanazawa-gu.ac.jp

金沢学院大学 検索

金沢学院大学編入学定員の変更（増加）に関するアンケート調査

金沢学院大学では、入学志願倍率の緩和と地域社会で必要とされる人材の育成などの要請に応えるため、

下記のとおり芸術学部芸術学科の編入学定員の増加を行うこととしました。

このアンケートは、無記名式で、金沢学院短期大学生の皆さんの卒業後の進路などについてお聞きし、芸術学部芸術学科の編入学定員を増加するための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人に見せたりすることはありません。回答は設問の順に該当する番号を回答欄に入力してください。一部の設問では該当する番号を選択してください。

<<最後に表示される【送信】ボタンの押し忘れにご注意ください。>>

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

◆編入学定員の増加予定学科：

芸術学部芸術学科（編入学定員 2名→7名）

◆収容定員の増加の開始時期 2023年4月（予定）

◆金沢学院大学芸術学部芸術学科が立地する住所：石川県金沢市末町10
（アクセス）金沢駅からバスで約35分、香林坊からバスで約20分

◆養成する人材像

・現代社会における芸術の役割を理解し、芸術を通して新たな社会を築くための創造力と実行力を備えた人材を養成する。

・個人制作と協働制作の両方の過程を経験することにより、創造的思考・論理的思考の養成のみならず、社会における自己の役割を認識し、意思決定を行い行動できる人材を養成する。

・卒業後の進路として、本学部で養成された創造性や観察力、課題発見・解決能力は、現代社会の多くの分野で必要とされる。芸術の専門的な知識・技術を活かした教職・学芸員をはじめ、デザイン・印刷等の企業はもちろん、多様な社会で活躍できる人材の養成を目指す。

 ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp（共有なし） [アカウントを切り替える](#)



*必須

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から選んでください。*

男性

女性



問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から選んでください。その他の場合は具体的に記入してください。*

- 石川県
- 富山県
- 福井県
- その他: _____

問3 あなたの進路についておたずねします。あなたは短期大学卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。*

- 大学進学（専門職大学を含む）
- 短期大学進学（専門職短期大学を含む）
- 専門学校進学
- 就職
- その他

1/3 ページ

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは kanazawa-gu.ac.jp 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



金沢学院大学編入学定員の変更（増加）に関するアンケート調査

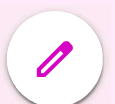
 ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp（共有なし） [アカウントを切り替える](#)



問4以降は、問3で「大学進学（専門職大学を含む）」を選択された方のみ回答してください。

問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から【2つまで】選んでください。

- 学部・学科の専攻分野
- 学校の所在地（交通の利便の良さ）
- 資格を取得できる
- 就職実績
- 設置形態（国・公・私立）
- 校舎・施設・設備等の教育研究環境
- 学費（入学金・授業料）
- 学校の伝統・知名度
- 入試難易度・入試科目
- 周囲の意見
- クラブ活動・学生生活の充実度
- その他: _____



問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 芸術学関係（美術、音楽、舞台芸術、映像芸術、デザインを含む）
- 2 文学関係（史学、哲学等を含む）
- 3 教育学・保育学関係
- 4 心理学関係
- 5 家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係
- 6 外国語関係
- 7 国際関係学関係
- 8 体育学・スポーツ科学関係
- 9 経済学関係
- 10 経営学関係
- 11 法学・政治学関係
- 12 社会学・福祉学関係
- 13 理学・工学関係
- 14 農林水産学関係
- 15 医学・歯学・薬学関係
- 16 看護学・医療技術学関係
- その他: _____

2/3 ページ

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは kanazawa-gu.ac.jp 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



金沢学院大学編入学定員の変更（増加）に関するアンケート調査

 ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp（共有なし） [アカウントを切り替える](#)

 下書きを保存しました

問6以降は「芸術学部芸術学科」への興味・関心についておたずねします。アンケート案内に際して配布したリーフレットをご覧ください。

問6以降は、問5で「1 芸術学関係」を選択された方が対象となります。

問6 あなたは芸術学部芸術学科への受験（一般入試、推薦入試、内部進学を含む）を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 受験を希望する
- 受験先として検討する
- 受験を希望しない

問7 あなたは芸術学部芸術学科に受験して合格した場合、進学を希望しますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 進学を希望する
- 進学先として検討する
- 進学を希望しない

3/3 ページ

[戻る](#)

[送信](#)

[フォームをクリア](#)

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このフォームは kanazawa-gu.ac.jp 内部で作成されました。 [不正行為の報告](#)

Google フォーム



資料3

地域別 芸術学部への志願者数／入学者数(過去4年間)

地域	県名	平成30年		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		志願	入学	志願	入学	志願	入学	志願	入学
北海道	北海道	1	0	0	0	0	0	0	0
東北	6県	3	1	3	3	5	1	0	0
関東	1都7県	1	1	4	2	0	0	2	0
北信越	新潟県	10	4	13	4	14	6	24	8
	富山県	37	16	47	9	56	17	78	21
	石川県	79	45	90	49	142	54	163	51
	福井県	7	3	4	3	7	3	6	4
	長野県	1	1	3	2	4	1	3	1
東海	4県	1	1	4	2	2	0	6	0
近畿	2府4県	2	2	7	4	1	1	0	0
中国	5県	0	0	0	0	0	0	0	0
四国	4県	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	8県	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	3	1	6	2	0	0
合計		142	74	178	79	237	85	282	85
入学定員		70		70		70		70	

※数値は、志願者および入学者の出身高校所在地に基づく集計結果である。

※区分は以下の通り

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※「その他」は、全国に複数の学修センターを持つ広域通信制高校や
高等学校卒業程度認定試験等を指す。

資料 4

北信越における芸術・メディア・デザイン系学部・学科の入学

※芸術・美術系学部は北信越には本学以外ありません。

県名	大学名	学部名	学科名		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
石川県	金沢工業大学	情報フロンティア学部	メディア情報学科	入学定員 (人)	120	120	120	120	120
				志願者 (人)	835	932	971	1033	989
				入学者 (人)	161	155	149	170	165
				定員充足率 (%)	134.2	129.2	124.2	141.7	137.5
福井県	福井工業大学	環境情報学部	デザイン学科	入学定員 (人)	50	50	50	50	50
				志願者 (人)	—	411	392	513	345
				入学者 (人)	61	56	70	68	58
				定員充足率 (%)	122.0	112.0	140.0	136.0	116.0

資料5

学校基本調査による全国的な志願者数、入学者数の推移

区分	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
私立大学全体	志願者数（人）	3,644,995	3,949,766	4,266,924	4,218,806	3,691,939
	入学者数（人）	481,619	480,038	482,382	487,157	479,360
芸術	志願者数（人）	50,884	55,683	62,704	66,746	64,349
	入学者数（人）	15,958	16,253	16,927	17,204	16,817
美術	志願者数（人）	8,093	8,394	9,421	10,340	9,661
	入学者数（人）	2,695	2,786	3,010	3,063	2,803
デザイン	志願者数（人）	19,837	22,483	24,880	25,975	25,340
	入学者数（人）	4,265	4,222	4,406	4,455	4,270

※学校基本調査 関係学科別 大学入学状況より修業年限4年の大学を抜粋。

区分は、人文科学、社会科学、理学、工学、農学、保健、商船、家政、教育、芸術、その他で分類され、
芸術は、美術、デザイン、音楽、その他で分類されている。

資料6

私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

区分	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
私立大学全体	志願者数（人）	3,882,573	4,158,495	4,425,625	4,368,215	3,834,862
	入学者数（人）	499,678	497,773	500,083	503,830	494,213
芸術系	志願者数（人）	43,312	47,342	52,851	57,849	53,220
	入学者数（人）	14,380	14,621	15,079	15,257	14,744
芸術学部	志願者数（人）	18,091	20,319	23,289	26,933	24,598
	入学者数（人）	6,988	7,149	7,289	7,297	7,221
デザイン学部	志願者数（人）	2,391	2,805	3,036	3,652	4,120
	入学者数（人）	704	705	726	726	727

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」主な学部別の志願者・入学者動向（大学）より抜粋。
 区分は、医学、歯学、薬学、保健系、理・工学系、農学系、人文科学系、社会科学系、家政学、教育学、体育学、芸術系、
 その他で分類され、
 芸術系は、音楽学部、芸術学部、造形学部、美術学部、デザイン学部、その他で分類されている。

資料 7

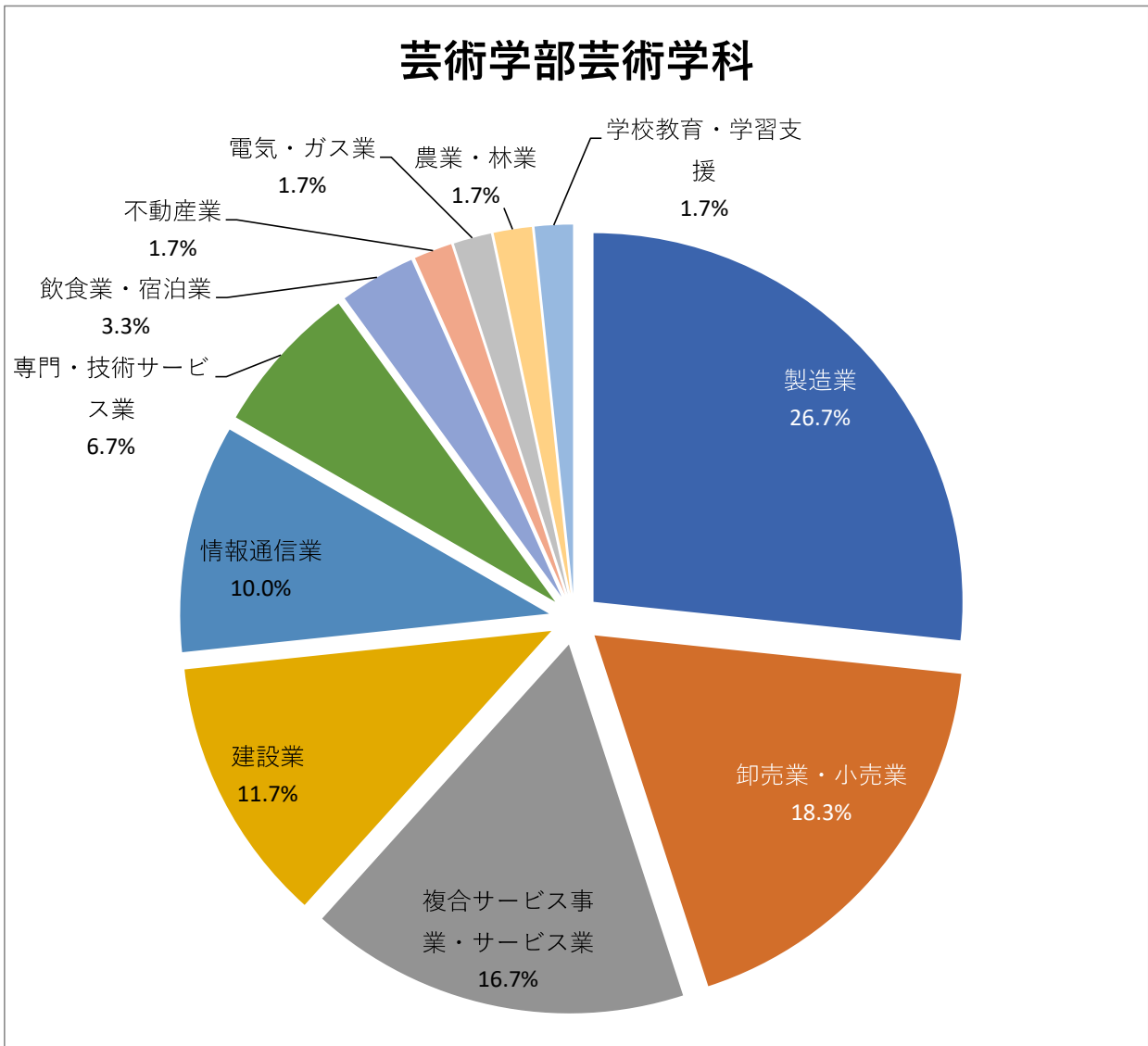
芸術学部芸術学科 最近 5 ヲ年の就職状況

卒業年	就職者/ 就職希望者	就職者/ (学生数-進学者)	学生数	就職希望者	就職者	進学者
平成30年3月卒	100.0%	93.3%	67	61	61	1
平成31年3月卒	100.0%	96.1%	53	47	47	2
令和2年3月卒	100.0%	94.6%	51	44	44	1
令和3年3月卒	100.0%	88.9%	54	48	48	0
令和4年3月卒	100.0%	90.9%	70	60	60	4

※令和4年の数値は、令和4年 3 月 1 6 日時点の就職内定状況である。

資料 8

芸術学部芸術学科 令和4年3月卒業生の業種別就職内定状況



教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	アキヤマ ミノル 秋山 稔 <平成25年4月>		博士 (文学)		金沢学院大学 学長 (平成25年4月～令和7年3月)

審査意見への対応を記載した書類(7月)

(目次) 金沢学院大学 収容定員関係学則変更認可申請書

【基本計画書】

1. 既設の経済学部経済学科において、専任教員数が大学設置基準を満たしておらず、大学全体においても、大学設置基準13条に定める専任教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。

(是正事項)..... 2

(是正事項) 金沢学院大学 収容定員関係学則変更認可申請書

1. 既設の経済学部経済学科において、専任教員数が大学設置基準を満たしておらず、大学全体においても、大学設置基準13条に定める専任要員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

是正事項を踏まえ、既存の経済学部経済学科の専任教員、および大学全体における専任教員のうちの教授の人数を数え直し、いずれの場合も大学設置基準を満たしていることを確認し、「基本計画書の教員組織の概要」において教員数の記載を適切に改めた。これにより、学則の変更の趣旨等を記載した書類において(ウ)学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容の(ク)教員組織の変更内容における教員数の記載も修正した。今後、このような記載誤りが起こらないよう事務組織のチェック体制を見直し、複数の担当事務職員によるチェック体制の強化および事務職員同士の連携を強化する体制を整えた。

(新旧対照表)基本計画書 教員組織の概要

新							旧								
学部等の名称		専任教員等					計	学部等の名称		専任教員等					計
		教授	准教授	講師	助教	助手				教授	准教授	講師	助教	助手	
新設分	文学部文学科	10	5	10	0	25	0	文学部文学科	8	3	14	0	25	0	
		(10)	(5)	(10)	(0)	(25)	(0)		(8)	(3)	(14)	(0)	(25)	(0)	
	教育学部教育学科	6	5	5	2	18	0	教育学部教育学科	6	5	5	2	18	0	
		(6)	(5)	(5)	(2)	(18)	(0)		(6)	(5)	(5)	(2)	(18)	(0)	
	経済学部経済学科	7	0	3	0	10	0	経済学部経済学科	7	0	2	0	9	0	
		(7)	(0)	(3)	(0)	(10)	(0)		(7)	(0)	(2)	(0)	(9)	(0)	
	経済学部経営学科	4	2	2	0	8	0	経済学部経営学科	5	2	4	0	11	0	
		(4)	(2)	(2)	(0)	(8)	(0)		(5)	(2)	(4)	(0)	(11)	(0)	
	経済情報学部経済情報学科	6	3	2	1	12	0	経済情報学部経済情報学科	6	5	2	0	13	0	
		(6)	(3)	(2)	(1)	(12)	(0)		(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	(0)	
芸術学部芸術学科	8	5	3	0	16	0	芸術学部芸術学科	7	4	3	0	14	0		
	(8)	(5)	(3)	(0)	(16)	(0)		(7)	(4)	(3)	(0)	(14)	(0)		
スポーツ学部スポーツ科学科	7	3	2	4	16	3	スポーツ学部スポーツ科学科	7	3	2	4	16	2		
	(7)	(3)	(2)	(4)	(16)	(3)		(7)	(3)	(2)	(4)	(16)	(2)		
栄養学部栄養学科	8	2	1	0	11	4	栄養学部栄養学科	8	3	1	1	13	5		
	(8)	(2)	(1)	(0)	(11)	(4)		(8)	(3)	(1)	(1)	(13)	(5)		
計	56	25	28	7	116	7	計	54	25	33	7	119	7		
	(56)	(25)	(28)	(7)	(116)	(7)		(54)	(25)	(33)	(7)	(119)	(7)		
既設分	基礎教育機構	2	2	2	0	6	0	基礎教育機構	2	3	1	0	6	0	
		(2)	(2)	(2)	(0)	(6)	(0)		(2)	(3)	(1)	(0)	(6)	(0)	
計	2	2	2	0	6	0	計	2	3	1	0	6	0		
	(2)	(2)	(2)	(0)	(6)	(0)		(2)	(3)	(1)	(0)	(6)	(0)		
合計	58	27	30	7	122	7	合計	56	28	34	7	125	7		
	(58)	(27)	(30)	(7)	(122)	(7)		(56)	(28)	(34)	(7)	(125)	(7)		

(新旧対照表)学則の変更の趣旨等を記載した書類

新	旧
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(ウ)学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容</p>	<p>(ウ)学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(ウ) 教員組織の変更内容</p>	<p>(ウ) 教員組織の変更内容</p>
<p>今般の収容定員の増員の結果、芸術学部芸術学科の収容定員は編入生も含め、それぞれ284人より334人に変更となる。この収容定員増を行っても、令和4年の芸術学部芸術学科専任教員数15人(うち教授7人)は、設置基準上の必要専任教員数10人(うち教授5人)を満たしている。しかしながら、収容定員増による学生の学びの低下を招くことのないよう、現在、専任教員1名の教員採用の準備を進めており、その結果、芸術学科においては、洋画、日本画、漆芸、コミュニケーションデザイン、メディアアートを専門とする教授8名、陶芸、現代美術、ビジュアルデザイン、ウェブデザインを専門とする准教授5名、洋画、漆芸、イラストレーションを専門とする講師3名となる教員組織を構想している。また、新たな教員採用は令和5年度以降も継続して実施する計画である。これにより、教員組織の面からも、収容定員増となる芸術学部の教育の質は大きく向上するものと考ええる。</p>	<p>今般の収容定員の増員の結果、芸術学部芸術学科の収容定員は編入生も含め、それぞれ284人より334人に変更となる。この収容定員増を行っても、令和4年の芸術学部芸術学科専任教員数14人(うち教授7人)は、設置基準上の必要専任教員数10人(うち教授5人)を満たしている。しかしながら、収容定員増による学生の学びの低下を招くことのないよう、現在、専任教員1名の教員採用の準備を進めており、その結果、芸術学科においては、洋画、日本画、漆芸、コミュニケーションデザイン、メディアアートを専門とする教授7名、陶芸、現代美術、ビジュアルデザイン、ウェブデザインを専門とする准教授5名、洋画、漆芸、イラストレーションを専門とする講師3名となる教員組織を構想している。また、新たな教員採用は令和5年度以降も継続して実施する計画である。これにより、教員組織の面からも、収容定員増となる芸術学部の教育の質は大きく向上するものと考ええる。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>